

1550迄 (2430件)

- 1531年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<死去>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Goncalo Pereira」
- 1531年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Vicente da Fonseca」(~1534年)
- 1531年-08:00|インドネシア| |||<即位>ハンカラン君主「Raden Pratanu」(~1592年)
- 1531年-05:30|インド| |||ゲジヤートのハバドール・シャーがマールワ地方を併合
- 1531年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カザフ汗国ハン「ブイタシュ(ブイラシュ)」ジャニーベクの三男アディクの次男
- 1531年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ汗国シャイバニ朝ハン「アフーサイド」クチュクジの子(~1534年)
- 1531年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハンハン「イスラムゲライ」(~同年)⇒「カシム2世」(2度目~1532年)
- 1531年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「アフマド・ベグ・ヌルカマル」(~1534年)
- 1531年-03:00|エチオピア| |||エチオピアでアハマト・ケランがダウアロ、シオアを征服
- 1531年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督代行「シエロム・ラスキー」(~1534年)
- 1531年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<設立>せに最初のポルトガルの内陸入植地
- 1531年-02:00|南アフリカ/ポルトガル| |||ポルトガル人が南アフリカのせに交易拠点を設置
- 1531年-01:00|リビア/マルタ| |||<就任>マルタ騎士団のトリポリニア総督代行「バルナルデ・イノ・マカト」(~1532年)
- 1531年-01:00|スイス| |||第二次カッセル戦争でフェリッヒ軍がカトリック連合軍と激突し、ツヴィンクリ自身も戦死
- 1531年-01:00|イタリヤ| |||アレッサンドロ・メデーチ、フィレンツェに戻り支配
- 1531年-01:00|アルゼンチン/スペイン| |||スペインがトリレメン近くの村イン港を占領(~1534年)
- 1531年 00:00|フェロー諸島| |||<死去>フェロー諸島法執行者「Thormodr Sigurdsson」
- 1531年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Henrique Pereira」(~1535年)
- 1531年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島首席大臣「Anders Guttormsen」(~1543年死去)
- 1531年 00:00|イギリス| |||トマス・エリオットが「為政者の書」を刊
- 1531年 04:00|ドミニカ共和国| |||ドミニコ会、サント・ドミンゴにLA最初の大学、サント・トマス・デ・アキノ大学設立/現在のサント・ドミンゴ自治大学
- 1531年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「フランシスコ・デ・カスターニダ」(~1535年)
- 1531年1月3日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>神聖ローマ帝国領ネーデルラント総督「Mary of Austria」(~1555/1001)
- 1531年1月4日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「パチスタ・スピノラ」(~1533/1014)
- 1531年1月5日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「フェルディナント1世」マクシミリアン1世の孫、カール5世の弟(⇒1558/03/14神聖ローマ皇帝~1564/07/25)
- 1531年1月7日-09:00|日本| |||享禄3年12月19日|幕府が徳政を発令
- 1531年1月10日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ総督「アウグスティン・デ・ソリア大統領」サント・ドミンゴ司教セバスチャン・ラミス・デ・フェルナル」(~1535/04/16)
- 1531年1月15日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||フェルディナントが正式にローマ王として認証される
- 1531年1月18日-02:00|エストニア/ラトビア| |||<就任>リガ大司教・リガラント公「トマス・シェニング」(~1539/08/11死去)
- 1531年1月19日-09:00|日本|愛知県岡崎市|享禄4年|松平清康は岡崎城を破棄し、龍頭山にあった砦を改修・拡張して新たな岡崎城とし、居城を安城から新岡崎城へ移す
- 1531年1月19日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|享禄4年|禅叢寺(静岡市清水区上清水)創立
- 1531年1月20日-01:00|スペイン/バルセロナ| |||ピカがインカ帝国へ征服遠征をめざしパナマを出発
- 1531年1月24日-09:00|日本|大阪府|享禄4年1月6日|細川晴元の堺からの援軍も摂津で細川高国に破られた
- 1531年1月26日 00:00|ポルトガル/スペイン/モロッコ| |||ポルトガル、スペイン、モロッコで地震が起こり、3万人が死亡
- 1531年1月27日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Ambrosio de Alfinger」(3期目~6.12)
- 1531年1月29日-09:00|日本|京都府京都市|享禄4年1月11日|木沢長政が細川高国と京都で争い、東山の辺りを焼く
- 1531年2月8日-09:00|日本|山梨県甲府市|享禄4年1月21日|飯富兵部・栗原兵庫・今井信元、甲斐府中の居屋敷を引払い御岳に籠り、信濃諏訪頼満をたより武田信虎に叛き兵を挙げる
- 1531年2月18日-09:00|日本|山梨県|享禄4年2月2日|武田信虎、大井信業・今井尾張守らと戦い敗死させる
- 1531年2月23日-01:00|ドイツ| |||プロテスタント諸侯と帝国都市が、アウクスブルクの信仰告白が退けられたのを受けて反皇帝同盟「シュマルカルテン同盟」を結成
- 1531年3月10日-09:00|日本|京都府京都市|享禄4年2月22日|川崎観音・神護寺・法性寺など焼亡
- 1531年3月13日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「リヒャルト」
- 1531年3月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「ヨハ3世」(~1540/07/22死去)
- 1531年3月16日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|享禄4年2月28日|<伊丹城の戦い>細川道永が伊丹城(摂津国)を攻め、高島長直が、城を道永に明け渡し池田城(摂津国)に移る
- 1531年3月21日-09:00|日本|山梨県|享禄4年3月3日|武田信虎は、栗原信真を討死させ800余人を討ちとる
- 1531年3月24日-09:00|日本|大阪府池田市|享禄4年3月6日|<池田城の戦い>細川高国と浦上村宗の軍勢が池田久宗(信正)が守備する摂津池田城を落とす
- 1531年3月25日-02:00|キプロス/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「マルカントニオ・デ・イト・メニコ・トラヴィヤン」(~1533年)
- 1531年3月25日-09:00|日本|京都府京都市|享禄4年3月7日|京都を警護していた細川晴元派の木沢長政軍が突然撤退、代わって細川高国が手配していた将軍地蔵山城の兵が京都に進行、細川高国が京奪回
- 1531年3月28日-09:00|日本|大阪府大阪市東住吉区|享禄4年3月10日|<中嶋の戦い>細川高国、浦上村宗らが摂津国中嶋に出陣したが、細川晴元・三好元長の軍勢の先制攻撃にあって敗退
- 1531年3月30日-09:00|日本|山梨県韮崎市|享禄4年3月12日|河原部合戦で、諏訪頼満・栗原兵庫・今井信元・飯富虎昌・大井信業ら連合軍、武田信虎に撃破される

1550迄 (2430件)

- 1531年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・シモネ・ベッルツィ」「ジヤコモ・アントニオ・ジヤンニニ」
- 1531年4月3日-09:00|日本|山梨県山梨市|享禄4年3月16日|武田軍、万力にて曾根三河守を討ち取る
- 1531年4月12日 00:00|マリ/ニジェール| |||<死去>ソガイ帝国皇帝「アスキア・ムサ」
- 1531年4月12日 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソガイ帝国皇帝「アスキア・モハマト・ベソカン」(~15370422)
- 1531年4月22日-09:00|日本|滋賀県米原市|享禄4年4月6日|<箕浦の戦い>六角定頼が浅井亮政を近江国箕浦で破る
- 1531年4月28日-09:00|日本|山梨県甲斐市|享禄4年4月12日|<塩川河原の戦い>武田信虎、諏方頼満・栗原兵庫・今井信元・飯富虎昌と塩川端で戦い大勝/諏訪頼満の軍勢は1000人近い死傷者を出して退去。栗原信真の長男栗原信友はこの合戦の大敗により降伏
- 1531年5月10日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナメル公「ゲオルク1世」
- 1531年5月10日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ポズナメル公「フィリップ1世敬虔公」(~15600214死去)
- 1531年5月10日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ポズナメル公「シュテッティン公」ハルニム9世敬虔公」(~1569年~15731102死去)
- 1531年5月27日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウクウー国王「ミン・ビーン・シタン」(~15540111)
- 1531年6月5日-01:00|ドイツ| |||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ピンネブルク伯「ヨージスト1世」
- 1531年6月5日-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ピンネブルク伯「アルフレッド13世」(~1544年~15560920死去)、「ヨハン5世」(~1544年~1560年死去)
- 1531年6月12日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督代理「Bartolome de Santillana」(~15331102)
- 1531年7月 05:00|ペルー| |||インカ帝国の内紛でアタワルパ軍がクスコを占領し覇権を確立
- 1531年7月12日-09:00|日本| ||享禄4年閏5月28日|狩野元信「酒伝童子絵巻」を完成させる
- 1531年7月14日-09:00|日本|石川県|享禄4年6月|<享禄の錯乱(加賀国)>東海地方・畿内の門徒が山科に結集して、実如の子である実円と下間頼盛に率いられて出陣し、門徒として知られていた飛騨の内ヶ島氏の支援を受けて飛騨山中から加賀に侵入。賀州三ヶ寺側の門徒の動揺は激しく、「仏敵」になることを恐れた寝返りが相次いだため、松岡寺と本泉寺はたちまち超勝寺と援軍を主力とする本願寺軍の手に奪われた/越前の朝倉孝景が賀州三ヶ寺の支援のために加賀へ出兵。続いて能登畠山氏の一族で蓮能の実兄・畠山家俊も甥である実悟救援を理由に主君畠山義総の許しを得て加賀へ出兵。名目上の加賀守護で富樫泰高の孫の富樫植泰・泰俊父子も賀州三ヶ寺側に参戦
- 1531年7月17日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|享禄4年6月4日|<天王寺の戦い>細川晴元は三好元長と和睦し、赤松政祐を加えた連合軍で、細川高国・浦上村宗の連合軍に天王寺で勝利。浦上村宗は討死、細川高国は捕えられ自害
- 1531年7月17日-09:00|日本|岡山県備前市|享禄4年6月4日|<死去>備前三石領主「浦上村宗」戦死⇒子の「浦上政宗」が継ぐ(~永禄3(1560)年)
- 1531年7月21日-09:00|日本|大阪府|享禄4年6月8日|<死去>摂津国守護「細川高国」晴元の将三好一秀に尼崎で捕らえられ広徳寺で自殺させられる/48歳(誕生:文明16(1484))⇒「細川晴元」任命(~天文15(1546)年9月解任)
- 1531年7月21日-09:00|日本|香川県|享禄4年6月8日|<死去>讃岐国守護「細川高国」晴元の将三好一秀に尼崎で捕らえられ広徳寺で自殺させられる/48歳(誕生:文明16(1484))
- 1531年7月21日-09:00|日本|京都府|享禄4年6月8日|<死去>山城国守護「細川高国」晴元の将三好一秀に尼崎で捕らえられ広徳寺で自殺させられる/48歳(誕生:文明16(1484))⇒「細川晴元」任命(~天文18(1549)年6月)
- 1531年7月21日-09:00|日本|京都府|享禄4年6月8日|<死去>丹波国守護「細川高国」晴元の将三好一秀に尼崎で捕らえられ広徳寺で自殺させられる/48歳(誕生:文明16(1484))⇒「細川晴元」任命(~天文21(1552)年1月隠居)
- 1531年7月21日-09:00|日本|高知県|享禄4年6月8日|<死去>土佐国守護「細川高国」晴元の将三好一秀に尼崎で捕らえられ広徳寺で自殺させられる/48歳(誕生:文明16(1484))
- 1531年7月22日-09:00|日本|茨城県古河市|享禄4年6月9日|<交替>古河公方「足利高基」晴氏が古河城を攻撃して追放⇒第4代「足利晴氏」(関東享禄の内乱)
- 1531年8月1日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン王立サント・ミンゴ大審問院判事「アロンソ・デ・スアソ」(~15331214)
- 1531年8月9日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハン代官「アントニオ・トクシカニッチ、ケンスキー・ヒスツァフ」(~15330624)
- 1531年8月16日-09:00|日本|宮崎県|享禄4年7月4日|伊東家中が若衆方と守護方とに分裂し内乱
- 1531年8月26日 00:00|世界/宇宙| |||ハレ彗星、出現
- 1531年8月30日-09:00|日本|埼玉県久喜市|享禄4年7月18日|<死去>「足利政氏」(第2代古河公方)、久喜甘棠院にて
- 1531年9月4日-09:00|日本|石川県白山市|享禄4年7月23日|加賀に出陣中の本願寺本山方(超勝寺実頭、下間頼秀・頼盛兄弟など)が清沢の願得寺を襲い放火し、寺家・在家が残らず炎上。白山本宮に反して加賀三ヶ寺方に味方した金剣宮も焼失/願得寺には実悟がいて、加賀三ヶ寺に次ぐ寺格だったが実悟は若松に逃れる
- 1531年9月5日-09:00|日本|大阪府高槻市|享禄4年7月24日|木沢長政、細川尹賢を摂津国富田に攻め、尹賢自殺
- 1531年9月10日-09:00|日本|石川県金沢市|享禄4年7月29日|加賀に出陣中の本願寺本山方(超勝寺実頭、下間頼秀・頼盛兄弟など)が若松の本泉寺に進撃し、堂舎をはじめ寺内町まで全てを焼き払う/本泉寺は加賀三ヶ寺の本拠であったが、この戦いで滅び、住持の蓮悟は継母蓮能の縁故から能登守護畠山義統を頼って、実悟らとともに府中へ亡命。三ヶ寺に与力した数百人の国人衆も能登や越中へ出奔
- 1531年9月22日-01:00|フランス| |||<死去>アンジュ公・オウエルニユ公・シヤルロ公・ブルボン公・ヌール公「ルイ・ド・サヴォワ」55歳
- 1531年9月27日-09:00|日本|石川県加賀市|享禄4年8月17日|加賀に出陣中の本願寺本山方(超勝寺実頭、下間頼秀・頼盛兄弟など)7千が、山田の光教寺(住持:顕誓)に進撃/三ヶ寺方は越前守護朝倉孝景に援兵を乞うとともに、

1550迄 (2430件)

- 月津口に3千で迎え撃つ/三カ寺方は野代の勤帰寺を襲い住持の超玄を殺害し、本山側は総崩れとなって敗走/本山側の700人が討たれる
- 1531年9月30日-09:00|日本|大阪府大東市|享禄4年8月20日|畠山義宣が、飯盛山城の木沢長政を攻める/寄せ手の畠山勢に三好元長も参陣/細川晴元は、姉婿の畠山義宣や自分を後押しした三好元長を見捨て、木沢長政の救援を決め、摂津中島の三宝寺に陣を構え、畠山勢の背後を脅かすため、畠山勢は撤退
- 1531年10月1日-01:00|サンマリ| |||<就任>サンマリ共和国執政「ホリノ・ロ・テ・イ・アント・オ・ルナルテ・イ・ニ」「ジ・ロー・モ・テ・イ・ジュリア・ノ・コ・ジ」
- 1531年10月11日-01:00|スイ| |||カッパルの戦いでチューリッヒ軍が壊滅し、ツウングリが戦死
- 1531年10月12日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|享禄4年9月2日|<交替>関東管領「上杉(山内)憲寛」⇒「上杉(山内)憲政」(~永禄4(1561)年間3月16日死去)
- 1531年10月19日-01:00|スペイン| |||<死去>第2代アルバ公「フアド・リケ・アルバ・レス・デ・トレド・イ・エンカス」
- 1531年10月19日-01:00|スペイン| |||<就任>第3代アルバ公「フェルナント・アルバ・レス・デ・トレド・イ・ビメンテル」(~15821211死去)先代の孫
- 1531年10月24日-01:00|ドイツ| |||旧教のバベルが、シュマルカント同盟に加入して皇帝に敵対
- 1531年10月28日-09:00|日本|静岡県磐田市|享禄4年9月18日|豊田郡中泉村天学院に、小笠山三切坊大権現を完勧請し堂宇建立
- 1531年11月 05:00|ペルー| |||キキスの指揮するアワルカ軍は、ヤマカでワスカル軍を殲滅/チャペラ・テル・レイノ・カリに率いられたアワルカ軍は、そのままクスコに進軍。5千名のワスカル軍を撃破しクスコを占領
- 1531年11月3日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|享禄4年9月24日|太田資頼、渋江三郎を破り武蔵岩付城奪回
- 1531年11月5日-09:00|日本|石川県能美郡川北町|享禄4年9月26日|<享禄の錯乱(加賀国)>加賀手取川において朝倉教景(宗滴)・賀州三ヶ寺連合軍が本願寺軍を一旦は破る
- 1531年11月7日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ副総督代行「ファン・デ・パデーロ」(~15320301)
- 1531年11月11日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「マヌエル」(~15370414夭折)
- 1531年11月21日-09:00|日本|愛知県知多郡美浜町|享禄4年10月13日|尾張国大御堂寺、兵火により焼失
- 1531年11月23日-01:00|スイ| |||カッパルの和約が結ばれ、スイ各州に信仰の自由が認められる
- 1531年11月23日-09:00|日本|広島県竹原市|享禄4年10月15日|竹原寿福寺本尊木造阿弥陀如来坐像再興成る
- 1531年11月29日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー対立王「クリスチャン2世」(2回目~15320701)
- 1531年12月4日-09:00|日本|石川県加賀市|享禄4年10月26日|<享禄の錯乱>加賀三カ寺(浄土真宗)の要請で救援に向かった朝倉教景勢が、手取川を渡河して本願寺本山方を攻撃し、本山方の首級700ばかりをとり、勝利/朝倉勢は松任周辺に放火するが、その夕刻、天候が急変して冬の雨が降り始めたため、手取川の増水を案じて朝倉勢は手取川南岸の寺井に一旦引き揚げる
- 1531年12月6日-09:00|日本|石川県加賀市|享禄4年10月28日|<享禄の錯乱>10月26日から降り始めた加賀の雨は止まず、朝倉勢が手取川の渡河ができない状況を見た本願寺本山方は、朝倉勢に内通した玄任次郎右衛門を討伐/朝倉勢は800人の足軽を船で対岸に渡したが、既に玄任勢は多くが殺され、敗走した後だった
- 1531年12月9日-09:00|日本|愛知県豊田市|享禄4年11月|松平清康5千、伊保城三宅周防守清貞を攻め広瀬城に走らす
- 1531年12月9日-09:00|日本|奈良県葛城市|享禄4年11月|土佐光茂、「当麻寺縁起」(當麻寺)を完成させる
- 1531年12月10日-09:00|日本|石川県加賀市|享禄4年11月2日|<解任>加賀国守護「富樫植泰」
- 1531年12月10日-09:00|日本|石川県加賀市|享禄4年11月2日|加賀三カ寺方の能登、越中勢の南進を見た本願寺本山方が、先日朝倉勢に討たれた味方の首や玄任次郎右衛門方の首を集めてさらし、朝倉勢が敗れたように見せかけ、能登勢らの動揺を誘った後、下間頼秀の下知で本山勢が突撃し、能登勢の畠山家俊ら多くの首を討つ/三カ寺方の残兵は能登や越中へ潰走
- 1531年12月12日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|享禄4年11月4日|大檀那右衛門大夫・代官治田6郎太郎正利・大工藤原家重次郎左衛門、一宮大明神社(佐久間町浦川上市場)社殿造立
- 1531年12月17日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルのジョアン3世が、リスボンに宗教裁判所を設置
- 1531年12月19日-09:00|日本|熊本県|享禄4年11月11日|<死去>相良氏第15代当主「相良長定」(不明)相良義滋の命により殺害された
- 1531年12月21日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|享禄4年11月13日|村人大檀那、八幡神社(佐久間町浦川川上)造立
- 1531年12月25日-09:00|日本|長崎県壱岐市|享禄4年11月17日|岸丘城主波多壱岐守源盛が熊野大権現本宮[立石南触]建立
- 1531年12月26日-09:00|日本|山梨県甲州市|享禄4年11月18日|甲斐東郡の法光寺が炎上
- 1532年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャイロ・スルタン「Kaicil Firuz Alauddin」(~1536年)
- 1532年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「アク・ケハック」アフマド・ハンの子ムサ・ハンの子(1回目~1533年)
- 1532年-04:00|ロシア| |||<即位>カザン・ハン「ジャン・アリー」ジャー・アリーの兄弟(~15350925没)
- 1532年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<死去>リグ・オニアのレグアル司令官「ティートリヒ・ボック」
- 1532年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「トメニコ・カペッロ」(~1534年)
- 1532年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国第14代ハン「イスラム1世ギレイ」(~同年)⇒第15代ハン「サーヒブ1世ギレイ」(~1551年死去)
- 1532年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン方伯「ヨハン・フリードリヒ」ザクセン選帝侯(~1547年)
- 1532年-01:00|リビア/マルタ| |||<就任>マルタ騎士団のトリポリタニア総督「アウレリオ・ボッティゲッラ」(1回目~1533年)

1550迄 (2430件)

- 1532年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ヴァシエ1世」(~1540年)
1532年-01:00|スペイン/トリニダード・トバゴ| |||スペインがトリニダード島を植民地とし、総督を置く
1532年 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリブ島知事「Martin Hernandez Ceron」(2期目~1535年)
1532年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「アルハ・ロ・テ・アブ・ラニス」(~1533年)
1532年 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック・ペンブルック侯「アン・ブーリン」(~15360517)
1532年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「John Fleming」(~1536年)
1532年 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||ポルトガルがブラジル南東部に初の恒久的入植地を建設
1532年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ブラジル総督「マルティン・アフォンソ・デ・スザ」(~1534年)
1532年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「マヌエル・デ・ロハス」(1回目~1533年)
1532年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「デ・イエゴ・アルビテス」⇒「アントレス・デ・セラタ」(2回目~1535年)
1532年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>スペイン領サルバドル上級判事(後副総督)「ゴメス・デ・アルバラド・イ・コントレラス」(~1534年)
1532年1月 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「フラス・コレイア・パントーハ」
1532年1月 03:00|ブラジル| |||ソウサ, フランス人植民者を駆逐. サウ・イェチとピラティンガを植民地として拡充. 約4百人が入植
1532年1月1日-09:00|日本|愛知県名古屋市熱田区|享禄4年11月24日|大郎右衛門範家、尾張国熱田の地蔵を鑄造
1532年2月6日-09:00|日本|愛知県新城市|享禄5年|鈴木長門守重勝、青龍山満光寺(山吉田)を再興し、曹洞宗無着派朝堂玄賀和尚を開山とする
1532年2月6日-09:00|日本|愛知県名古屋市熱田区|享禄5年|尾張国熱田の加藤延隆、龍珠寺を創建し、南溟紹化を開山とする
1532年2月6日-09:00|日本|茨城県結城市|享禄5年|<死去>下総結城領主「結城政直」⇒弟の「結城政勝」が継ぐ(~永禄2年8月1日(15590902)死去)
1532年2月6日-09:00|日本|静岡県御殿場市|享禄5年|大内家の士深沢六郎兵衛、僧我州を助けて戦火で焼失した月影山天竜寺を再興する形で、大雲院(深沢)を開く
1532年2月6日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|享禄5年|道翁学公、真言宗安西山大仏寺を曹洞宗に改宗し、医王山顕光院(研屋町)を開山
1532年2月6日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|享禄5年|井伊直平、八幡宮を薬師山に遷座させ、跡地に龍泰寺(竜潭寺)造営
1532年2月6日-09:00|日本|福島県伊達郡桑折町|享禄5年|伊達植宗は居城を梁川城から桑折の西山城へ移す
1532年2月6日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|享禄5年|<交替>陸奥三春領主「田村義顕」隠居⇒嫡男の「田村隆顕」(~元龜2(1571)年隠居)
1532年2月6日-08:00|中国| |||明・嘉靖11年|浙江省寧波沖に閩の国際貿易取引所が私設されにぎわう
1532年2月27日-09:00|日本|京都府京都市|享禄5年1月22日|<三条城の戦い>三好元長は柳本の家臣の一人であった甚次郎の居城である京都三条城を攻撃し三条城は落城、甚次郎は討死
1532年3月1日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ副総督代行「マヌエル・デ・ロハス・イ・コルトバ」(2回目~15340201)
1532年3月8日-09:00|日本|山梨県南アルプス市|享禄5年2月2日|富田城大井信業、今井信元と合戦し討死
1532年3月9日-09:00|日本| |||享禄5年2月3日|百科事典である「塵添イ囊抄」が成る
1532年3月17日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|享禄5年2月11日|<那古野城の戦い>今川氏豊が勝幡城主織田信秀の奇計によって兵を城に侵入され、那古屋城を落とされた
1532年3月27日-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランド公「ヤン2世」
1532年3月27日-01:00|ポーランド| |||<就任>ポーランド公「ゲオルク・フランツ・フォン・アンハルツ・ド・マクドゥル」(~15431227死去)
1532年3月29日-09:00|日本|広島県神石郡|享禄5年2月23日|平貫信、大願主として、神石郡豊松・油木両村一宮社殿を造立
1532年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カルロ・デ・クリストファロ」「イノチェンツォ・デ・イ・メット・ボネリ」
1532年4月11日-09:00|日本|静岡県|享禄5年3月6日|<死去>連歌師宗長(85歳)駿河で
1532年4月14日-01:00|モナコ| |||<死去>モナコ摂政「ド・グラーヌ司教アゴスティーノ・グマリテ」
1532年4月14日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ摂政「デ・イトゥレット男爵ビアンカ・グマリテ」(~6月)
1532年4月14日-09:00|日本|滋賀県|享禄5年3月9日|浅井亮政らが京極氏に反旗を翻す
1532年4月24日-09:00|日本| |||享禄5年3月19日|<死去>伏見宮邦高親王(77歳)皇族
1532年4月26日-01:00|オーストリア/ハンガリー/トルコ| |||トルコ軍がハンガリーに侵入/ウィーンに迫る
1532年4月27日-01:00|イタリア| |||<即位>フィレンツェ公「アレクサンドロ・デ・メディチ」(~15370105暗殺される)
1532年5月 05:00|ペルー| |||<即位>インカ帝国サハ・インカ「アタワルパ」[ワイナ・カパックの息子](~15330726, スペイン人に殺される)
1532年5月 05:00|ペルー| |||ピノコのペルー遠征隊がトゥンパスを出発しアンデス高原へ向かう
1532年5月 05:00|ペルー| |||リオバンパでアタワルパ軍とウアスケル軍が激突. アタワルパの圧勝に終わる
1532年5月5日-09:00|日本|群馬県沼田市|享禄5年4月|沼田顕泰、沼田城(倉内城・蔵内城)を築き幕岩城より移る
1532年5月15日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘルム・ド・ロ・ヨルダ・ド・ウリス」(~15330110)
1532年5月15日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|享禄5年4月11日|慶雲寺の前身福泉寺(上清水)創立
1532年5月17日-05:30|インド| |||<即位>スル朝スルタン「シェール・シャー」(~15450522死去)
1532年5月20日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「トマス・オードリー卿」(~15440422死去)

1550迄 (2430件)

- 1532年5月26日-01:00|フランス/ド`イツ| ||フランス1世が、バ`イェルン`ザ`ケン`ヘッセンと同盟を結ぶ
- 1532年6月-01:00|モナコ| ||<就任>モナコ摂政「デ`ィ`ブ`イ`ユ男爵ステファン`グ`リマル`ディ`イ」(~15401206)
- 1532年6月23日-01:00|フランス/ド`イツ/イギリス| ||イギリスとフランスが対独同盟条約を締結
- 1532年6月24日-09:00|日本|千葉県佐倉市|享禄5年5月21日|<死去>下総佐倉領主「千葉勝胤」⇒子の「千葉昌胤」が継ぐ(~天文15年1月7日(15460207)死去)
- 1532年7月1日-09:00|日本|愛知県豊橋市|享禄5年5月28日|<吉田城の戦い>岡崎城主・松平清康が牧野伝蔵と御油で交戦、今橋城(吉田城)を陥とす
- 1532年7月6日 00:00|イギリス| ||教皇クレメンス7世がハ`ンリ`8世の離婚を認めないと宣言したため、ハ`ンリ`8世が教皇庁への納税を拒否する「初収入上納禁止令」を発効させる
- 1532年7月17日-09:00|日本|大阪府|享禄5年6月15日|<死去>河内北半国守護「畠山義堯」本願寺門徒軍に追撃され自害
- 1532年7月17日-09:00|日本|大阪府大東市|享禄5年6月15日|<飯盛城の戦い>飯盛山城の攻囲軍を背後から襲った本願寺門徒軍は、三好勝宗を含む200余兵も討ち取り、畠山義堯は居城の河内国高屋城へと逃れたが高屋城もその夜のうちに陥落
- 1532年7月22日-09:00|日本|大阪府堺市|享禄5年6月20日|摂津国人衆、一向一揆勢と結び堺幕府の本拠攻める/木沢長政、本願寺光教ら10万の大軍は、宗派の敵、法華宗徒と宗徒の庇護者三好元長を攻め立てた/元長は無念の自刃、顕本寺とともに当時6000戸、3万人を擁した堺の町は、中立を表示していたのにもかかわらず、その三分の二、4000戸を兵火で焼失させた/堺公方府は消滅
- 1532年7月23日-01:00|ド`イツ| ||神聖ローマ皇帝カール5世が、シマール`デン`同盟諸侯とユル`バ`ルクの和約を結んで休戦
- 1532年8月 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャ`ジャ`知事「Anthony Ughtred卿」(~15341006死去)
- 1532年8月1日-09:00|日本|鹿児島県薩摩川内市|享禄5年7月1日|入来院重朝(12代)、平佐城を攻略
- 1532年8月10日-09:00|日本|奈良県奈良市|享禄5年7月10日|奈良で一揆が蜂起、門徒衆と合流して興福寺・春日社に乱入、院坊を破壊する/天文一揆
- 1532年8月16日-01:00|ド`イツ| ||<死去>ザ`ケン`選帝侯「ヨハン」
- 1532年8月16日-01:00|ド`イツ| ||<即位>ザ`ケン`選帝侯「ヨハン`フリート`リヒ」(⇒15470519ザ`ケン`公~15540303死去)
- 1532年8月17日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|享禄5年7月17日|大和国の一向衆徒が興福寺の衆徒と戦い、菩提寺などを焼く
- 1532年8月18日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿代行「キルデア伯爵`エラルト``フィッツ`エラルト`」(4回目~15340201)
- 1532年8月20日-09:00|日本|熊本県天草市|享禄5年7月20日|天草尚種、志岐重経、長島但馬守、栖本氏、大矢野氏の連合軍に攻められた天草の上津浦治種(鎮貞の祖父)を肥後人吉領主「相良長唯」が助け連合軍を破って大勝
- 1532年8月28日-01:00|ド`イツ/ハンガリー/トルコ| ||ハンガリーに侵入してウーン`に向かっていたオスマン軍が、神聖ローマ帝国軍に敗れる
- 1532年8月29日-09:00|日本| ||天文1年7月29日|「天文」に改元
- 1532年8月30日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|天文1年7月30日|一揆勢が越智氏の高取城を攻めるが筒井・十市氏の来援により敗れ、吉野へ退く
- 1532年9月1日 00:00|イギリス| ||<就任>ハ`ン`ブルック伯「アン`ブ`リン」(~1536. 5)
- 1532年9月4日-09:00|日本|大阪府池田市|天文1年8月5日|摂津の一向宗徒が、細川晴元の属城池田城を攻めて敗北
- 1532年9月7日-09:00|日本|大阪府堺市|天文1年8月8日|<堺北庄の戦い>本願寺光教、細川晴元を和泉国堺北荘に攻め敗走し大阪に追撃される
- 1532年9月8日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|天文1年8月9日|一向一揆・高取城の越智家栄を攻めたが、筒井・十市氏の活躍で潰滅
- 1532年9月11日-09:00|日本|滋賀県大津市|天文1年8月12日|京都に集結した法華一揆は六角軍と連合して蓮淳のいる大津の顕証寺を攻め落とす
- 1532年9月16日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文1年8月17日|(16日~)東山山麓で法華一揆衆1万、一向一揆衆数千が激突、法華一揆衆が勝利
- 1532年9月18日-09:00|日本|京都府乙訓郡|天文1年8月19日|法華宗徒が一向宗徒を山城国西岡で破る
- 1532年9月20日 00:00|ポルトガル| ||<死去>4代ブラ`ガ`ン`サ`公・2代キ`マ`ライ`ス`公・3代ヴァ`イ`ラ`ウ`イ`ン`ザ`侯・11代ハ`ル`ベ`ルク`伯・8代オ`ウ`ム`伯・5代ア`イ`オ`リス`伯・5代ネ`イ`ヴ`ァ`伯「ジ`ヤ`イ`1世」
- 1532年9月20日 00:00|ポルトガル| ||<就任>5代ブラ`ガ`ン`サ`公・3代キ`マ`ライ`ス`公・4代ヴァ`イ`ラ`ウ`イ`ン`ザ`侯・12代ハ`ル`ベ`ルク`伯・9代オ`ウ`ム`伯・6代ア`イ`オ`リス`伯・6代ネ`イ`ヴ`ァ`伯「テ`オ`ド`ジ`オ`1世」ジ`ヤ`イ`1世の長男(~15630922)
- 1532年9月21日-02:00|ギリシャ/スペイン/トルコ| ||スペイン提督`ド`リア`がオスマン支配下のモリア半島のコロンを奪取
- 1532年9月21日-09:00|日本|奈良県磯城郡川西町|天文1年8月22日|一揆勢が布施・俱尸羅・越智衆と吐田で戦うが敗れ、数百人が討たれる
- 1532年9月23日-09:00|日本|京都府京都市山科区|天文1年8月24日|<山科本願寺の戦い>(23日~)証如のいる山科本願寺を法華一揆3万の大軍が包囲し炎上/蓮淳は顕証寺陥落の際にもう一つの拠点であった伊勢長島願証寺へと逃走して息子実恵の元に潜伏/孤立した証如は山科本願寺に退避していた蓮如の末子・実従が発見して辛うじて石山御坊に連れ出した
- 1532年9月29日-09:00|日本|茨城県東茨城郡茨城町|天文1年9月|江戸忠通は小幡義清を大洗に誘い出して殺害し、常陸小幡城を奪い取った
- 1532年9月29日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天文1年9月|伊久美孫右衛門、西光寺4世頓誉上人開山に、松林山西運

1550迄 (2430件)

寺(音羽町)開基

- 1532年9月29日-09:00|日本|福島県田村郡|天文1年9月|伊達植宗、陸奥田村郡に侵攻
- 1532年9月29日-09:00|日本|山梨県|天文1年9月|<浦城の戦い>武田信虎、栗原一族の今井信元を浦城に攻めて降し、甲斐を完全に統一
- 1532年10月-02:00|ルマニア| ||<死去>ワキ7総督・領主「ウラド7世溺死候」
- 1532年10月-02:00|ルマニア| ||<就任>ワキ7総督・領主「ウラド8世ウインティラ」(~1535年6月没)
- 1532年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメー・シモーネ・ベルツィ」
- 1532年10月4日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王室総督「エレク・ハロウツ・スレンワルグイ」(15400722までグランド反体制派~15421112)
- 1532年10月24日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|天文1年9月26日|細川晴元の将薬師寺国長らが山城国山崎で一向衆徒に敗れる
- 1532年11月16日-01:00|スペイン| ||ヒカ、インカ帝国の首都クスコを征服し皇帝アタワパを捕らえ部下2千を殺害し3千を捕虜とする
- 1532年12月-06:30|ミャンマー| ||<即位>ブー国王「ナラパティ」(~15390202)
- 1532年12月-01:00|スペイン/キューバ| ||先住民クマの率いる反乱、スペイン軍により破られる
- 1532年12月3日-01:00|ドイツ| ||<死去>フアルツツグアイブリュッケン公・フェルディナント伯「ルートヴィヒ2世」
- 1532年12月3日-01:00|ドイツ| ||<即位>フアルツツグアイブリュッケン公・フェルディナント伯「ウルリッヒ」(~15690611死去)
- 1532年12月11日-09:00|日本| ||天文1年11月15日|大内義隆、大友義鑑・少弐資元追討のため、九州に派兵
- 1532年12月11日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文1年11月15日|井伊直盛7歳、二宮神社を再建
- 1532年12月23日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文1年11月27日|伊東尹祐、北原兼孝・北郷忠相・島津忠朝の軍勢と庄内高城で戦い敗北/野々美谷城を失う
- 1533年-08:00|インドネシア| ||<即位>タバラン「Tabaraji」(~1534年)
- 1533年-08:00|ブルネイ| ||<即位>ブルネイ・スルタン「サイフル・リザヤル」(~1581年死去)
- 1533年-07:00|タイ| ||<死去>アユタヤ王朝第12代国王「ホムラーチャーティラート4世ホムラーチャーマハプットーンクーン」
- 1533年-07:00|タイ| ||<即位>アユタヤ王朝第13代国王「ラッサートーティラートクマン(ラッサートー)」(~1534年死去)
- 1533年-05:30|インド| ||<死去>ベンガル・スルタン朝スルタン「Nasiruddin Nasrat Shah」
- 1533年-05:30|インド| ||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Alauddin Firuz Shah2世」(~同年) =>「Ghiyasuddin Mahmud Shah」(~1538年死去)
- 1533年-05:00|カザフスタン| ||<死去>カザフ汗国ハン「ターヒル」
- 1533年-05:00|カザフスタン| ||<即位>カザフ汗国ハン「アフメト」ジャニ・ベクの三男アテイクの次男(~1535年死去)
- 1533年-04:00|ロシア| ||<即位>アストラハン・ハン「アブドゥル・ラフマン」アブドゥル・カリムの子(1回目~1537年)
- 1533年-03:00|イラク/イラン| ||<就任>ペルシャのメソポタミア総督「カラムハンマド・イブン・カーン」(~1534年)
- 1533年-03:00|スーダン| ||<即位>フンジュ王国スルタン「Nayil」(~1550年)
- 1533年-02:00|エストニア/ドイツ| ||<就任>リヴァニアのレヴァル司令官「ヨハン・フォン・グイッテン」
- 1533年-02:00|ギリシャ/トルコ| ||アッティカ、エトリア・アカルニア、ホエティア、エウボエア、沿岸アトリア、東地中海のオスマン帝国のほぼすべての島々(クレタ島を除く)は、ジェザイル・イバー・ル・イセフトのエイヤト(「白海の島々」として分離
- 1533年-01:00|ドイツ| ||<就任>ハートン・ド・カラハ辺境伯「エルスト1世」(~1530206死去)
- 1533年-01:00|リビア/マルタ| ||<就任>マルタ騎士団のトリポリタニア総督「ガリシアコルニス」(~1535年)
- 1533年-01:00|スペイン| ||<就任>リバゴルサ伯「Martin」(~1565年)
- 1533年-01:00|イタリア/スペイン| ||モンフェッラート侯国をスペインが支配(~1536年)
- 1533年 05:00|ジャマイカ/スペイン| ||<就任>スペイン領サティアコ総督代行「ギル・ゴンザレス・ダビラ」(~1534年)
- 1533年 05:00|エクトル| ||ベナルカサスがエクトルへ侵入
- 1533年 06:00|グアテマラ/スペイン| ||<就任>スペイン領グアテマラ総督代行「ホルヘ・デ・アルバラド」(2回目~1535年4月)
- 1533年1月4日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ハチスタ・ロメリニ」(~15350104)
- 1533年1月5日-09:00|日本|京都府|天文1年12月10日|京都で徳政一揆が蜂起し、土倉衆が追い払う
- 1533年1月9日-09:00|日本|大阪府堺市|天文1年12月14日|<堺、天文元年の大火>(~15日)北荘のほとんど、南荘の3分の1が焼けた/約4000戸が焼失し数百人が死亡
- 1533年1月15日 00:00|イギリス| ||イギリス、ヘンリー8世がアン・ブーリンと結婚
- 1533年1月17日-09:00|日本|鹿児島県鹿屋市|天文1年12月22日|肝月河内守兼続入道省鈞、西俣城を攻め取る
- 1533年1月18日-09:00|日本|大阪府高槻市|天文1年12月23日|細川晴元の兵が摂津国の教行寺を焼き、一向宗徒を殺害
- 1533年1月22日-09:00|日本|宮崎県北諸県郡三股町|天文1年12月27日|庄内三侯で島津豊州家、北郷氏、北原氏の連合軍と戦い敗北
- 1533年1月25日-09:00|日本|広島県東広島市|天文2年|東西条入野竹林寺本堂造立
- 1533年1月25日-09:00|日本|福岡県福岡市|天文2年|<交替>九州探題「渋川植直」=>「渋川堯頭」(~天文3(1534)年死去)
- 1533年1月25日-07:00|ラオス/ベトナム| ||大越黎朝・元和1年1月|<即位>後黎朝(大越)後期初代皇帝「莊宗黎寧」(~15480309死去)元和と改元
- 1533年2月11日-09:00|日本|大阪府吹田市|天文2年1月18日|細川晴元の将の薬師寺国長が法華宗徒を率いて摂津国山田市場を焼き、一向宗徒を攻撃
- 1533年2月28日-09:00|日本|京都府京都市|天文2年2月5日|<就任>関白「九条植通」(~翌年11月21日)
- 1533年3月5日-09:00|日本|大阪府堺市堺区|天文2年2月10日|<堺南庄の戦い>一向宗徒が細川晴元がいた堺を陥

1550迄 (2430件)

落させ晴元を淡路へ追いやった

- 1533年3月5日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文2年2月10日|南郷城主・桑波田栄景が島津日新斎に叛き島津実久に与する
- 1533年3月7日-09:00|日本|神奈川県|天文2年2月12日|河越衆、大磯、平塚等を焼く
- 1533年3月13日-09:00|日本|静岡県榛原郡川根本町|天文2年2月18日|薬科檀那崩野庵首座・徳山小長谷与九郎・大工惣衛門、智者山神社(本川根町藤川)十二所権現の社殿造立
- 1533年3月30日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天文2年3月5日|<伊丹城の戦い>一向一揆が伊丹城を攻撃/木沢長政が法華衆を糾合して伊丹城を後巻にし一向一揆を破る
- 1533年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジヤコモ・デ・イ・ロド・ウ・イコ・カルチーニ」「ジ・ローモ・デ・イ・イウ・アンジ・エリスタ・ベルツィ」
- 1533年4月10日-01:00|デンマーク/ノルウェー/スウェーデン/ト・イツ| |||<死去>デンマーク・ノルウェー・スウェーデン国王「フレデリック1世」兼シュレースヴィヒ公「フレデリック1世」61歳(誕生14711007)
- 1533年4月10日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク摂政「トーマス・スティンセン・ビレ・エルケビ・スコップ・イルト」国務院議長(~15360806)
- 1533年4月10日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「エドヴァルド大司教オラフ・エンゲルブリクトン(国務院議長)」(2回目~15370401)
- 1533年4月14日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文2年3月20日|<岩津表の戦い>三河の岩津表で三宅貞保や鈴木重教に対して松平清康や松平勝茂が戦って、松平達が勝利
- 1533年4月15日-02:00|キプロス/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ステファノ・デ・イ・パ・ロ・ティエロ」(~15350519)
- 1533年4月22日-09:00|日本|宮崎県北諸県郡三股町|天文2年3月28日|島津忠朝、伊東軍と三侯で戦い勝利/伊東家臣の落合刑部、北郷氏に内応して庄内高城を明け渡す
- 1533年4月23日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天文2年3月29日|木沢長政が法華宗徒を率いて伊丹新興を援け、摂津国伊丹で一向宗徒を撃破
- 1533年4月23日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文2年3月29日|島津忠良は桑波田栄景が狩に出た隙を衝いて南郷城攻略、南郷を永吉と改める(島津貴久初陣)
- 1533年4月25日-09:00|日本|香川県小豆郡小豆島町|天文2年4月|小豆島、明王寺釈迦堂できる
- 1533年4月26日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|天文2年4月2日|林二郎左衛門尉、尾張国仙寿寺の聖観音坐像を寄進
- 1533年4月30日-01:00|イタリヤ| |||<死去>モンフェラート侯「ジョヴァンニ・ジョルジョ」
- 1533年4月30日-01:00|イタリヤ| |||<就任>モンフェラート侯「フェデリコ2世・ゴンザガ」マントヴァ公、ホニファーチョ4世の姉マルゲリータの夫(~15400628~15400828死去)
- 1533年5月18日-09:00|日本|山口県|天文2年4月24日|<死去>宗碩、長門国で客死(60歳)連歌師
- 1533年5月20日-09:00|日本|大阪府堺市|天文2年4月26日|細川晴元の兵が法華宗徒と共に本願寺光教(証如)の兵を堺で撃破
- 1533年5月23日 00:00|イギリス| |||英ヘンリー8世が、自ら任命した大司教トマス・クラマーに、王妃キャサリンとの離婚を成立させる
- 1533年5月28日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天文2年5月5日|<本願寺の戦い>三好千熊丸・木沢長政・法華衆が大坂本願寺を攻める
- 1533年6月1日 00:00|イギリス| |||イギリス、アンブールのイギリス王妃としての戴冠式が行われる
- 1533年6月1日 05:00|コロンビア/スペイン| |||スペインによってカルタヘナ・デ・インディア設立
- 1533年6月10日-09:00|日本|京都府京都市|天文2年5月18日|細川晴国方の細川国慶、洛北高雄で晴元勢と合戦し破る
- 1533年6月12日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天文2年5月20日|細川晴元と本願寺証如の和睦が成立/大坂本願寺を攻めていた三好千熊丸、木沢長政、法華衆が同寺より撤退
- 1533年6月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「張順孫」(~15341017)
- 1533年6月22日-01:00|オーストリア/ハンガリー/トルコ| |||オスマン朝のスレイマン1世とオーストリア・ハンガリー王フェルディナント1世が和約を結ぶ
- 1533年6月23日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文2年6月|徳林座元、臨濟宗金心山玉蔵寺(篠原町)開創
- 1533年6月24日-01:00|クロアチヤ| |||<就任>クロアチヤ・ハン代行「ペタル・ケケレウイッチ・ブジムスキ」(⇒15380106、バツ15421101)
- 1533年7月9日-08:00|中国| |||明・正徳9年|<死去>ヤルカント・ハン「スルタン・サイド」
- 1533年7月9日-08:00|中国| |||<即位>ヤルカント・ハン「アブドゥッカリム・ハン1世」スルタン・サイドの子(~1560年、死去)
- 1533年7月10日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文2年6月18日|<高雄の戦い>薬師寺国長が細川晴国と高雄で戦い、敗死/49歳(誕生:文明17(1485))
- 1533年7月12日-09:00|日本| |||天文2年6月20日|細川晴元が光教と和睦し、法華宗徒は帰京
- 1533年7月14日-09:00|日本|大阪府大阪市|天文2年6月22日|大坂本願寺にいた細川高国の牢人衆が晴元勢・証如勢に襲い掛かり双方300人の死者を出した
- 1533年7月22日-09:00|日本|広島県安芸郡海田町|天文2年7月|阿曾沼才霧丸、願主として、安南郡海田八幡宮の社殿を再興
- 1533年7月26日 05:00|ペルー/スペイン| |||<死去>インカ帝国が・インカ「アタワハ」ピサコにより処刑される(誕生:1500)インカ帝国が消滅
- 1533年7月26日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カステリヤ総督「フランシスコ・ピサコ・ゴンサレス」(~15410626没)
- 1533年7月26日 05:00|ペルー| |||<即位>インカ帝国(スペイン傀儡)が・インカ「トウパック・ワハ」フランシスコ・ピサコによって擁立された傀儡(~10月、天然痘により死亡)

1550迄 (2430件)

- 1533年8月15日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天文2年7月25日|摂津石山に親鸞像を移し、真宗の本寺と/石山本願寺となる
- 1533年8月17日-09:00|日本|千葉県館山市|天文2年7月27日|<稲村の変(安房国)>里見義豊、房州正木大膳大夫並びに叔父里見実菱を稲村城へ招き殺害
- 1533年8月20日-09:00|日本|島根県大田市|天文2年8月|石見銀山で神谷寿禎が灰吹法による銀の精錬に日本で初めて成功
- 1533年8月28日-01:00|スペイン| |||ヒカ、アタルパの弟パルパ(正式にはツァケルパ)をかいらい皇帝とし、スペイン王への忠誠を誓わせる
- 1533年8月29日-09:00|日本|広島県広島市安佐北区|天文2年8月10日|熊谷信直、毛利元就に帰降/武田光和、安北郡高松城に信直を攻めるが撃退される
- 1533年9月2日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文2年8月14日|島津忠良は吉利野久尾原において島津実久の軍勢を破る
- 1533年9月9日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|天文2年8月21日|<稲村の変(安房国)>里見義堯・正木時茂・同時忠ら、北条の援軍を得て海陸から妙本寺要害を攻める
- 1533年9月16日-09:00|日本|宮崎県|天文2年8月28日|<死去>日向都於郡領主「伊東祐充」⇒弟の「伊東祐吉」が継ぐ(天文5年6月8日(15360626)死去)
- 1533年9月19日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文2年9月|渡辺新三清友、相本八幡社(豊橋市石巻本町)再興
- 1533年9月19日-09:00|日本|宮崎県西都市|天文2年9月|伊東祐武が反乱を起こし、実権を握る重臣の福永祐炳父子ら4人を自害に追い込み、都於郡城を占拠。伊東祐充の弟である祐清(義祐)と祐吉は財部へ避難
- 1533年9月24日-09:00|日本|兵庫県西宮市|天文2年9月6日|<第二次越水城の戦い>瓦林氏の一族が一向衆と結託して阿波篠原氏の守る越水城を取り返す
- 1533年9月26日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンゴール首長「コンサロ・メンデス・サウト」(~15361004)
- 1533年10月 05:00|ペルー| |||<死去>インカ帝国(スペイン傀儡)サハ・インカ「トゥパック・ワルパ」天然痘により
- 1533年10月1日-01:00|サマリ| |||<就任>サマリ共和国執政「カミロ・デ・イ・メネット・ホネリ」「メルキオレ・デ・イ・フランチェスコ・ベルツィ」
- 1533年10月11日-09:00|日本|兵庫県西宮市|天文2年9月23日|<第三次越水城の戦い>三好伊賀守が瓦林衆と一向衆から越水城を奪い返す
- 1533年10月12日-09:00|日本|千葉県南房総市|天文2年9月24日|滝田城の里見義豊が、実業の子の里見義堯に敗れ義豊は一時的に上総の真里谷信清の元へ逃走
- 1533年10月14日-09:00|日本|新潟県|天文2年9月26日|上条定憲が再び長尾為景に謀反/安田景元らに上条定憲討伐を命じる
- 1533年10月18日-08:00|中国| |||明・嘉靖12年10月|明の大同で守備兵が反乱、一部がモンゴルのアルタンに投降・加担
- 1533年10月25日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文2年10月8日|船形山普門寺(豊橋市雲谷町)が兵火により仏閣僧坊悉く延焼し退転
- 1533年10月28日-01:00|フランス| |||フランス王フランソワ1世の次男「オルアン公」アンリ(のちのアンリ2世)と、故マデ・イ家カレノ公ロレンツォ(ロレンツォ・デ・イ・ピエロ・デ・マデ・イ)の娘カトリヌ・デ・マデ・イが、フランス南部のマルセイユで結婚
- 1533年11月2日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Francisco Gallegos + Pedro de San Martin」(~1534年)
- 1533年11月7日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天文2年10月21日|高国派の波多野秀忠、晴元派の丹波稻継城を攻略。高国派、丹波国を平定
- 1533年11月8日 05:00|ペルー/スペイン| |||ソの率いる60騎の先発隊、ハハを出発しクスコに向かう。アブリマック川にそってピルカカ山地に入ったところで、ヌヌ軍の待ち伏せ攻撃に会う。ソ軍はアルマゴロの応援を受けこれを撃破
- 1533年11月8日-09:00|日本|京都府京都市|天文2年10月22日|細川晴国の兵が晴元側の法華宗徒と山城西院で戦う
- 1533年11月10日-09:00|日本|新潟県上越市|天文2年10月24日|上条定憲側の長尾房長、中条藤資らが居田神社を焼き払う
- 1533年11月15日 05:00|ペルー/スペイン| |||クスコのアタルパ派、マソを引き連れたヒカの前に無血開城
- 1533年11月25日-01:00|フランス| |||<死去>ヌムル公「フィリップ・ド・サウオ＝ヌムル」
- 1533年11月25日-01:00|フランス| |||<就任>ヌムル公「ジャック・ド・サウオ＝ヌムル」フィリップ・ド・サウオ＝ヌムルの息子(~15850615死去)
- 1533年12月1日-09:00|日本|宮崎県西都市|天文2年11月16日|伊東祐清、荒武三省・伊東相模の援助で都於郡を攻め、祐武を自殺に追い込み、都於郡城にはいる
- 1533年12月2日-09:00|日本|宮崎県|天文2年11月17日|伊東祐武息の伊東左兵衛佐、米良石見守を頼り反乱を起こす
- 1533年12月3日-04:00|ロシア| |||<死去>モスクワ大公「ヴァシリ3世」
- 1533年12月3日-04:00|ロシア| |||<就任>モスクワ大公国摂政「ヴェリカヤ・クニヤギニャ・イェレナ・ヴァシリエヴナ・ケリンスカヤ」(~15380404没)
- 1533年12月3日-04:00|ロシア| |||<即位>モスクワ大公「イヴァン4世」(~15470116)
- 1533年12月7日-09:00|日本|宮崎県|天文2年11月22日|山岳の諸衆、伊東祐清派と伊東左兵衛佐派に分かれ、合戦に及ぶ
- 1533年12月14日 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン王立サント・ミンゴ大審問院判事「サント・トミニゴ司教アロンソ・デ・フェンヨール」(~1535年)

1550迄 (2430件)

- 1533年12月16日-09:00|日本|佐賀県神崎市|天文2年12月|陶道麒は大軍を東肥前に進め、少弐の重要拠点綾部城を攻め落し、少弐の本城勢福寺城を包圍
- 1533年12月16日-09:00|日本|佐賀県鳥栖市|天文2年12月|渋川義長は少弐資元に与同じ、肥前朝日山城を大内軍に攻撃されて敗北/九州探題の顛末
- 1533年12月16日-08:00|中国/モンゴル||明・嘉靖12年12月|モンゴルのジノが寧夏に侵入
- 1533年12月17日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文2年12月2日|薩州島津家臣日置城主山田有親、島津忠良に降伏。家臣となる
- 1533年12月20日 05:00|パナマ/スペイン|||<就任>パナマ総督「フランシスコ・デル・ピエタ」(~1536年8月)
- 1533年12月28日-09:00|日本|宮崎県|天文2年12月13日|内戦は伊東祐清派の勝利に終わり、諸衆は祐清に降る
- 1533年12月30日-09:00|日本|宮崎県|天文2年12月15日|北原氏、伊東家の内紛に乗じ綾まで進出/伊東祐清、庄内高城を割譲することで和睦
- 1534年-08:00|インド/ポルトガル|||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Tristao de Ataide」(~1536年)
- 1534年-07:00|タイ|||<死去>アユタヤ王朝第13代国王「ラッサク・ティラトクマン(ラッサク)」
- 1534年-07:00|タイ|||<即位>アユタヤ王朝第14代国王「チャイラーチャーティラト(チャイラーチャー)」(~1546年死去)
- 1534年-05:30|インド|||<即位>パネーティヤ朝君主「Cataiyavarman Civalappa Pandyan」(~1543年)
- 1534年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン|||<即位>ブハラ・ハン国シャイバニ朝ハン「ウバイドゥッラー・ハン」ムハンマド・シャイバニの兄弟マムトの子(~1539年)
- 1534年-04:00|ロシア|||<死去>リャザン大公「イヴァン5世イヴァノヴィチ」
- 1534年-03:30|イラン|||<就任>サファヴィー朝宰相「ミール・エヤット・アッラー・クザニ」⇒「クワアズ・エ・モイン・ヤズデー」(~1535年)
- 1534年-03:30|イラン|||<即位>ホムス・シャー「モザファル・アッディン・サルグール・シャー2世」(~1543年)
- 1534年-02:00|ルーマニア/ハンガリー|||<死去>トランシルヴァニア総督「イシュトヴァン・ハトリ」
- 1534年-02:00|ギリシャ/イタリア|||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ピエトロ・ポルト」(~1536年)
- 1534年-02:00|ルーマニア/ハンガリー|||<就任>トランシルヴァニア総督「イムレ・チバク」(~8月)
- 1534年-02:00|シリア・アラブ/トルコ|||<就任>ハラブ(アレッポ)サンジャクベイ「ムハンマド・ベイ」(~1535年)
- 1534年-02:00|エストニア/ドイツ|||<就任>リヴォニアのレヴァル司令官「レンメルト・フォン・シャレンベルク」(~1550年死去)
- 1534年-01:00|フランス|||<就任>エタンフ伯「ジャン4世」(⇒1536年エタンフ公~1553年)
- 1534年-01:00|ポズナニア/オーストリア/トルコ|||<就任>ポズナニア総督「ウラマ・ハシヤ」(1回目~1536年)
- 1534年-01:00|フランス|||<就任>モンベリアル伯「ウルリッヒ」(~1542年)
- 1534年 00:00|イギリス|||<死去>デズモンド伯「トマス・フィッツジェラルド」
- 1534年 00:00|アイスランド/デンマーク|||<就任>アイスランド支配者代行「スカルヘルティ司教オグムンドゥル・ハルソン」「ホルム司教ヨン・アラソン」(~1536年)
- 1534年 00:00|イギリス|||<就任>コンウォール公「ヘンリー」ヘンリー8世の子(~同年死去)
- 1534年 00:00|イギリス|||<就任>デズモンド伯「ジョン・フィッツジェラルド」(~1536.12死去)
- 1534年 00:00|ポルトガル/ブラジル|||ポルトガル国王がブラジルに加比ニア制度を施行
- 1534年 04:30|ベネチア/スペイン|||<就任>スペイン領ベネチア暫定総督「Rodrigo de Bastidas」(1期目~15350101)
- 1534年 05:00|ジャマイカ/スペイン|||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「マヌエル・デ・ロハ」(2回目~1539年)
- 1534年 05:00|ペルー|||<即位>インカ帝国(スペイン傀儡)サハ・インカ「マンコ・インカ・ユパンキ」フランスコピサが擁立(⇒1536年4月、逃亡して亡命政権を開く~1544年6月、暗殺される)
- 1534年 06:00|エルサルバドル/スペイン|||<就任>サンサルバドル一般市長「イシドロ・ゴラスコ」(~1536年)
- 1534年 06:00|エルサルバドル/スペイン|||<就任>スペイン領サンサルバドル上級判事(後副総督)「ホルヘ・アルバラド・イ・コントラス」(~1535年)
- 1534年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/パナマ/スペイン|||<就任>スペイン領ベラグア総督「フェリペ・グティエレス・イトレド」(~1536年)
- 1534年1月5日-09:00|日本|宮城県|天文2年12月21日|<死去>陸奥登米寺池領主「葛西晴重」⇒三男の「葛西晴胤」が継ぐ(~弘治元(1555)年死去)
- 1534年1月6日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文2年12月22日|島津日新齋、島津実久方の日置城主・山田有高を伊作佛坂にて討ち取る
- 1534年1月6日-09:00|日本|静岡県菊川市|天文2年12月22日|<死去>曹洞宗洞谷山竜雲寺(菊川町西方)開山法山宗益
- 1534年1月8日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文2年12月24日|島津忠良は日置城主山田有親を成敗
- 1534年1月9日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文2年12月25日|日蓮宗徒が細川晴国の軍と戦闘になり、西院・梅津に放火して晴国の兵を破る
- 1534年1月10日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文2年12月26日|松平清康、信濃の兵数千を、井田野(岡崎市井田町)の戦いで敗走させる
- 1534年1月15日-09:00|日本|石川県|天文3年|<任命>加賀国守護「富樫晴泰(⇒晴時⇒晴貞)」(~元龜元(1570)年死去)
- 1534年1月15日-09:00|日本|岩手県|天文3年|南部氏、陸奥閉伊郡を平定
- 1534年1月15日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文3年|肝付兼演、加治木を攻め取り、溝辺より加治木へ移る
- 1534年1月15日-09:00|日本|佐賀県|天文3年|<任命>肥前国守護「少弐資元」(~天文3(1534)年)
- 1534年1月15日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天文3年|釈菊淵が清水谷[立石西触]の竜谷院を開く
- 1534年1月15日-09:00|日本|長野県|天文3年|<交替>信濃諏訪領主「諏訪頼満」隠居⇒孫の「諏訪頼重」(~天文10(1541)年7月、武田晴信に降伏失領)
- 1534年1月15日-09:00|日本|福岡県福岡市|天文3年|<死去>九州探題「渋川堯顕」⇒「渋川義基」大内方探題(~天文2

1550迄 (2430件)

3 (1554) 年)

- 1534年1月15日-09:00|日本|福岡県福岡市|天文3年|<任命>九州探題「洪川右衛門佐教直」大友方探題(~天文12(1543)年頃)
- 1534年1月15日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文3年1月|島津忠朝、三俣高城を落とす
- 1534年1月20日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文3年1月6日|庄内高城城主落合刑部少輔、北原氏への城明け渡しに反発して城ごと北郷氏に寝返る
- 1534年1月30日-01:00|ハンガリー| ||<死去>ハンガリー王室総督「ヤンシュ・バンフィ・アルソンド・ヴァイ」
- 1534年2月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・クリス(総督)「ルフィ・ハッシャ」(2期目~1535年)
- 1534年2月 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 副総督「ゴンサロ・デ・グスマン」(2回目~15370320)
- 1534年2月 05:00|エクトル/ペルー| ||<就任>キトに退却したキスクス軍、エクトルより反撃を試みるが失敗、四散
- 1534年2月1日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿代行「オファリー卿トマス・フィッツジェラルド」(~6.11)
- 1534年2月9日-09:00|日本|熊本県熊本市|天文3年1月26日|名和武顕、菊池義武勢力下の隈庄城に宣戦布告
- 1534年2月15日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文3年閏1月3日|山城国梅宮社焼亡
- 1534年3月1日 00:00|イギリス| ||<死去>リンカーン伯「ハリー・ブランドン」
- 1534年3月16日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天文3年2月2日|米良一揆衆、新納高城を攻め落とす
- 1534年3月19日-09:00|日本|宮崎県|天文3年2月5日|伊東祐清、伊東左兵衛佐派をほぼ制圧
- 1534年3月24日-09:00|日本|愛媛県|天文3年2月10日|大野直義ら、浮穴郡田渡八幡神社を造営
- 1534年4月 05:00|エクトル| ||<就任>ペナルカサル、ティカハス(現リオバンバ 付近のチンボラソ山麓地帯)でルミヤウイ軍を破る
- 1534年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・レオネ・デ・イファブ・リツィオ・コルベッリ」「ジュリアーノ・デ・イマリノ・リギ」
- 1534年4月11日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天文3年2月28日|伊東祐清、新納高城の米良一揆衆を鎮圧するも、重臣荒武三省ら多数を失う
- 1534年4月14日-09:00|日本|静岡県袋井市|天文3年3月1日|久野家、伊藤善右衛門宗興の病氣平癒に感謝し、深見神社(袋井市深見)社殿を造営
- 1534年4月16日-09:00|日本|愛媛県西条市|天文3年3月3日|渡部近重、桑村郡湯座八幡神社を造営
- 1534年4月17日 00:00|イギリス| ||トマス・モアが大逆罪の罪人としてロンドン塔に送られ、ベル・タワーの地下牢に閉じ込められる
- 1534年4月17日-09:00|日本|奈良県桜井市|天文3年3月4日|土佐光茂の大和国長谷寺観音像開眼供養
- 1534年4月23日-09:00|日本|熊本県|天文3年3月10日|肥後人吉領主「相良長唯」は現在の八代市古麓町上り山に鷹峯城を築き居を移す
- 1534年5月-01:00|ドイツ| ||<復位>ヴァルデンブルク公「ウルリヒ」(~15501106死去)
- 1534年5月13日-09:00|日本|岩手県奥州市|天文3年4月|南部勢と一族の九戸勢、陸奥胆沢郡総領職の柏山明吉勢を攻めるが、柏山勢辛うじてこれを撃退
- 1534年5月18日-09:00|日本|大分県杵築市|天文3年4月6日|<勢場ヶ原の戦い(豊後国)>大内義隆の家臣の陶興房らが、勢場原で大友義鑑の軍と戦う/大友主軍はほぼ壊滅、氏直を助けようとした寒田親将、広瀬裕則以下が戦死/立石、地蔵峠に残っていた1,800の軍勢は「吊い合戦」と称し反撃、午前11時頃より各地で奇襲、急襲を繰り返し大内軍を翻弄、緒戦の勝利に油断していた大内軍は対抗できず、すぐに崩れて大敗、大人数が討たれ、主将の陶興房も負傷/大内軍は寄藻川沿いに豊後高田方面へと退却し、海路周防に撤退
- 1534年5月18日-09:00|日本|千葉県|天文3年4月6日|<死去>安房国主「里見義通」⇒「里見義堯」が継ぐ(永禄5(1562)年隠居~天正2年6月1日(15740619)死去)
- 1534年5月18日-09:00|日本|千葉県南房総市|天文3年4月6日|<犬掛の戦い(安房国)>父、里見実堯を殺害された息子の里見義堯と同じく稲村城で殺害された正木通綱の息子、正木時茂・時忠が連合して敵である義豊を討つべく決起、造海城に籠城し北条氏綱に援軍を求め、北条氏綱も要請に応じて造海城に援軍を派遣、里見義堯・正木兄弟・北条の連合軍と里見義豊軍が犬掛の地で激突し、里見義豊討死
- 1534年5月21日 04:00|パラグアイ/スペイン| ||<就任>スペイン領スエバ・アンダルス総督「ペドロ・デ・メントーサ」領土制定(~1537年)
- 1534年6月 05:00|エクトル/スペイン| ||スペインによるエクトル征服(ペルー副王領の一部)
- 1534年6月8日-01:00|アンドラ| ||<就任>アンドラ公国共同大公「ウルル司教フランチェスコ・ド・ウリス」(~15511026死去)
- 1534年6月11日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿代行「テルピン男爵リチャード・ニュージエント」(~8月)
- 1534年6月11日 00:00|アイルランド| ||アイルランドでキルデアの乱(~1935.8)
- 1534年7月-01:00|スペイン| ||スペイン、「ペルー及びピスコ地方征服実録」刊行
- 1534年7月-01:00|フランス| ||フランス王フランソワ1世、古代ローマの「軍団」になぞらえ、「教区」ごとに兵士を出させ、3万4千人の「歩兵隊」を組織する「国民軍団」を創設
- 1534年7月 05:00|エクトル| ||ペナルカサル、ガソバの町を占領
- 1534年7月1日-03:30|イラン| ||オスマン朝軍が、ペルシアのサファヴィー朝領に侵入し、タブリーズに入城
- 1534年7月2日-09:00|日本|新潟県|天文3年5月21日|上杉定憲:為景側の安田景元、北条光広と納下で争い勝利
- 1534年7月4日-01:00|デンマーク/ノルウェー| ||<即位>デンマーク=ノルウェー二重王国国王「クリスチャン3世」フレデリク1世とアンナ・フォン・ブランデンブルクの息子(~15590101死去55歳)
- 1534年7月10日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天文3年5月29日|証如は和睦を破棄、再戦に及んだ
- 1534年7月18日-09:00|日本|京都府京都市|天文3年6月8日|室町幕府第12代將軍足利義晴、近衛尚通の女と婚姻
- 1534年7月21日-09:00|日本|宮城県大崎市|天文3年6月中旬|新田頼遠が陸奥加美郡泉沢に籠もり、大崎義直に対し反乱を起こし、これを契機に大崎天文の乱勃発

1550迄 (2430件)

- 1534年7月24日 06:00|カナダ/フランス| |||カナダのセント・ローレンス湾のガスペ半島に上陸したジャック・カルティエが、この地をフランス領と宣言
- 1534年8月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「スティーブン・マイラト」(~15400829)
- 1534年8月1日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文3年6月22日|松平清康、猿投社(豊田市)を焼く
- 1534年8月9日-09:00|日本|岡山県瀬戸内市|天文3年6月30日|備前国浦上正宗の将島村盛実、宇喜多能家を砥石城に攻め殺害
- 1534年8月10日-09:00|日本|広島県福山市|天文3年7月|毛利元就、鞆田郡亀寿山城に宮直信を攻める/直信病死し、嫡子元盛、元就に降伏
- 1534年8月10日-09:00|日本|千葉県|天文3年7月1日|<死去>下総真里谷領主「真里谷惣鑑」⇒子の「真里谷信隆」が継ぐ(~天文6(1537)年解任)
- 1534年8月15日-01:00|フランス/スペイン| |||「カスティリヤ王国」領バスク地方出身の修道士イグナチオ・ロヨラ(イグナチウス・ロヨラ)、パリで「イエズス会(ジエズイット教団)」を結成
- 1534年8月18日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク摂政「クリストフ・グラーフ・ス・オルデンブルク」総督(~15360806)
- 1534年8月21日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「マイルアダム領主フィリップ・ド・ヴァリエ」
- 1534年8月23日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ジョヴァンニ・デ・ホニファティウス」(~11.10)
- 1534年8月24日-09:00|日本|佐賀県神埼郡|天文3年7月15日|龍造寺剛忠が、陶道麒の本陣に迫り、大将陶道麒も身一つで筑前に逃げ帰らざるを得なくなった/三津山の急襲
- 1534年8月27日-05:30|イギリス| |||<死去>アーデル・シャーヒ朝シャー「イスマイル・アーデル・シャー」
- 1534年8月27日-05:30|イギリス| |||<即位>アーデル・シャーヒ朝シャー「マッラー・アーデル・シャー」(~同年死去)⇒「イブラヒム・アーデル・シャー1世」(~1558年死去)
- 1534年8月28日 05:00|エアドル/スペイン| |||サンチャゴ・デ・キボデ・アルマゴロによって設立
- 1534年8月28日 05:00|エアドル| |||バナルカサル, 30人の仲間とともにリオバンパを攻撃。ルニャウイを捕らえ幽閉/ピリヤ・デ・サンフランシスコ・デ・キボと名づけ議会を設立
- 1534年9月-03:30|イラン/トルコ| |||オスマン朝がサファビ朝よりメホタミアを奪回
- 1534年9月8日-09:00|日本|青森県黒石市|天文3年8月|黒石の万福寺が開かれる
- 1534年9月8日-09:00|日本|大阪府|天文3年8月|<交替>河内国守護「畠山植長」解任⇒「畠山長経」(~天文5(1536)年5月更迭)
- 1534年9月8日-09:00|日本|福岡県うきは市|天文3年8月|大内氏の豊前守護代杉重俊、大友被官の星野親忠兄弟を筑後大生寺城(福岡県浮羽町)に敗死させる
- 1534年9月10日-09:00|日本|京都府|天文3年8月3日|木沢長政、三好政長が一向宗徒を山城国谷山城に攻めおとす
- 1534年9月15日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ諸島のコレクター/治安判事「スティーブン・デ・ラコス」(~15360708)
- 1534年9月17日-09:00|日本| |||天文3年8月10日|尼子経久、息子の塩治興久を自殺させ、山内直通と和睦
- 1534年9月18日-09:00|日本|大阪府|天文3年8月11日|三好伊賀守ら本願寺光教に応じ摂津国椋橋城に拠る/細川晴元の兵がこれを攻めるが敗れる
- 1534年9月25日-01:00|バチカン| |||<死去>第219代ローマ教皇「クレメン7世」[1479年05月24日生~](享年55)
- 1534年9月29日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王国摂政「アロイ・グリュッティ」
- 1534年10月-01:00|チュニジア/トルコ| |||オスマン朝海軍がチュニスを征服し、地中海基地を建設
- 1534年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・シモネ・ベッルツィ」[「ジヤコモ・デ・アントニオ・ジヤンニ」]
- 1534年10月6日 00:00|ファン礼諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ジャージー-知事「Anthony Ughtred卿」
- 1534年10月6日 00:00|ファン礼諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-知事「Arthur Darcy卿」(~1536.1)
- 1534年10月8日-09:00|日本|徳島県|天文3年9月|<就任>平島公方「足利義冬(義維)」(~天正元年10月8日(1573)1102)死去)
- 1534年10月13日-01:00|バチカン| |||<就任>第220代ローマ教皇「パウル3世」(~15491110死去)
- 1534年10月24日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ウィリアム・スカフイントン卿」(~15351231)
- 1534年10月31日-01:00|イタリア| |||<死去>フェラーラ・モナ・レージョ公「アルフォンソ1世」58歳
- 1534年10月31日-01:00|イタリア| |||<即位>フェラーラ・モナ・レージョ公「エルコレ2世」(~15591003死去)
- 1534年11月 00:00|イギリス| |||イギリス国王ヘンリー8世が宗教改革議会を召集し、国王至上法を制定/イギリス教会制度はローマ・カトリック教会から独立
- 1534年11月10日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ピエロ・デ・ボント」(~15351117没)
- 1534年11月15日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文3年10月10日|島津勝久、川上忠昌が谷山山徳寺にて近臣・末弘忠季を誅殺したために、自身にも危難が及ぶのを恐れて根占へ遁れる
- 1534年11月18日-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「スレイマン・パシャ・イブン・クハット」(~1544年)
- 1534年11月18日-03:00|イラク/トルコ| |||オスマン朝軍がバグダットに無血入城し、イラクを併合
- 1534年11月25日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|天文3年10月20日|三好政長、光教の党三好伊賀守らと摂津国潮江荘西田中に戦い敗れる
- 1534年12月5日-09:00|日本|佐賀県神埼市|天文3年10月30日|<勢福寺城の戦い>大内義隆が肥前勢福寺領主「少貳資元」と講和、勢福寺城を明け渡した
- 1534年12月6日 05:00|エアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領北副総督「セバスチャン・デ・バナルカサル」(~1538年5月)
- 1534年12月6日 05:00|エアドル/スペイン| |||サンチャゴ・デ・キボをサン・フランシスコ・デ・キボと改名
- 1534年12月23日-05:30|イギリス/ポルトガル| |||「グジャラートのハート」ウル・シャー、ポルトガルにデウ、パセイン等を割譲

1550迄 (2430件)

- 1534年12月24日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「韓效元」(~15350201)
- 1534年12月25日-09:00|日本|千葉県市原市|天文3年11月20日|<椎津城の戦い>小弓公方義明、真里谷信隆の拠る上総椎津城を攻め「敵百余人」を討取る/真里谷信隆、峰上・百首(富津)城と天神台城(木更津)に移り、北条の支援下、真里谷信応に対抗
- 1535年-08:00|インドネシア| |||<即位>スタ・ガル王国マハラジャ「Ratu Dewata/Sang Ratu Jaya Dewata」(~1543年)
- 1535年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Hairun Jamilu」(~1570年)、「Khairun Jamil」(~1570年)
- 1535年-05:30|インド| |||<建国>ナワガル国
- 1535年-05:30|インド| |||マユーンガがゲジャラートのパ・ハード・ウル・シャー軍を撃破
- 1535年-05:00|カザフスタン| |||<死去>カザフ汗国ハン「アフメト」
- 1535年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カザフ汗国ハン「ハクナサル」カシムの次男(~同年)⇒「トクム」ジャニー・ベクの七男ジャテ・イの長男(~1537年)
- 1535年-05:00|トルクメスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァン国第6代ハン「アワナシュ」エメクの子(~1538年)
- 1535年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャー「Khalilullah2世」
- 1535年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャー朝国王「Farrukh Yassar2世」前王の兄弟(~同年)⇒「Shahr ukh of Shirvan」前王の息子(~1539年死去)
- 1535年-04:00|ロシア| |||<復位>カシモフ・ハン国ハン「シャー・アリー」(2期目~1567年死去)
- 1535年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「カティ・ジャハン・カスヴィーニ」(~1551年)
- 1535年-03:30|イラン/トルコ| |||オスマン朝スレイマン1世がスファビ朝のダブリスを奪取
- 1535年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「シヨヴァンニ・デ・アントニオ・モロ」(~1536年)
- 1535年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ティウ・アネ・ヒュスレフ・パシャ」(~1537年)
- 1535年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ハラブ(アレッポ)サンジャクベイ「フェイン・ベイ」(2期目~1539年)
- 1535年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||ポルトガル人がモザンビーク内陸部のテに入植を開始
- 1535年-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのベイルベイ代行「ハサン・アガ」(~1543年)
- 1535年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリダ総督「Cristobal Dabres」(~1542年)
- 1535年-01:00|リビア/マルタ| |||<就任>マルタ騎士団のトリポリタニア総督「ジョージ・シリグ」(~1537年)
- 1535年-01:00|アルジェリア/スペイン| |||アンハ(ホーン)がスペインに占領された(~1541年)
- 1535年 00:00|イギリス| |||<就任>11代サーランド伯「ジョン・ゴートン」(~15670623死去)
- 1535年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Pedro Botelho」(1期目~1541年)
- 1535年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Agustin de Zurbaran」(1期目~1536年)
- 1535年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>アラテ・ナトリア長官「Alvaro Martins Homem2世」
- 1535年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アラテ・ナトリア長官「Antao Martins da Camara」(~15770609死去)
- 1535年 04:00|トミニコ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ総督・総司令官「サント・ドミンゴ司教アロンソ・デ・フエンヨール」(1回目~1540年)
- 1535年 04:00|刊| |||アルマゲロがチリへ遠征
- 1535年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「フランシスコ・デ・モンテホ・イ・アルバレス」(1回目~1540年)
- 1535年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「ティエゴ・アルバレス・デ・オソリオ」(~1536年没)
- 1535年1月1日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督代理「Alonso Vasquez de Acuna」(~2.6)
- 1535年1月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「クリストフォロ・ロッソ・グマルティ」(~15370104)
- 1535年1月6日 05:00|ペルー| |||ピサロが、カリヤ港の近郊にリマ・デ・ロス・レイイス(諸王の都)を建設、ヌエバ・カステリヤの首都とする
- 1535年1月10日-01:00|イタリア/スペイン| |||ミラノ公国をカル5世が継承し、スペイン領となる
- 1535年1月10日 05:00|エクアドル/スペイン| |||ルミニャウィは拷問のうえ処刑される。ルミニャウィの残党は軒から北方に撤退/イバラ近郊のヤグアルコチャ湖畔の戦いで全滅
- 1535年1月17日-09:00|日本|京都府京都市|天文3年12月14日|<就任>関白「二条尹房」(~天文5(1536)年閏10月21日)
- 1535年1月17日-09:00|日本| ||天文3年12月14日|大内義隆が働きかけ、将軍義晴の勧告により、大内・大友講和締結
- 1535年1月18日 05:00|ペルー/スペイン| |||<設立>スペイン植民地ヌエバ・カステリヤ(パナマに從属~1542年)
- 1535年2月-01:00|フランス/トルコ| |||フランス王フランソワ1世、オスマン皇帝スレイマン1世と「同盟」を結ぶ
- 1535年2月3日-09:00|日本|愛媛県松山市|天文4年|二神種親ら、風早郡二神島八幡社を再建
- 1535年2月3日-09:00|日本|静岡県掛川市|天文4年|神谷院殿啓相宗珍大禅定門(原氏)、神谷山旭増寺(掛川市原里)開基
- 1535年2月3日-09:00|日本|山形県上山市|天文4年|上山義忠、出羽上山城築城
- 1535年2月6日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Jorge de Espira」(~15400611死去)、代理「Francisco Venegas」(~15370101)
- 1535年2月28日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<死去>リウネン騎士団団長「ヴァルター・フォン・ブレッテンベルク」
- 1535年2月28日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リウネン騎士団団長「ヘルマン・ブリュッヒゲネイ・ハーゼンカンプ」将軍(~15490204没)
- 1535年3月 04:00|刊| |||ガラパゴス諸島が、フレイトマス・デ・ベルランガにより発見される
- 1535年3月4日-09:00|日本|静岡県掛川市|天文4年2月|原左衛門尉頼郷、伯母春窓尼のため可睡斎7世太陽一鶴を開山に、鞍淵山春林院開基

1550迄 (2430件)

- 1535年3月4日-08:00|中国| ||明・嘉靖14年2月|寧夏で徭役賦課に反抗する兵士の反乱がおこる
- 1535年3月8日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天文4年2月5日|京都では大風により禁裏日華門が転倒
- 1535年3月10日 05:00|エクトル/スペイン| |||パナマ司教トマス・デ・ベルンガの指揮するスペインがガラゴス諸島を発見
- 1535年3月17日-09:00|日本|岐阜県|天文4年2月14日|<天文4年濃州大洪水>美濃で大洪水/枝広・井口間で死者2万余、家数万家流失
- 1535年4月 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督「ペドロ・デ・アルバート・イ・コントラス」(3回目~1536年2月)
- 1535年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローラモ・ディ・ジュリアーノ・ゴジ」 「アントニオ・ディ・ピエトロ・トントーニ」
- 1535年4月3日-09:00|日本|広島県世羅郡世羅町|天文4年3月|毛利元就が高野山休意を高野山城に攻めおとす
- 1535年4月8日-09:00|日本|広島県三次市|天文4年3月6日|これより先、毛利軍、尼子方の三次上里固屋を攻略
- 1535年4月9日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文4年3月7日|島津忠良と貴久、島津実久側の町田久用が守る伊集院城を攻略
- 1535年4月17日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「アントニオ・デ・メントーサ・イ・パチコ」(⇒5. 11、ヌエバ・イスパニヤ副王領~15501125)
- 1535年4月18日-09:00|日本|熊本県宇城市|天文4年3月16日|阿蘇惟前と名和武顕の軍が豊福の大野で合戦し肥後人吉領主「相良長唯」は阿蘇勢に味方して宇土勢を撃退
- 1535年4月24日-09:00|日本|熊本県宇城市|天文4年3月22日|皆吉武真は豊福城を棄てて撤退、同城は再び相良義滋が落とす/皆吉武真、宇土に退散
- 1535年4月27日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金謹思」(~15371201)
- 1535年5月2日-09:00|日本|広島県三次市|天文4年4月|和智豊広、大願主として、三谿郡吉舎浄土寺の木造阿弥陀如来坐像を再興
- 1535年5月4日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文4年4月3日|島津勝久、鹿児島へ帰城し、川上忠昌に切腹を命ず
- 1535年6月-02:00|ルーマニア| |||<死去>ワキヤ総督・領主「ウラド8世ウインティラ」
- 1535年6月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキヤ総督・領主「ラドゥ7世ハイン」(~1545年2月没)
- 1535年6月5日-09:00|日本|静岡県菊川市|天文4年5月5日|興嶽寺得春、横地氏開基の延命寺・東泉寺・授福寺の三が寺を合併し三光寺と称す
- 1535年6月11日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||ジャック・カルティエ(サンピエール)がフランスのために領有宣言
- 1535年6月11日-09:00|日本|石川県|天文4年5月11日|<死去>富樫種泰(62歳)元加賀国守護
- 1535年6月25日-01:00|ドイツ| |||<ミンスター-の反乱>北ドイツの都市ミンスターが帝国諸侯軍により陥落
- 1535年7月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>タマスカス・ワリス(総督)「イザベイハ・シャ」(2期目~同年)
- 1535年7月5日-09:00|日本|静岡県|天文4年6月5日|甲斐守護・武田信虎、今川氏の駿河に侵攻
- 1535年7月6日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランドの法律家・思想家トマス・モア(1478~、57歳)がロンドンでヘンリ8世の離婚に反対して処刑された/「ユートピア」
- 1535年7月11日-01:00|ドイツ/ポランド| |||<死去>ブランデンブルク選帝侯「ヨアヒム1世ネストル」
- 1535年7月11日-01:00|ドイツ/ポランド| |||<即位>ブランデンブルク選帝侯「ヨアヒム2世ヘクトル」ヨアヒム1世の息子(~15710103死去)プロテスタントに改宗した最初のブランデンブルク選帝侯
- 1535年7月12日-09:00|日本|大阪府|天文4年6月12日|細川晴元の兵が本願寺光教の兵を大坂で破る
- 1535年7月14日-01:00|チュニジア/トルコ/スペイン| |||カル5世軍がオスマン艦隊を撃破し、チュニスの港ラ・グレット(~1570. 1)、ピゼルト(~15740823)、マティア(~1554年)をスペインに占領
- 1535年7月20日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|天文4年6月20日|岩富(弥富)城・小西城の原氏が足利義明の小弓城に攻め寄せて合戦となり弥富殿「原康典」をはじめ小西衆の高橋・江口・佐藤氏らが討死
- 1535年8月3日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天文4年7月5日|<鳥波の戦い>武田軍、鳥波放火/武田方内田源四郎、首1つ討ち取る
- 1535年8月3日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天文4年7月5日|<死去>大和添下郡筒井領主「筒井順興」⇒嫡男の「筒井順昭」が継ぐ(~天文19年6月20日(15500802)死去)
- 1535年8月29日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文4年8月|島津勝久は島津実久と仲違いになり、実久方の兵が鹿児島を攻め街を炎上させ、島津勝久は帖佐に逃れる
- 1535年8月29日-09:00|日本|静岡県富士市|天文4年8月|金竜山心岳寺(藤枝市谷稲葉)三世学叟昌文、真言宗から曹洞宗に改宗して、関口氏所領の岩淵に光明山心包院を開山
- 1535年8月30日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天文4年8月2日|上杉定憲が琵琶島城を攻める
- 1535年9月11日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|天文4年8月14日|北郷忠相、新納氏領末吉・松山・梅北を攻める/島津豊後守これを援け、伊東・北原両氏、新納氏を助ける
- 1535年9月16日-09:00|日本|山梨県南巨摩郡南部町|天文4年8月19日|<万沢口の戦い>今川・武田軍は万沢口で合戦になるが決着はつかなかった
- 1535年9月19日-09:00|日本|山梨県南都留郡山中湖村|天文4年8月22日|<山中の戦い>今川氏に呼応する形で北条氏綱・氏康親子は2万4千の大軍で御殿場から侵攻し、山中で武田信虎方の勝沼信友(信虎の弟)・小山田勢と交戦/武田・小山田勢は未刻(午後2時頃)に敗退/武田氏と同盟関係にあった扇谷上杉氏の上杉朝興が北条氏が留守の相模に侵攻する気配を見せたため北条軍は撤兵
- 1535年9月25日-04:00|ロシア| |||<死去>ガズン・ハン「ジャン・アリ」
- 1535年9月25日-04:00|ロシア| |||<即位>ガズン・ハン「サファ・ゲライ」(2度目~1546年)
- 1535年9月27日-09:00|日本|広島県三次市|天文4年9月|三吉致高、社務東高勝と合力し、三次郡畠敷王子権現の木

1550迄(2430件)

造阿弥陀如来坐像を造立

- 1535年10月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「イノチェンツォ・デ・イ・メネット・ボネリ」 「ジヤコモ・デ・イ・エウアンジエリスタ・ベルツィ」
- 1535年10月2日 06:00|カナダ | |||ジヤック・カティエが、セント・ローレンス川をさかのぼって到達した町をモンラル(モントリオール)と名付ける
- 1535年10月5日-01:00|リヒテンシュタイン | |||<死去>スルツ伯・クレットガウ方伯「ルトルフ1世」
- 1535年10月5日-01:00|リヒテンシュタイン | |||<就任>スルツ伯・クレットガウ方伯「ヨハン・ルートヴィヒ」(~1544年12月没)
- 1535年10月12日-01:00|スペイン | |||<就任>オハバ・ルス伯「ペドロ・ペレス・デ・グスマン・イ・スニガ」
- 1535年10月13日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文4年9月17日|武田信虎、諏方碧雲齋(頼満)と諏方社の宝鈴を鳴らして和睦
- 1535年10月20日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル | |||<死去>サンジェル島トナリオ長官「Rui Goncalves da Camara2世」
- 1535年10月20日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル | |||<就任>サンジェル島トナリオ長官「Manuel da Camara」(~15780313死去)
- 1535年10月26日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文4年9月30日|島津勝久は祁答院重武、肝付兼利らとともに鹿児島を攻め攻略、谷山に進撃するが敗れて肝付兼利が戦死
- 1535年10月27日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天文4年10月1日|若狭武田氏、丹後田辺を攻める
- 1535年11月1日-01:00|イタリア/スペイン | |||<死去>ミラノ公「フランチェスコ2世・スフォルツァ」/後継者なくロンバルディアは、ハプスブルク家のスペイン領に
- 1535年11月3日-09:00|日本|茨城県古河市|天文4年10月8日|<死去>第3代古河公方「足利高基」⇒4代「足利晴氏」が継ぐ(~天文21(1552)年12月12日)
- 1535年11月5日-09:00|日本|鹿児島県|天文4年10月10日|島津家に内紛起こる/島津勝久没落し、薩摩・大隅・日向の諸氏も内紛状態に
- 1535年11月8日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文4年10月13日|北条氏綱が河越城で上杉朝興を攻撃
- 1535年11月10日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文4年10月15日|北条氏綱、河越の入間川河畔で上杉朝興と合戦し勝利
- 1535年11月17日-01:00|マルタ | |||<死去>マルタ騎士団総長「ピエロ・デ・ボネ」
- 1535年11月19日-01:00|マルタ | |||<就任>マルタ騎士団総長「ジャック・ド・ハロン」副官(~15380121)
- 1535年11月22日-01:00|マルタ | |||<就任>マルタ騎士団総長「デ・イェド・サンジャイ」不在選出(就任しなかった~15360926没)
- 1535年11月25日-09:00|日本|静岡県湖西市|天文4年11月|白須賀笠子神社、浜名川白須賀湊の西岸から笠子に移転
- 1535年12月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|天文4年11月30日|本願寺証如、細川晴元と和睦
- 1535年12月25日-09:00|日本|茨城県東茨城郡城里町|天文4年12月|高久義貞が反旗を翻し、佐竹義篤が高久城を落とす
- 1535年12月25日-09:00|日本|宮崎県東臼杵郡門川町|天文4年12月|門川城主某、土持氏と結び伊東氏に反乱を起こす
- 1535年12月26日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文4年12月2日|<死去>龍潭寺(浜松市北区引佐町井伊谷)勧請開山文叔瑞郁(69歳)
- 1535年12月27日-09:00|日本|愛知県|天文4年12月3日|三河安祥城および岡崎城主・松平清康(家康の祖父)、再び、1万余りの大軍で尾張に侵攻開始
- 1535年12月29日-09:00|日本|愛知県名古屋守山区|天文4年12月5日|<守山崩れ>三河岡崎城主松平清康が近侍の阿部弥七郎に背後から襲われて斬殺される/25歳(誕生:永正8(1511)0907)主を失った三河勢は岡崎に撤退
- 1536年-08:00|インドネシア/ポルトガル | |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Antonio Galvao」(~1540年)
- 1536年-08:00|インドネシア | |||<即位>ジャバロ・スルタン「Katarabumi」(~1552年)
- 1536年-05:30|インド | |||<復位>ムファリト朝スルタン「ハートール・シャー」(2期目~1537.2死去)
- 1536年-03:00|イェメン/トルコ | |||<就任>オスマン帝国サ総督「Nahuda Ahmed Bey」(~1539年)
- 1536年-03:00|ベラルーシ | |||<即位>ムスチスラヴリ公「Julijona Lengvenait」(~1569年)
- 1536年-02:00|ギリシャ/イタリア | |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「アントニオ・ダ・ムラ」(~1538年)
- 1536年-01:00|ドイツ | |||<死去>リッペ伯「ジームン5世」
- 1536年-01:00|ドイツ | |||<就任>アレンベルク伯「ロベルト3世」(~1541年)
- 1536年-01:00|ポーランド | |||<就任>オレシツァ公「ヨアヒム、インツ72世、ヤン、インツ-2世」共同統治(~1548年)
- 1536年-01:00|ドイツ | |||<就任>リュネブルク侯「フランツ」(~1539年)
- 1536年-01:00|ドイツ | |||<就任>リッペ伯「ヘルムハルト8世」(~15630415死去)
- 1536年-01:00|フランス | |||<昇格>エタンプ伯「ジャン4世」⇒エタンプ公(~1553年)
- 1536年-01:00|チャド | |||<即位>ハギルミ王国スルタン「Lubatko, Mbangi」(~1548年)
- 1536年-01:00|アルジェリア/トルコ | |||アルジェはオスマン帝国領(~18300705)
- 1536年-01:00|イタリア/スイス | |||サヴォイア公国、ジュネヴを失う
- 1536年 00:00|アイスランド/デンマーク | |||<就任>アイスランド支配者「クラウス・ファン・マルグイッセン」(~1541年)
- 1536年 00:00|イギリス | |||<就任>コンウォール公「ヘンリー」ヘンリー8世の子(~同年死去)
- 1536年 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Bernardino de Ledesma」(~1538年)
- 1536年 00:00|マン島/イギリス | |||<就任>マン島知事「George Stanley」(~1545年)

1550迄 (2430件)

- 1536年 03:00|ブラジル| ||ポルトガル人がブラジル北東部にベルナンブルを建設
1536年 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サンサルバドル一般市長「アロンソ・デ・オリベロス」(~1537年)
1536年 06:00|ニカラグア| ||<就任>ニカラグア総督「ロドリゴ・デ・コントレラス・イ・ラ・ホス」(~1544年)
1536年 06:00|グアテマラ| ||イタズ地方がランカス・ア・デ・イオスで金銀の鉱山発見
1536年1月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・リス(総督)「メフメド・ケサル・ハシヤ」(~1537年)
1536年1月 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージー知事「Thomas Vaux」(~1537年)
1536年1月1日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿代行「グレイ子爵レナード・グレイ」(⇒2. 23. 副卿~15400502)
1536年1月5日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文4年12月12日|<井田野合戦>松平広忠が三河に押し寄せた織田信秀の三千騎を井田野で食い止め撃破
1536年1月7日 00:00|イギリス| ||キャサリン没/50歳(誕生:14851215)イングランド王ヘンリ8世の最初の妃
1536年1月8日-09:00|日本|宮城県東白根郡門川町|天文4年12月15日|伊東祐吉、門川へ出兵して土持氏を破り、反乱を鎮定
1536年1月21日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文4年12月28日|<吉田城の戦い>朝比奈越前守輝勝・朝比奈摂津守・伊東左近将監祐時・岡部出雲守輝綱・長谷川石見守吉一、吉田城戸田金七郎・牧野伝兵衛成敏攻め落す
1536年1月23日-09:00|日本|神奈川県横浜市金沢区|天文5年|多米周防守元興、本願寺(豊橋市多米町)を武蔵国久良木郡三沢に移し、寺号を法照山豊顕寺と改める
1536年1月23日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・大正7年|<即位>パントウカ王「Maha Sarak(Tra Loc)」(~1541年)
1536年1月24日-01:00|イタリヤ| ||ベネチア、カル5世との同盟更新
1536年1月26日-09:00|日本|京都府京都市山科区|天文5年1月4日|本願寺証如が山科の道場(本願寺)を再興
1536年2月-01:00|スペイン/ペルー| ||マンコ・インカが反スペイン蜂起、クスコ市を包囲
1536年2月 00:00|イギリス| ||イギリスで小修道院解散法を制定
1536年2月 06:00|グアテマラ/スペイン| ||<就任>スペイン領グアテマラ総督代行「アロンソ・デ・マルト・ナド」(~1539年)
1536年2月2日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ペドロ・デ・メントーサ」(~15370422死去)
1536年2月18日-01:00|フランス/トルコ| ||オスマン朝がフランスにキビチュレーション(通商特権)を付与
1536年2月23日-09:00|日本|宮城県大崎市|天文5年2月2日|氏家一党内の内輪もめから内乱/氏家安芸守が岩手沢城の氏家清継に夜襲をかけ、弟直継を自害させた清継を自決に追いやった
1536年3月-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「バルブ・ネコエ」篡奪者(~4月)
1536年3月-01:00|スイス/フランス| ||フランス出身の神学者ジャン・カルヴァン、バベルで「キリスト教綱要」(ラテン語版)を出版
1536年3月 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||メントーサがラプラタ川口に到着し、プエルトアイレスを建設
1536年3月14日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「アヤス・メフメド・ハシヤ」(~15390713)
1536年3月19日-08:00|中国| ||明・嘉靖15年2月28日|四川、西昌地震/M7. 5、死者数百人
1536年3月28日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文5年3月7日|島津忠良・貴久は城将・町田久用不在の伊集院一宇治城を攻め、陥落させる
1536年3月31日-01:00|フランス| ||<死去>フランス国王フランソワ1世[1494年09月12日生~](享年41)
1536年4月 05:00|コロンビア| ||コロンボがエルトラトをもとめてコロンビア内陸地方を探検
1536年4月 05:00|ペルー| ||マンコ・インカ、クスコを脱出しユカイの聖なる谷に到着、反乱を開始
1536年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「メルキオーレ・デ・イ・フランチェスコ・ベルツィ」[「サンマリナーノ・デ・イ・アントレ・ア・テニ」]
1536年4月3日-01:00|フランス/イタリヤ| ||仏軍、トリノを占領
1536年4月4日-01:00|ドイツ| ||<死去>ブランテンブルク=アンスタットの辺境伯「フリードリヒ2世」
1536年4月4日-01:00|ドイツ| ||<就任>ブランテンブルク=アンスタットの辺境伯「ゲオルク敬虔伯」(~15431227死去)
1536年4月4日 00:00|イギリス| ||イギリスでウェールズ合同法が制定
1536年4月7日-09:00|日本|静岡県|天文5年3月17日|<死去>駿河・遠江国守護「今川氏輝」⇒「今川義元」が継ぐ(~永禄3(1560)年5月19日)
1536年4月16日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|天文5年3月26日|一向宗徒、三好伊賀守を摂津国西難波に破る
1536年4月20日-08:00|中国/モンゴル| ||明・嘉靖15年4月|モンゴルのジンギスが北辺に侵入し、大同付近に駐留
1536年4月30日-09:00|日本|新潟県上越市|天文5年4月10日|上条定憲軍は春日山城を攻撃、長尾為景は高梨政盛らの援軍を得て三分一原でこれを撃退
1536年5月-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「ガジ・フスル・ベグ」(3回目~15410618)
1536年5月-01:00|スペイン/ペルー| ||リマ奪回をねらうキリコパンギ将軍、インカ反乱軍をひきいてスペイン軍を打破
1536年5月1日-09:00|日本|宮城県大崎市|天文5年4月11日|夜、緒絶川で境に対岸の米谷兵部の館を、古川城内に籠っていた新田頼遠兄弟の反大崎義直派が攻撃したが、米谷兵部、米谷入道治部は館を脱出したが、女子・稚児は一人残らず斬殺された
1536年5月4日-09:00|日本|福島県伊達郡桑折町|天文5年4月14日|伊達植宗、分国法「塵芥集」を制定
1536年5月19日 00:00|イギリス| ||5人の男と姦通したという理由でヘンリ8世、妻アン・ブーリンを斬首
1536年5月20日-09:00|日本|大阪府|天文5年5月|<交替>河内国守護「畠山長経」更迭⇒「畠山勝熙」就任(~天文7(1538)年7月更迭)
1536年5月20日-09:00|日本|宮城県大崎市|天文5年5月|大崎義直が家臣の古川氏や新井田氏らに反乱を起こされ、伊達植宗の援助を借り、反乱軍の陸奥古川城主古川持照の自刃、岩手沢城主氏家直継の降伏、新田頼遠の逃亡により大崎天文の乱終
1536年5月29日 00:00|イギリス| ||アン・ブーリンを処刑したばかりのヘンリ8世が、ジェーン・シーモアと正式に結婚

1550迄 (2430件)

- 1536年6月10日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天文5年5月22日|若狭武田氏、丹後田辺城を攻略
- 1536年6月13日-09:00|日本|静岡県静岡市|天文5年5月25日|<花倉の乱(駿河国)>今川恵探派は久能山で挙兵し、駿河府中の今川館を襲撃、今川館の守りが堅く襲撃が失敗すると、恵探派は方ノ上城、花倉城を拠点として抵抗/花蔵の乱により、足洗大明神造宮勤進物紛失/花蔵の乱により、吐月峰柴屋寺が兵火に遭う
- 1536年6月24日-09:00|日本|静岡県静岡市|天文5年6月6日|今川義元軍、駿府周辺制圧
- 1536年6月26日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天文5年6月8日|<死去>日向都於郡領主「伊東祐吉」⇒兄の「伊東義祐」が継ぎ佐土原城に移転(~永禄3(1560)年)
- 1536年6月28日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天文5年6月10日|兵火により、華蔵山遍照光寺(花倉)焼失
- 1536年6月28日-09:00|日本|静岡県焼津市|天文5年6月10日|<花倉の乱>今川義元は相模の後北条氏の支援も得て、岡部親綱が方ノ上城を攻撃、落城させ、次いで恵探の籠る花倉城をいっせいに攻め立て、恵探は支えきれずに逃亡、瀬戸谷の普門寺で自刃
- 1536年6月29日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハ-テ-ン-パ-テ-ン辺境伯「ヘルハルト3世」
- 1536年6月29日-01:00|ドイツ| |||<就任>ハ-テ-ン-パ-テ-ン辺境伯「フリハルト」(~15691003死去)
- 1536年7月 00:00|イギリス| |||イギリス国教会の信仰箇条「10箇条」が制定
- 1536年7月 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<死去>ポルトリコ知事兼提督「Francisco Manuel de Lando」
- 1536年7月7日-09:00|日本|宮城県大崎市|天文5年6月19日|古川城を包囲した大崎義直軍と伊達援軍が攻撃を開始、両軍総力戦で日没まで死力をしぼり戦った、船形連峰に日が沈むと、いずれの軍も本陣に引き上げた
- 1536年7月8日 01:00|カボベルデ/ホルトガル| |||<就任>カボベルデ諸島のコレクター/治安判事「アントレ・フェイオ」(~15400814)
- 1536年7月8日-09:00|日本|宮城県大崎市|天文5年6月20日|大崎義直・伊達連合軍は古川城の外堀を落とし、本丸に押し迫る/反乱軍は和睦を求めたが、反乱軍の逃亡者が相次ぎ、首謀者と一握りの家臣と成ってしまい和睦は為されず
- 1536年7月9日-09:00|日本|宮城県大崎市|天文5年6月21日|大崎義直・伊達連合軍の古川城総攻撃がかけられた結果、古川形部少輔持照及び嫡子又三郎直植、異母兄弟安童丸が切腹、他古川形部弟孫三郎、新田宮内、豊島兄弟、仏坂孫右衛門、五井伊豆入道親子三人合わせて15人切腹、古川形部の弟四朗三郎ら56人戦死/反乱軍の首謀者の一人、高泉木工権頭直堅は高泉城に逃れ、再築した城に火を放ち佐沼城へ引き籠った/反乱軍の氏家安芸守、新田頼遠は、岩手沢城に逃れた
- 1536年7月11日-09:00|日本|北海道|天文5年6月23日|蠣崎義広(蠣崎光広の子/蠣崎信広の孫)はアイヌの首領であったタリケを謀殺して反乱を鎮圧
- 1536年7月12日-01:00|オランダ| |||<死去>ネーデルラント出身の神学者デズィーリウス・エラスムスが赤痢で/69歳(誕生:14661028)「愚神礼賛」
- 1536年7月14日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|天文5年6月26日|木沢長政、信貴山城を築城(居城とする。飯盛城には畠山在氏と木沢浮泛)
- 1536年7月17日-09:00|日本|奈良県桜井市|天文5年6月29日|大和・長谷寺、焼亡
- 1536年7月18日-09:00|日本|佐賀県多久市|天文5年7月|陶道麒は自ら小城に出向き、千葉喜胤らと共に多久にいる少弐資元の首をとらんと攻め入った
- 1536年7月20日-09:00|日本|兵庫県|天文5年7月3日|<死去>山名致豊(69歳)元但馬・備後守護
- 1536年7月23日 00:00|イギリス| |||<死去>サメット公・リッチモンド公・ノッティンガム伯「ヘンリー・フィッツロイ」消滅
- 1536年7月25日-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン軍が、フロマン地方に侵入
- 1536年7月27日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天文5年7月10日|<就任>日向佐土原城主「伊東祐清(義祐)」伊東氏11代当主となる
- 1536年7月30日-09:00|日本|宮城県大崎市|天文5年7月13日|伊達植宗は古川城に長逗留したが、再び、岩手沢城攻略へ動く、総大将義直と連合軍は玉造郡丸山に本陣をおいた。岩手沢城は難攻不落の堅城でもあり、兵糧攻めの戦いとなる。二か月兵糧攻めが続いたが間もなく、伊達植宗の援軍の分家である大崎義直の後見役である最上義守が乗り出して戦いは終息
- 1536年8月 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Vasco de Tiedra」(~15370928)
- 1536年8月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「パスクアル・デ・アンタゴヤ」(~同年)
- 1536年8月 05:00|ペルー| |||マンコ・インカ軍がクスコ包囲を解いてビルカバンバに撤退
- 1536年8月1日-09:00|日本|山梨県|天文5年7月15日|今川義元の斡旋で、武田晴信と三条公頼娘が結婚
- 1536年8月8日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文5年7月22日|法華宗徒、打廻をなして松崎城を攻撃
- 1536年8月10日-01:00|フランス| |||<死去>ブルターニュ公「ランソワ3世」フランス王ランソワ1世の子で王太子(ド-ファン, 1518年~、18歳)毒殺
- 1536年8月10日-01:00|フランス| |||<即位>オルアン公「シャルル2世」(~15450909インフルエンザで死亡/23歳)
- 1536年8月10日-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公「アンリ2世」ランソワ1世とクロトの次男(~15470331~15590710死去40歳)
- 1536年8月13日-09:00|日本|京都府京都市|天文5年7月27日|<天文法華の乱(山城国)>僧兵と宗徒、近江の大名・六角定頼の援軍が加わって、延暦寺は総計約6万人を動員して京都市中に押し寄せ、日蓮宗二十一本山をことごとく焼き払い、法華衆の3000人と1万人ともいわれる人々を殺害/延暦寺の勢力が放った火は大火を招き、京都は下京の全域、および上京の3分の1ほどを焼失/上行院・住本寺焼失
- 1536年8月15日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|天文5年7月29日|中嶋城の一揆衆が木沢長政に鎮圧され、下間兄弟もその後肅清された
- 1536年8月17日-09:00|日本|新潟県上越市|天文5年8月|<交替>越後春日山城主「長尾為景」相次ぐ反乱に隠居に迫

1550迄 (2430件)

い込まれる⇒為景の嫡男「長尾晴景」家督を継ぐ

- 1536年8月27日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|天文5年8月11日|豊州家3代忠朝が櫛間より志布志の新納氏先代忠勝・9代忠茂親子を攻める
- 1536年9月 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>パナマ総督「ペドロ・バスケス・デ・アカニャ」(~1539年2月)
- 1536年9月4日-09:00|日本| ||天文5年8月19日|足利義晴が本願寺門主証如光教と和睦
- 1536年9月14日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|天文5年8月29日|三宅国村(細川高国部将)、細川晴国を摂津国天王寺に於いて自刃に追い込む
- 1536年9月16日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文5年9月|伊集院忠朗、太田原壘を攻略
- 1536年9月19日-09:00|日本|佐賀県多久市|天文5年9月4日|<死去>肥前国少貳氏16代当主「少貳資元」(46歳、延徳3(1491)生)多久城で陶興房に攻撃され自刃/少貳家滅亡
- 1536年9月24日-09:00|日本|福井県|天文5年9月9日|谷野一栢が明の医学書「八十一難経」を出版
- 1536年9月26日-01:00|マルタ| ||<死去>マルタ騎士団総長「テ・イ・エド・サン・ヤユ」
- 1536年10月 00:00|イギリス| ||イギリスで農民反乱「恩寵の巡礼」がおこる
- 1536年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメ・イ・シモーネ・ベルツィ」 「ピエール・レオーネ・デ・イ・ファブ・リツイ・コルベッリ」
- 1536年10月1日-09:00|日本|愛知県西尾市|天文5年9月16日|桜井松平信定、牟呂城(西尾市室町)を攻めるが宏忠に味方する松平家臣団も多く信定は軍勢を引いた
- 1536年10月4日 00:00|モロッコ| ||<就任>タンジール首長「トウアル・テ・メネス」(2回目~1539年)
- 1536年10月9日-09:00|日本|京都府京都市|天文5年9月24日|<任命>室町幕府管領「細川晴元」(~天文18(1549)年6月24日)
- 1536年10月30日-01:00|ルウェー/デンマーク| ||ルウェー、デンマークの一州となる(ルウェーの新教化)
- 1536年11月1日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|天文5年10月18日|豊州家3代忠朝の兵が志布志の町を払い、横峰で戦い新納方敗れる
- 1536年11月20日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文5年閏10月7日|松平広忠、松平信定に攻められ今橋城へ退く。更に駿府に到り今川義元に面す
- 1536年11月20日-09:00|日本|京都府京都市|天文5年閏10月7日|幕府法華宗徒の洛中徘徊を禁ず
- 1536年12月 00:00|イギリス| ||<死去>テズモント伯「ジョン・フィッツ・エラルト」
- 1536年12月 00:00|イギリス| ||<就任>テズモント伯「ジェームス・フィッツ・エラルト」(~15400319死去)
- 1536年12月10日-02:00|キプロス/イタリヤ| ||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「トメコ・デ・ニコロ・ダ・モスト」(~15381011)
- 1536年12月13日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文5年11月|伊集院忠朗、長崎壘・中神殿壘・上神殿城を攻略
- 1536年12月14日-09:00|日本|京都府京都市|天文5年11月2日|<就任>関白「近衛種家」(~天文11(1542)年2月25日)
- 1536年12月24日-09:00|日本|京都府京都市|天文5年11月12日|本願寺光教が六角定頼と和睦
- 1536年12月27日-09:00|日本|静岡県湖西市|天文5年11月15日|禰宜馬兵衛・大工七郎次郎長俊・鍛冶九郎次郎・平左衛門尉為貞・七郎左衛門尉長利・御鍋次郎左衛門尉長家・九郎左衛門尉為長・二郎兵衛信重・馬衛門貞長、太和大明神(新居町中之郷)造立
- 1537年-08:00|インドネシア| ||<即位>アチ王国スルタン「アラウッディン・アルカハル」(~15710928死去)
- 1537年-05:30|インド| ||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Shamsu' d-Din」(~1540年)
- 1537年-05:30|インド| ||<即位>ファルキ朝ハン「Miran Mubarak Shah」(~1566年)
- 1537年-05:00|カザフスタン| ||<復位>カザフ汗国ハン「ハクナサル」カシムの次男(~1580年)
- 1537年-04:30|アフガニスタン/イラン| ||サファヴィー朝タマスプ1世、ムガル朝支配下のカンダハール占領
- 1537年-04:00|ロシア| ||<即位>アストラハン・ハン「ゲウイッシュ・アリ」(1回目~1539年)
- 1537年-03:30|イラン/アフガニスタン| ||<死去>ミラバノド朝マリク「Sultan Mahmud ibn Nizam al-Din Yahya」
- 1537年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハドゥム・スレイマン・パシャ」(2回目~1538年)
- 1537年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハドゥム・スレイマン・パシャ」(~1538年)
- 1537年-02:00|ギリシャ/トルコ| ||ナクス公国がオスマン帝国の属国となる(~1566年)
- 1537年-02:00|ギリシャ/トルコ| ||ミ・イ・コス(Mykonos)、アモルコス(アモルコス)、アナフィ(アン・ア・フィ)、アストロパリア(ア・ステイパ・ライア)、セリウス(S・エリウス)がオスマン帝国に占領される
- 1537年-01:00|リヒテンシュタイン| ||<就任>ファドゥーツ執行官「ゲオルク・ウ・オック」(~1538年)
- 1537年-01:00|リビア/マルタ| ||<就任>マルタ騎士団のトリポリタニア総督「アウレリオ・ボッティジ・エッラ」(2回目~1539年)
- 1537年-01:00|アルバニア/トルコ| ||ブトリントをオスマン帝国が占領(~1540年)
- 1537年 00:00|チャン礼諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージー-知事「Sir Edward Seymour」(~1550年)
- 1537年 00:00|ポルトガル| ||<就任>ギマランイス公「トウアル1世」(~15400920死去)
- 1537年 00:00|イギリス| ||<就任>コンウォール公「エドワード」ヘンリ8世の子(~15470128エドワード6世として即位)
- 1537年 04:00|パラグアイ/スペイン| ||<就任>スペイン領ヌエバ・アンタルシア暫定総督「ファン・デ・アヨラス」(~1538年没)
- 1537年 04:30|ベネチア| ||フェーデルマンがエル・トラドをもとめベネチア内陸へ遠征
- 1537年 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サンサルバドル一般市長「ペドロ・セロン(1回目)/アントニオ・ド・カンボ」(~1538年)
- 1537年 06:00|ホンジュラス| ||王室、モンテホにホンジュラス総督の地位を与える
- 1537年 06:00|グアテマラ| ||レンピラが指導して、ケラツアス金鉱山での苦役に反抗する原住民の蜂起
- 1537年1月1日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督代理「Pedro de Cuevas」(~7.6)
- 1537年1月4日-01:00|イタリヤ| ||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「ジョヴァンニ・バチスタ・ドリア」(~15390104)
- 1537年1月4日-09:00|日本|長野県南佐久郡南牧村|天文5年11月23日|武田信虎と晴信が信濃へ侵攻、佐久郡南ノ口城を攻撃(信玄の初陣とされる)

1550迄 (2430件)

- 1537年1月5日-01:00|イタリヤ| |||<死去>初代フィレンツェ公「アレクサンドロ・デ・メディチ」弟脈のロレンツォ・ウッチョことロレンツォ・デ・メディチに暗殺される
- 1537年1月5日-01:00|イタリヤ| |||<即位>フィレンツェ公「コジモ1世・デ・メディチ」(⇒15690305、トスカナ大公)
- 1537年1月9日-09:00|日本|鹿児島県|天文5年11月28日|土橋勘解由左衛門尉、島津貴久に降る
- 1537年1月14日-09:00|日本|愛知県北設楽郡設楽町|天文5年12月3日|檀那菅沼伊賀守定盛・林左京進、伊豆神社(設楽町)造立
- 1537年1月18日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文5年12月7日|<伏野原の戦い>(6日~)薩摩国萩別府伏野原において出水城主島津実久と石谷梅久が戦い、石谷軍は敗北、明け方に梅久も戦死
- 1537年1月19日-01:00|スペイン| |||<就任>2代「ラファエル」公「ルイス・ゴンザレス・トレド」(~15720129死去)
- 1537年2月-05:30|インド| |||<死去>ムガル朝スルタン「ハドール・シャー」
- 1537年2月-05:30|インド| |||<即位>ムガル朝スルタン「ムハンマド・シャー1世」(~6週間)
- 1537年2月 05:00|ペルー| |||エルナンデスは総攻撃をかけササママン砦を奪取/マンコ軍はウルバンパ川下流のオヤンタインボに撤退、エルナンデスはこれを追討するが惨敗
- 1537年2月6日-09:00|日本|長野県南佐久郡南牧村|天文5年12月26日|武田晴信、土屋庄八郎の献策で信濃海口城の平賀源心を攻略
- 1537年2月7日-09:00|日本|長野県南佐久郡南牧村|天文5年12月27日|武田信虎は海ノ口城から撤退
- 1537年2月10日-09:00|日本|愛知県犬山市|天文6年|織田与次郎信康、金山城(現犬山城)天守築城/愛知県
- 1537年2月10日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文6年|<吉田城の戦い>大崎城主戸田金七郎宣成、牧野成敏家臣戸田新次郎・戸田宗兵衛尉と吉田城牧野伝兵衛成敏を攻略
- 1537年2月10日-09:00|日本|熊本県下益城郡美里町|天文6年|<死去>「菊池武経(阿蘇惟長)」堅志田城で(58歳)元肥後国守護、阿蘇神社大宮司
- 1537年2月10日-09:00|日本|千葉県木更津市|天文6年|<交替>下総真里谷領主「真里谷信隆」解任⇒弟の「真里谷信応」(~天文21年11月7日(1521122)死去)
- 1537年2月10日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天文6年|<建立>神岳山金蔵寺の木造地藏菩薩半跏趺坐像
- 1537年2月10日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天文6年|波多弾正忠源武が若宮大明神[北触]の宝殿・庫蔵を造立
- 1537年2月16日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文6年1月7日|島津忠良は島津忠将、伊集院忠朗に肥後盛治の守る伊集院竹ノ山壘を攻略させる/盛治は自刃、子・盛家は鹿児島へ敗走
- 1537年2月22日-09:00|日本|愛知県西尾市|天文6年1月13日|<西条城の戦い>吉良左衛門佐義郷、後藤平太夫の計により尾張守護斯波義達の婿になった為、朝比奈泰能3千・松平軍、西条城攻め吉良義郷討死/荒川甲斐守頼時・吉良上野介義安(神戸城東条持広養子)降参/吉良義昭を西条城に入れる/吉良義安を駿河藪田に蟄居させる/大橋知尚を吉田城におく
- 1537年3月-05:30|インド| |||<即位>ムガル朝スルタン「フマーン・シャー3世」(~1554年死去)
- 1537年3月-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「ジユルハグ・イツチ」
- 1537年3月2日-09:00|日本|千葉県|天文6年1月下旬|下総国結城政勝、多賀谷家重・小田政治を破る
- 1537年3月10日-01:00|フランス/イタリヤ| |||フランス軍がイタリヤに侵攻
- 1537年3月12日-01:00|クロアチア/トルコ| |||タルマチ内陸部がオスマン帝国に編入される(~17000714)
- 1537年3月12日-09:00|日本|鹿児島県|天文6年2月|島津忠将・伊集院忠朗、福山、犬迫、谷口城を攻略し、島津忠良、伊集院を奪回
- 1537年3月14日-01:00|イタリヤ| |||教皇パオロ3世、ヴァテカンにカストロ公国を建国(元は教皇領)息子ピエール・ルイジ・ファルネーゼ、カストロ公即位
- 1537年3月20日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督「エルナンデス・コト」(~15390512)
- 1537年3月21日-09:00|日本|静岡県|天文6年2月10日|武田信虎長女、今川義元に嫁ぎ甲斐同盟成立
- 1537年3月22日-01:00|スペイン/コロンビア| |||スペイン人がボゴタ盆地に入り、チブチャ人制圧に着手
- 1537年3月28日-01:00|イタリヤ/フランス| |||<死去>サルツァ侯「フランチェスコ」
- 1537年3月28日-01:00|イタリヤ/フランス| |||<就任>サルツァ侯「ガブリエレ」(~15480223廃位~15480729死去)
- 1537年3月28日-09:00|日本|岩手県|天文6年2月17日|南部安信の子南部彦三郎が紫波郡で和賀義勝、高水寺斯波氏と交戦。紫波郡郡山(矢巾町)、同じく日詰(紫波町)で南部氏が高水寺斯波氏、和賀氏、稗貫氏の連合軍を撃ち破る
- 1537年3月30日-09:00|日本|鹿児島県奄美市|天文6年2月19日|尚清王が、奄美大島の与湾大親を従わせ、島を制圧
- 1537年3月31日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天文6年2月20日|北条氏綱出陣、興津を焼く
- 1537年4月 05:00|ペルー| |||「クリストバル」が太平洋上の金銀島を探しにペルーのバタボ港を出航
- 1537年4月1日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文6年2月下旬|島津実久は犬迫に陣する忠良勢と戦い敗れ谷山に退き更に川辺へと敗走
- 1537年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローラモ・デ・イ・エヴァンジェリスタ・ベルツツィ」「ジローラモ・デ・フランチェスコ・ジャンネーニ」
- 1537年4月1日-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<就任>ルウェー総督「ヘンリー・ハントン・ティル・セム・カ・フォス」(~15510623没)
- 1537年4月1日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「クリスチャン3世」(~15590101没)
- 1537年4月4日-09:00|日本|京都府京都市|天文6年2月24日|幕府、京都郊外諸関の公事銭・船賃・橋賃徴集を停止
- 1537年4月6日-09:00|日本|静岡県菊川市|天文6年2月26日|<第1次河東一乱>北条氏康の父・氏綱は遠江の堀越氏・井伊氏と挟み撃ちにすることで、家督を継いだばかりの今川義元からこの地を奪い取った
- 1537年4月6日-09:00|日本|静岡県沼津市|天文6年2月26日|興国寺城、兵火により焼失
- 1537年4月6日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天文6年2月26日|善得寺、兵火により焼失

1550迄 (2430件)

- 1537年4月8日 05:00|ペル| |||ペルでマコ2世がクスの奪回に失敗し、ピルバンに逃れる/アルマゴロ、エルナド不在中のクソを占拠/ヌハ・トットを自称しクソとアル・ペル一帯を支配、ハ・ウ・ユガを皇帝につける
- 1537年4月10日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天文6年3月|天文2年に妙本寺を追放され還俗していた日足、後北条氏に与した富士氏の叛乱に同心し、久遠寺(富士宮市小泉)御堂・客殿などを焼亡させる
- 1537年4月12日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|天文6年3月3日|北郷8代忠相が新納氏先代忠勝の岩川新城を落とす
- 1537年4月14日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル公(王位継承者)「マヌエル」
- 1537年4月14日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「フィリペ」(~15390429夭折)
- 1537年4月16日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天文6年3月7日|富士宮若信忠、久遠寺上坊(富士宮市小泉)に立て篋もり富士氏傍系を駆逐
- 1537年4月16日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文6年3月7日|毛利元就、尼子経久の属城山県郡生田城を攻略
- 1537年4月22日 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソングイ帝国皇帝「アキア・ムナムド1世」(2回目~15380302)
- 1537年4月22日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<死去>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ペドロ・デ・メントーサ」
- 1537年4月22日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「ファン・デ・アヨラス」(~1538年没)
- 1537年4月22日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文6年3月13日|島津実久は鹿児島奪回の挙兵をあげ川辺・谷山と進出/紫原で忠良父子と戦いまた敗れた
- 1537年5月28日-09:00|日本|静岡県富士市|天文6年4月20日|<吉原の戦い>北条軍に叛逆した富士下方衆24人討死
- 1537年6月 05:00|コロンビア| |||テ・サタ、ホゴタ首長の率いるシパ軍を撃破、ハカを制圧
- 1537年6月3日-09:00|日本|静岡県磐田市|天文6年4月26日|<見付端城の戦い>見付城堀越六郎氏延(犬居城主天野与四郎景貞も籠城)、今川軍に攻められ敗死/天野小四郎虎景・天野孫四郎景義が見付端城乗/崩時6人疵を蒙る/堀越氏延、堀越に引き退く
- 1537年6月4日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文6年4月27日|<死去>武蔵川越領主「(扇谷)上杉朝興」50歳⇒子の「上杉朝定」が継ぐ(~天文15年4月20日(15460519)戦死絶滅)
- 1537年6月8日-09:00|日本|長野県|天文6年5月|信濃葛尾領主「村上義清」が埴科郡戸山城で反抗する津羽之守を攻めて、之守は自害
- 1537年6月9日-09:00|日本|愛媛県西条市|天文6年5月2日|黒川石鶴丸・同重親ら、周敷郡吉田村八幡神社を再建
- 1537年6月21日-09:00|日本|千葉県木更津市|天文6年5月14日|上総錯乱/真里谷武田氏の内紛/真里谷信隆派の一族及び北条氏の援軍・金石斎一大藤永栄・信基)人衆、新地の天神台城に立て籠もる
- 1537年6月23日-09:00|日本|千葉県富津市|天文6年5月16日|小弓公方義明、真里谷信応を支援して信隆の峯上城を攻める
- 1537年6月29日 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンバランド伯「ヘンリー・パーシー」廃絶
- 1537年7月 05:00|ペル| |||<即位>インカ帝国(スペイン傀儡)サ・インカ「パウル・トウ・ク・ユハンク」スペイン人が擁立(~1549年)
- 1537年7月4日-09:00|日本|千葉県|天文6年5月27日|小弓公方義明、真里谷武田氏の内紛收拾し、義堯の取成及び峯上証人衆をもって北条氏綱との和睦成立/真里谷信隆、敗れて鎌倉へ去り、その後武蔵金沢に在宿
- 1537年7月6日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督代理「Antonio Navarro」(~15380527)
- 1537年7月14日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文6年6月8日|松平広忠14歳、松平内膳正信定と和議
- 1537年7月19日-09:00|日本|静岡県|天文6年6月13日|北条氏綱、再度駿河に侵攻
- 1537年7月31日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文6年6月25日|駿河の松平広忠、三河三木城主松平信孝・大久保忠俊の尽力により岡崎帰城
- 1537年8月4日-09:00|日本| |||天文6年6月29日|<死去>慈運法親王(72歳)伏見宮貞常親王の皇子、天台宗の僧
- 1537年8月15日 04:00|パラグアイ| |||ヌハ・アンタル暫定総督「ファン・デ・アヨラス」がパラグアイに入り、アシションを建設
- 1537年8月15日 04:00|パラグアイ| |||マルティネス・イラ、パラグアイ地方を探検。ガラニ族と共同しゲイクル族などチヨコ地方のインディオを駆逐し支配を確立
- 1537年8月16日-09:00|日本|埼玉県狭山市|天文6年7月11日|北条氏綱、三ツ木(埼玉県狭山市)で扇谷上杉方を撃破する
- 1537年8月20日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文6年7月15日|北条氏綱が、武蔵河越城の扇谷上杉朝定を破る/朝定は松山城に逃れる
- 1537年8月25日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||オスマン帝国軍が、ヴェネツィア領のコルフ島を包囲
- 1537年8月25日-09:00|日本|埼玉県比企郡吉見町|天文6年7月20日|<松山城風流合戦(武蔵国)>北条勢、武蔵国松山城を落とす
- 1537年9月-08:00|インドネシア/マレーシア| |||アチエ王国がマラッカを攻撃
- 1537年9月-02:00|リトアニア| |||<死去>リトアニア陸軍元帥(首相)「ジヨナス・ヨナウ・イナス・ザブジエンスキ」
- 1537年9月-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)代行「ユルギス・ミカロジヤウス・ラトビラ」(~1541年4月没)
- 1537年9月14日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||トルコ人マルウ・アシア包囲。一年以上抵抗して勝利を得る
- 1537年9月14日-09:00|日本|滋賀県|天文6年8月10日|<交替>近江国守護「六角義実」出家⇒「六角定頼」再任(~天文21年1月2日(15520121)死去)
- 1537年9月20日-01:00|イタリヤ| |||<就任>フィレンツェ公(メディチ家)コジモ1世・デ・メディチ(~15690821,トスカナ大公になる)
- 1537年9月20日-01:00|セルビア| |||<即位>亡命セルビア専制公「パウル・バキッチ」セルビアの最後の名目上の専制公(~10.9)ハキッチ貴族
- 1537年9月20日-09:00|日本|島根県大田市|天文6年8月16日|尼子経久が石見銀山を攻略
- 1537年9月28日 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Alcaldes Ordinarios」(~1545年)
- 1537年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアノ・デ・マリノ・リギ」「シヤコモ・デ・アントニオ・ジヤンネーニ」
- 1537年10月18日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ササフ・トン伯「ウィリアム・フィッツウィリアム」(~15421015死去)

1550迄(2430件)

- 1537年10月24日 00:00|イギリス| ||イギリス王妃ジェーン・シーモアが産褥のトラブルで没(誕生:1509)
- 1537年10月25日-09:00|日本|愛知県新城市|天文6年9月22日|<石橋館の戦い>奥平貞勝・奥平出雲守貞盛・奥平土佐定雄、石橋奥平弾正久勝・石橋奥平太郎弾正ら43人討ち取る/奥平久勝の子太郎次郎は煙巖山鳳來寺に庇護されていたが、黒谷甚兵衛重氏・黒谷甚九郎重吉兄弟により殺される
- 1537年11月15日-09:00|日本|長野県塩尻市|天文6年10月13日|諏訪頼重が小笠原長時の属城の塩尻城を攻略
- 1537年11月22日 00:00|カナポルトガル| ||<就任>ポルトガル・コールド・コースト長官「マニエル・デ・アルバカキ」(~1540年)
- 1537年12月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「尹殷輔」(~15440724)
- 1537年12月3日-09:00|日本|島根県|天文6年11月|<交替>出雲・石見・隠岐国主「尼子経久」隠居⇒孫の「尼子晴久」が嗣ぐ(~永禄3年12月24日(15610109)死去)
- 1537年12月3日-09:00|日本|鳥取県|天文6年11月|<交替>伯耆国主「尼子経久」隠居⇒孫の「尼子晴久」が嗣ぐ(~永禄3年12月24日(15610109)死去)
- 1537年12月3日-09:00|日本|広島県|天文6年11月|<交替>備後国主「尼子経久」隠居⇒孫の「尼子晴久」が嗣ぐ(~永禄3年12月24日(15610109)死去)
- 1537年12月8日 06:00|ホンジュラス/スペイン| ||コマヤグアのサントマリアがスペインによって設立された
- 1537年12月16日-09:00|日本|愛知県豊川市|天文6年11月14日|領主奥平九八郎定勝・大檀那奥平兵庫助信近・大檀那奥平橋助信勝・禰宜生田彦三郎・大工信光・小工乗正、佐脇庄熊野権現(豊川市)宝殿造立
- 1537年12月20日-09:00|日本|愛知県北設楽郡東栄町|天文6年11月18日|大檀那伊藤兵庫助・大工藤原久九郎左衛門・神主庄左衛門尉・右衛門尉・彦衛門尉・伊藤喜三郎・伊藤千代丸・加納九郎左衛門、西園目八幡神社建立
- 1538年-07:00|タイ| ||<即位>ランナー王国マンラーイ朝国王「チャイ」(~1543年)
- 1538年-05:45|ネパール| ||<即位>マラ(Kantipur)国王「Narendra Malla」(~1560年)
- 1538年-05:30|インド| ||<死去>ベンガル・スルタン朝スルタン「Ghiyasuddin Mahmud Shah」
- 1538年-05:30|インド| ||シエル・ハーン、ベンガル征服
- 1538年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| ||シャマハはペルシャの一部
- 1538年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| ||シルヴァンがペルシャに併合され、ペルシャがシルヴァン(首都シャマハ)とカラバク(首都ガンジャ)のペイルルバ・イリクに分割
- 1538年-04:00|ロシア/イラン| ||テールベントはペルシャの一部
- 1538年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| ||ナフバンはペルシャの一部
- 1538年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| ||バクーはペルシャの一部
- 1538年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「フランシスコ・ベリナルド」(~1540年)
- 1538年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「アフマド・パシャ」(~1539年)
- 1538年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「アレシヨ・デ・ソウザ・チゾロ」(~1541年)
- 1538年-02:00|ルーマニア/トルコ| ||オスマン帝国はドニエプル川沿いのエルダビヤ領ベントを併合
- 1538年-02:00|トルコ| ||オスマン・トルコが紅海沿岸のアデンを占領
- 1538年-01:00|イタリア| ||<即位>グラーフィナ公「フェルディナント2世」(~1583年)
- 1538年-01:00|ベルギー| ||ヘサリウスが「6葉の人体解剖図」を刊
- 1538年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Juan Ruiz de Legarte」(~1540年)
- 1538年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国植民地テネリフェ島知事「Alfonso Yanez Davila」(~1540年)
- 1538年 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<死去>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「ファン・デ・アヨラス」
- 1538年 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「フランシスコ・ルイス・ガラソ」(~15390623)
- 1538年 04:00|ボリビア/スペイン| ||スペインは、チャルカス、アッパー・ペルー、またはチュキカと呼ばれる地域を植民地化(~1545年)
- 1538年 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サンサルバドル一般市長「アントニオ・ベルムデス」(~1539年)
- 1538年 06:00|エルサルバドル/パナマ/スペイン| ||サンサルバドルはパナマ大審問院管轄(~1543年)
- 1538年 06:00|ニカラガア/パナマ| ||ニカラガアはパナマに従属(~1540年)
- 1538年 06:00|グアテマラ| ||レヒラ、アロンソ・デ・カセリスのひきいるスペイン軍との停戦交渉に臨んだところを謀殺され反乱軍は総崩れとなり急速に終息
- 1538年 07:00|メキシコ| ||北部ヌエバ・ガリシアでチチメカ族の抵抗、スペイン軍を数次にわたって撃破するも敗北に終わる
- 1538年1月1日-09:00|日本|広島県|天文6年12月1日|毛利元就、大内義隆と和す
- 1538年1月6日-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・ハン「タマス・ナダステイ」(~1539年12月)
- 1538年1月6日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文6年12月6日|京都知恩院の惣門が再興
- 1538年1月13日-09:00|日本| ||天文6年12月13日|幕府、内膳司の北口柴木公事銭徴収を禁止
- 1538年1月21日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「ファン・デ・オメス」(~15530906没)
- 1538年1月31日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文7年|織田信秀が那古野城を攻略し、ここに居城を移して現在の名古屋市域に勢力を拡大
- 1538年1月31日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天文7年|平戸城主の松浦興信が中野郷瀧の上妙泉寺を建立
- 1538年2月-01:00|フランス| ||<即位>モンパソエ公「ルイ」(~15610715死去)
- 1538年2月2日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|天文7年1月3日|北郷忠相、新納忠勝の所領財部院に攻め込み、龍虎城を守る新納勢七百余名を討ち、財部院を手に入れた/北郷氏の所領は六万八千余石に達したと言う
- 1538年2月8日-01:00|ドイツ/ハチカン/イタリア| ||ベネチア、十字軍結成のため教皇と皇帝と同盟
- 1538年2月8日-09:00|日本|滋賀県|天文7年1月9日|<死去>北近江領主「京極高景」(79歳)
- 1538年2月16日-01:00|ベルギー| ||<死去>リエージュ公「エーラルト・ラ・マルク」

1550迄 (2430件)

- 1538年2月16日-01:00|ベルギー| ||<就任>レージュ公「ハルツェのコレネ」(~1544年辞任)
- 1538年2月21日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文7年1月22日|扇谷上杉朝定・山内上杉憲政、河越城を攻めるが敗退
- 1538年2月24日-01:00|ハンガリー| ||フェルディナント1世(34)とサバヤ・ヤノシュ(50)が講和を結び、サバヤの死後、ハンガリー全土をフェルディナント1世が相続することを取り決める
- 1538年2月24日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|天文7年1月25日|木沢長政が戒重氏を信貴山城にて殺害
- 1538年2月28日-09:00|日本|鹿児島県曾於郡大崎町|天文7年1月29日|豊州家3代忠朝が大崎城を攻略
- 1538年3月1日-09:00|日本|愛媛県北宇和郡鬼北町|天文7年2月|宇和郡白王神社の神像が造られる
- 1538年3月1日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|天文7年2月|温溪、華尾山富春院(静岡市葵区大岩本)を開山
- 1538年3月2日 00:00|マリノシエール| ||<即位>ソグイ帝国皇帝「アスキア・イスマイル」(~1539年)
- 1538年3月2日-09:00|日本|鹿児島県鹿屋市|天文7年2月2日|肝付兼統は平房城を攻め取る
- 1538年3月2日-09:00|日本|東京都葛飾区|天文7年2月2日|北条氏綱、扇谷上杉方の下総国葛西城を攻略し、岩付城へも攻撃を仕掛ける
- 1538年3月2日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文7年2月2日|北郷8代忠相が庄内梅北城を攻め取る
- 1538年3月16日-09:00|日本|鹿児島県曾於郡大崎町|天文7年2月16日|肝付兼統は大崎野卸城を攻め落とす
- 1538年3月18日-09:00|日本|山梨県北杜市|天文7年2月18日|<小荒間合戦>甲州八ヶ岳山麓の小荒間(小泉)で合戦がおこっている。村上義清麾下の清野氏、高梨氏、井上氏、隅田氏らが2500(3500)余の軍勢で佐久郡から甲信国境を越えて侵入し、八ヶ岳山麓の小荒間まで進攻してきて近郷に放火するなど乱暴を働いた。多田満頼がみごと夜襲戦の采配をふるって計略によって敵を迎撃
- 1538年3月20日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|天文7年2月20日|豊州家3代忠朝が安楽城を攻略
- 1538年3月20日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天文7年2月20日|富士山興法寺焼失
- 1538年3月21日-09:00|日本|鹿児島県曾於郡大崎町|天文7年2月21日|肝付兼統は大崎城を攻略
- 1538年3月27日-09:00|日本|福井県小浜市|天文7年2月27日|若狭武田氏の重臣で小浜代官の粟屋元隆、武田信孝を盟主に反旗を翻し丹後に出奔
- 1538年3月28日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文7年2月28日|横井時勝、尾張国大日堂の大日如来像を寄進
- 1538年3月31日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文7年3月|織田信秀、那古屋城今川氏豊攻め取る
- 1538年4月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ダウド・ハシヤ」(~1549年9月、在職中に死去)
- 1538年4月 05:00|コロンビア| ||デ・カサダの部下ゴンサロ・アラス・レントソ、サカ国の首都ウツを陥落/コロンビア中部の制圧を完了
- 1538年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「フランチェスコ・デ・インモネ・ベルツィ」 「ジ・ローマ・デ・イ・ジュリアーノ・ゴシ」
- 1538年4月4日-04:00|ロシア| ||<死去>モスクワ大公国摂政「ウエリヤ・クニギニャ・イェレナ・ウァシリウナ・ク・リンスカヤ」
- 1538年4月4日-04:00|ロシア| ||<就任>全ロシア貴族議会上級ボヤール「ウァシリ・ウァシリウイッチ・シュイスキー王子」(~1538年11月没)
- 1538年4月4日-09:00|日本| ||天文7年3月5日|細川晴元が山城の山崎に築城
- 1538年4月15日-09:00|日本|愛知県春日井市|天文7年3月16日|僧秀憲、尾張国密蔵院に本尊阿弥陀如来絵像・経箱・法華経を寄進
- 1538年4月26日 05:00|ペルー| ||エルナンデス、クスコに向けて反撃開始。クスコ郊外ラス・サリナスのたたかいでアルマグロ軍を打ち破る
- 1538年4月26日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文7年3月27日|島津忠良・貴久親子は日置城、永吉城と落とし反転攻勢にでる
- 1538年4月30日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|天文7年4月2日|豊州家3代忠朝が夏井砦を落とす
- 1538年5月17日-05:30|インド| ||<即位>スル朝シャー「シェール・シャー」(~15450522死去)
- 1538年6月10日-01:00|ドイツ| ||カトリック諸侯がニュルンベルク同盟を結成
- 1538年6月12日 00:00|イギリス| ||スコットランド王ジェームズ5世、ギーズ公娘マリー・ド・ロレーヌと再婚
- 1538年6月12日-09:00|日本|鹿児島県鹿屋市|天文7年5月16日|肝付兼統が高岳城(高隈郷)を攻め取り柵寝氏に与えて和睦、大隅をほぼ平定
- 1538年6月12日-09:00|日本|山梨県富士吉田市|天文7年5月16日|北条氏綱方須走氏・埴和氏、甲斐上吉田へ夜討。吉田宿中の御師・有力名主は下吉田の河原に難を避け仮住まいする
- 1538年6月18日-01:00|フランス/ドイツ| ||ドイツとフランスの間で、ニース条約が締結される/10年間の停戦となり、フランス1世は新教徒弾圧を開始
- 1538年6月19日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天文7年5月23日|<佐和山城の戦い>六角定頼に攻められ浅井亮政の佐和山城が落城
- 1538年6月25日-09:00|日本|福岡県|天文7年5月29日|大内義隆が大友義鑑に筑前を返し、和睦
- 1538年6月27日-09:00|日本|栃木県下野市|天文7年6月|芳賀高経が児山に籠城して宇都宮俊綱と戦ったが敗退
- 1538年6月30日-01:00|オランダ| ||<死去>ゲルデルン公「カレル」
- 1538年6月30日-01:00|オランダ| ||<即位>ゲルデルン公「ウィルヘルム2世(ウィレム2世)」(~1543年公領は神聖ローマ皇帝カール5世のものとなり、ハプスブルク家の所領となった)
- 1538年6月30日-09:00|日本|滋賀県米原市|天文7年6月4日|<鎌刃城の戦い>六角定頼の兵、京極高広の属城近江国鎌刃城を攻略
- 1538年7月8日 05:00|ペルー| ||ペルーでティエゴ・デ・アルマグロ(62)がインカの遺領をめぐる争い、サリナスの戦いに敗れ、エルナンデス・ピサロに捕えられ処刑

1550迄 (2430件)

- 1538年7月10日-09:00|日本|福井県|天文7年6月14日|若狭武田氏の重臣逸見氏も反旗を翻し、粟屋元隆と強力し、小浜を窺う
- 1538年7月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ブリッジウォーター伯「ヘンリー・ド・ベネー」(~15480408死去)
- 1538年7月25日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<設立>サンチャゴ・デ・グアヤキル
- 1538年7月26日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルズベリー伯・ウォーターウード 伯「ジョージ・タルボット」
- 1538年7月26日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルズベリー伯・ウォーターウード 伯「フランス・タルボット」先代の息子(~15600925死去)
- 1538年7月26日-09:00|日本|大阪府|天文7年7月|<交替>河内国守護「畠山勝熙」更迭⇒河内半国守護「畠山政国」「畠山在氏」就任(~天文11(1542)年3月更迭)
- 1538年7月26日-09:00|日本|広島県|天文7年7月|<神辺城の戦い>大内義隆、杉原理興に命じ、安那郡神辺城を攻撃させ、備後国守護(神辺城城主)「山名氏政」自殺/杉原理興が山名の名跡を継ぎ山名忠興と名乗る
- 1538年8月3日-03:00|イェメン/トルコ| |||オスマン帝国がアデン部占領
- 1538年8月3日 01:00|アリス諸島/ポルトガル| |||<死去>アングラト・ナリア長官「Vasco Annes Corte Real」1世
- 1538年8月3日 01:00|アリス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラト・ナリア長官「Manuel Corte Real」(~15770321死去)
- 1538年8月3日-09:00|日本|長野県|天文7年7月9日|諏訪頼重は、大門峠を越えて葛尾城の村上義清・信虎と共に海野幸義を討ち取り、矢沢氏・禰津氏を攻め破る
- 1538年8月6日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 総督「ゴンサロ・ヒメネス・デ・ケサダ・イ・リベラ」(~15390512)
- 1538年8月6日 05:00|コロンビア/スペイン| |||ケサダはヌエバ・グラナダ 建国を宣言、バカにサンタフェ・デ・ボゴタを建設
- 1538年8月7日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|天文7年7月13日|肝付兼続が蓬原城を攻略
- 1538年8月10日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|天文7年7月16日|肝付兼続が恒吉を奪取
- 1538年8月11日-09:00|日本|兵庫県|天文7年7月17日|播磨守護「赤松政村」が尼子詮久に破られる
- 1538年8月11日-09:00|日本|福井県|天文7年7月17日|粟屋元隆の反乱鎮圧のため武田信豊出兵
- 1538年8月12日-09:00|日本|山梨県韮崎市|天文7年7月18日|武田晴信は諏訪頼茂、小笠原長時の連合軍を韮崎に迎撃せし時、武将原加賀守遊軍を以って此の処より進撃し大勝
- 1538年8月17日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|天文7年7月23日|豊州家3代忠朝・北郷8代忠相は末吉・松山を抜き、肝付兼演らと志布志本城を包囲
- 1538年8月21日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|天文7年7月27日|島津忠朝が志布志城を攻略/新納忠茂は佐土原の伊東家を頼って出奔、新納忠統は次男・忠常と飢肥の豊州家・忠朝を頼り、志布志の新納本家は滅んだ
- 1538年8月21日-09:00|日本|福井県大飯郡おおい町|天文7年7月27日|武田信豊が名田庄を攻撃、粟屋元隆は遠敷郡名田荘より逃亡し丹後へ没落
- 1538年9月 05:00|ペルー| |||パドロー・カンデア、チュンチ族の国をもとめ、クスコ東方の山岳地帯に侵攻するも失敗
- 1538年9月5日 05:00|ペルー| |||アロンソ・デ・アルバラード、北部を探検しチャチャポヤスの町を建設
- 1538年9月14日-05:30|イント/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領イント 総督「ガルシア・デ・ノロニャ」(~15400403没)
- 1538年9月21日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ステファン5世ロカスト」(~15401220死去)
- 1538年9月23日-09:00|日本|静岡県焼津市|天文7年9月|八王子神社(方ノ上)創立
- 1538年9月27日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||イオニア海東部ブルゲサ沖で、スペイン・ヴェネツィアの138隻のガリー船とオスマン艦隊120隻の海戦が行われる
- 1538年9月28日-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/トルコ| |||オスマン朝がスペイン・ヴェネツィア連合軍を撃破し制海権を確立
- 1538年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カルロ・デ・イ・クリストファロ・ジャリニ」 「クリストファロ・デ・イ・マリノ・ジャンキ」
- 1538年10月20日-01:00|イタリア| |||<死去>カルビーノ公「フランチェスコ・マリ・71世・デ・ツラ・ローヴェレ」
- 1538年10月20日-01:00|イタリア| |||<即位>カルビーノ公「グイドバルド・2世・デ・ツラ・ローヴェレ」(~15740928死去)
- 1538年10月27日-09:00|日本|千葉県市川市|天文7年10月5日|<第一次・国府台合戦>小弓御所足利義明が下総国葛飾郡の国府台に於て小田原軍の先鋒と戦って之れを破る
- 1538年10月29日-09:00|日本|千葉県市川市|天文7年10月7日|<第一次・国府台合戦>北条氏綱は子の氏康とともに下総国国府台にて小弓公方足利義明・里見義堯らと交戦し足利義明は戦死/里見義堯は一度も交戦することなく戦場を離脱、小弓軍は崩壊/勢いに乗った北条軍は小弓城を続いて真里谷城を押さえて、真里谷信応を降伏させて再び異母兄・信隆を真里谷氏当主にした
- 1538年10月29日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|天文7年10月7日|<死去>小弓公方「足利義明」第一次国府台合戦で戦死
- 1538年11月-04:00|ロシア| |||<死去>全ロシア貴族議会上級ヤール「ウァシリイ・ウァシリエウイチ・シュイスキー王子」
- 1538年11月-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア貴族議会上級ヤール「ウァシリイ・ウァシリエウイチ・シュイスキー王子」(1回目~1540年7月)
- 1538年11月 05:00|ペルー| |||マンコ軍、アヤマ族の居住地であるチカカ湖周辺のコリャ高原を舞台に第二の反攻を開始/ティンコ・パンキ 将軍が指揮をとりワコイの闘いでピリヤティエコ軍を撃破
- 1538年11月3日-09:00|日本|山梨県富士吉田市|天文7年10月12日|北条家家臣須走氏、埴和氏と談合して、上吉田へ夜討、宿の人々吉田衆油断していて悉く殺される
- 1538年11月22日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天文7年11月|武田信豊は、家臣白井氏らを派遣して丹後加佐郡を鎮圧
- 1538年12月9日 00:00|イギリス| |||<死去>エセター侯・デウオン伯「ヘンリー・コートネイ」処刑される
- 1538年12月18日-09:00|日本|広島県広島市|天文7年11月27日|源元盛、檀那として、高田郡市川村の八幡宮社殿を造立
- 1538年12月28日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第77代ドージェ(元首)「アントニア・グリッティ」

1550迄 (2430件)

- 1539年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Khidr Khan」(~1541年)
- 1539年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第7代ハン「カル・エメクの子」(~1549年)
- 1539年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャイバニ朝ハン「アブドゥッウッラー1世」ケチュクジの子(~1540年)
- 1539年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャー朝国王「Shahrukh of Shirvan」
- 1539年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「アブドゥッカル・ラフマン」(2回目~1545年)
- 1539年-04:00|オスマン/トルコ| |||スファールをしばらくの間オスマン帝国が占領
- 1539年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督(サヒート)「Behram Bey」(~1540年)
- 1539年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Mustafa Bey」(~1540年)
- 1539年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「マニ・マギミス」(~1546年)
- 1539年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「コセ・フスレフ・ハシヤ」(~1541年)
- 1539年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ハラブ(アレッポ)サンジャクヘイ「ムサ・ヘイ」(~1540年)
- 1539年-01:00|リビア/マルタ| |||<就任>マルタ騎士団のトリポリタニア総督「エルナント・デ・ブラカモンテ」(~1544年)
- 1539年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Cristoforo Madruzzo」(~1567年)
- 1539年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||スペイン人がチャルカスにチキカ市を建設
- 1539年-01:00|スペイン| |||セリア商人が組合を結成し、インディアス貿易を独占
- 1539年-01:00|ドイツ| |||ホックが「新植物誌」を刊
- 1539年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「コンチヨハール・マック・トイルド・ヘルベ・イグ・オー・ブリアン」
- 1539年 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「アスキア・イシャク1世」(~15490325没)
- 1539年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「ムルチャド・カラッハ・オー・ブリアン」トイルド・ルバ・ハ・ト・ン・オー・ブリアンとラグナイト・マクマラの息子(~1543年)
- 1539年 04:30|ペルー/エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領ペルー総督代理「Juan Ruiz de Villegas Maldonado」(⇒総督15400611~15401207)
- 1539年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「ペドロ・カノ」(1回目~1544年)
- 1539年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「ルイ・テュブレ」(~1541年)
- 1539年 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督「ペドロ・テ・アルバラド・イ・コントレラス」(4回目~15410704)
- 1539年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/パナマ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニカラガ総督「エルナン・サンチェス・デ・バダホス」(~1541年)
- 1539年 06:00|ホンジュラス| |||ホンジュラス領内のValle de Comayaguaで金鉱が発見される/その後テグシガルバ近郊のGoscoranで銀山が発見
- 1539年1月-06:30|ミャンマー| |||<死去>ペーグー王「カ・ユッ・ヒ」
- 1539年1月-06:30|ミャンマー| |||ペーグーをビルマが支配(~1550年)
- 1539年1月1日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ジョアン・デ・メネズ・オブ・カ」(~15460303)
- 1539年1月4日-01:00|イタリア| |||<就任>シエラレオネ共和国トージェ「キアント・レア・ルンゴ・ギウステニアニ」(~15410104)
- 1539年1月9日-09:00|日本|鹿児島県南さつま市|天文7年12月19日|島津日新斎(忠良)は伊作亀丸城を出陣し、益山において島津実久勢と戦い敗走
- 1539年1月12日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランス王フランソワ1世と神聖ローマ皇帝カール5世との間で「トリノ条約」が結ばれる/相互の同意なしに新しい「同盟」(政治的な同盟であれ、結婚による同盟であれ)を締結しないことを申し合わせる
- 1539年1月19日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第78代ドージェ(元首)「ピエトロ・ランド」(~1545年)
- 1539年1月20日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文8年|織田信秀が熱田の北に古渡城を築城して居城とし、もう一つの商業都市熱田を支配下に置く
- 1539年1月20日-09:00|日本|鹿児島県薩摩川内市|天文8年|東郷重治(15代)、水引城を攻略
- 1539年1月20日-09:00|日本|静岡県湖西市|天文8年|今川治部大輔義元、大知波の大神山八幡宮境内社熱田神社の本社造営
- 1539年1月20日-09:00|日本|静岡県富士市|天文8年|今川義元21歳、善得寺再建/山号を大富山から富士山に改め建てる
- 1539年1月20日-09:00|日本|東京都江戸川区|天文8年|鎌倉光明寺の学僧應誉良道上人が仲台院創建
- 1539年1月20日-09:00|日本|長崎県対馬市|天文8年|<交替>対馬国主「宗将盛」⇒「宗晴康」(⇒天文11(1542)年対馬国守護)
- 1539年1月20日-09:00|日本|福井県|天文8年|<交替>若狭国守護「武田元光」隠居⇒子の「武田信豊」(~永禄元(1558)年隠居)
- 1539年1月20日-09:00|日本|鹿児島県南さつま市|天文8年1月1日|島津日新斎(忠良)、昨年29日より攻囲中であった加世田城(大山内蔵介)を落とす
- 1539年2月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「(アウグスティン)大統領」フランシスコ・ペレス・デ・ロブレ」(~1543年)
- 1539年2月 05:00|ペルー| |||コンサコ、チャルカスの戦いでユパンキ軍を打ち破り、包囲の突破に成功
- 1539年2月2日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ブーロム国王「ミンカウ」(~15420519)
- 1539年2月6日-01:00|ドイツ/オランダ| |||<死去>ユーリヒ=クレウグエベルク連合公・マルク伯・ラフェンスベルク伯「ヨハン3世」
- 1539年2月6日-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>ユーリヒ=クレウグエベルク連合公・マルク伯「ゲイルヘルム5世」兼ラフェンスベルク伯「ゲイルヘルム4世」(~15920105死去)
- 1539年3月20日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文8年3月|比志島義弘、比志島村に日吉山王宮を創建し、宗廟として奉る
- 1539年4月 05:00|ペルー| |||コンサコ、チャルカスからもどリクスコ総督に任命
- 1539年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メルキオーレ・デ・イ・フランチェスコ・ベルツィ」「ニコロ・デ・イ・サン・テ・イ・ビエ

1550迄 (2430件)

ジカ

- 1539年4月1日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文8年3月13日|<紫原合戦>谷山紫原の地で鹿児島や吉田の衆を加えた島津忠良・貴久の本軍と谷山の島津実久本軍が激突。敗れた実久は川辺に逃れた。島津貴久は谷山本城も攻略/寝禰播磨、島津貴久に敗れる
- 1539年4月2日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文8年3月14日|谷山辛苦城主・平田宗秀は島津貴久に降る
- 1539年4月5日-09:00|日本|埼玉県比企郡吉見町|天文8年3月17日|結城政勝、武蔵大串にて扇谷上杉朝定を破る
- 1539年4月12日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文8年3月24日|島津貴久は神前城(伊集院山城守、松崎丹波守、谷山駿河守)を攻略/谷山を完全に掌握
- 1539年4月16日-09:00|日本|鹿児島県南九州市|天文8年3月28日|島津忠良に川辺高城(鎌田加賀守政真)が降伏
- 1539年4月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザケン公「ゲオルク・ヴェッティン」
- 1539年4月17日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザケン公「ハインリヒ4世」(~15410818死去)
- 1539年4月17日-09:00|日本|鹿児島県南九州市|天文8年3月29日|島津忠良、川辺平山城を攻略
- 1539年4月21日-02:00|キプロス/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「フランチェスコ・テ・イ・ジヤコモ・パドエル」(~15410420)
- 1539年4月26日-09:00|日本|兵庫県神戸市西区|天文8年4月8日|<第一次枝吉城の戦い>赤松晴政・細川持隆連合軍は、人丸塚付近に布陣し明石正風がいる枝吉城を攻囲/明石正風は降伏/赤松・細川連合軍は別所就治を頼って三木城に移動
- 1539年4月29日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル公(王位継承者)「フィリポ」
- 1539年4月29日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「シヨアン・マヌエル」(~15540102早逝)
- 1539年5月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「イヴ・オラニ」出身のシエルバン」篡奪者(~7月)
- 1539年5月 00:00|イギリス| |||<剥奪>ソールズベリー伯「女伯マーガレット・ポール」
- 1539年5月 00:00|イギリス| |||イギリスで大修道院解散法が成立
- 1539年5月12日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 暫定総督「エルナン・ペレス・デ・ケサダ」(~1543年7月)
- 1539年5月17日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督代行「イベル・デ・ホバデ・イ・ジャファン・デ・ロハス」(~1544年)
- 1539年5月18日-09:00|日本|島根県大田市|天文8年5月|大内義隆が尼子氏から石見銀山を奪回
- 1539年5月22日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領北副総督「コンサロ・デ・イラス・ビネガ」(~11.9)
- 1539年5月28日 06:00|アメリカ| |||デソットがフロリダへ遠征し、ミシシッピ川の征服活動に着手
- 1539年6月7日-05:30|インド| |||チャウサの戦いでシエルガム軍を敗走させスール朝を創始
- 1539年6月7日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文8年5月21日|三河国阿摺郷の村々、同国舘播宮の社檀を造立
- 1539年6月23日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「トミンゴ・マルチネス・デ・イラ」(1回目~15420311)
- 1539年6月23日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督「トミンゴ・マルチネス・デ・イラ」(1回目~15420311)
- 1539年7月11日-09:00|日本|長野県|天文8年6月26日|諏訪頼満と小笠原長棟が和睦
- 1539年7月13日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「チェルビ・リュトフィ・パシャ」(~1541.4)
- 1539年8月1日-09:00|日本|鹿児島県いちき串木野市|天文8年閏6月17日|薩州島津家臣島津忠房、島津忠良、貴久父子に攻められ市来平城が落城
- 1539年8月6日 05:00|コロンビア/スペイン| |||スペインによってトゥンハ設立された
- 1539年8月10日-01:00|フランス| |||パリの東北グイル・コト市で、尚書官ギヨーム・ボワエ起草により、司法改革の試みとして192条からなる「グイル・コト勅令(布告)」が出される/「グイル・コト勅令(布告)」3条で、公文書(裁判文書)における「フランス語」の使用(「ラテン語」の使用禁止)、「小教区帳簿」の作成が義務づけられる
- 1539年8月11日-02:00|エストニア/ラトビア| |||<死去>リガ 大司教・リガント公「トマス・シェニク」
- 1539年8月14日-09:00|日本|群馬県利根郡川場村|天文8年7月|吉祥寺(川場村)の中巖円月椅像が造立される
- 1539年8月21日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天文8年7月8日|<蒲原城の戦い>小島又八郎、蒲原城子宮口で山田新五を討取る。朝比奈弥八郎・瀬見大炊助、蒲原城大手で入鑓し北条軍を押し崩す
- 1539年9月3日-09:00|日本|京都府与謝郡与謝野町|天文8年7月21日|吉祥城(山城国)を三好利長(長慶)が攻め落とす
- 1539年9月4日-09:00|日本|香川県観音寺市|天文8年7月22日|<死去>連歌・俳諧師・山崎宗鑑、80歳を超えていたといわれる
- 1539年9月7日-02:00|エストニア/ラトビア| |||<就任>リガ 大司教・リガント公「グイルヘルム・フォン・ホエンツォレルン・マルクグラーフ・フォン・ブランテンブルク」(~15630204没)
- 1539年9月7日-09:00|日本|京都府京都市|天文8年7月25日|幕府が、土倉衆の求めに応じて京都市中の徳政令を停止
- 1539年9月10日-09:00|日本|愛知県知多郡南知多町|天文8年7月28日|尾張国羽豆社で遷宮が行われる
- 1539年9月10日-09:00|日本|京都府京都市|天文8年7月28日|六角定頼の斡旋により三好長慶・細川晴元の撤兵が実現
- 1539年9月13日-09:00|日本|茨城県古河市|天文8年8月|北条氏綱の娘(芳春院)が古河公方足利晴氏に嫁ぎ(古河公方には正妻を置く慣例がなかったため正室ではなく妾)、北条家は足利氏の「御一家」となる
- 1539年9月14日-09:00|日本|新潟県新発田市|天文8年8月2日|<荒川山の合戦>富永忠安・富永孫三郎忠長、荒川山に於いて荒川義広と戦い討死
- 1539年9月17日-09:00|日本|福島県耶麻郡|天文8年8月5日|陸奥の会津耶麻郡に乱が起きる
- 1539年10月 05:00|ペルー| |||マンコ軍のヒラマ將軍、コンテススでスペイン軍に降服/マンコの反乱、ほぼ平定
- 1539年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメ・イ・シモーネ・ベルツィ」「ジヤコモ・テ・イ・アントニオ・ジヤンニニ

1550迄 (2430件)

」

- 1539年10月5日-09:00|日本|埼玉県比企郡吉見町|天文8年8月23日|古河公方足利晴氏・結城政勝が大串左衛門入道の武蔵大串城を攻める
- 1539年10月10日-09:00|日本|鹿児島県いちき串木野市|天文8年8月28日|串木野城に進んだ日新斎の軍勢を阻むことは出来ず串木野城主・川上忠克は島津忠良に串木野城を明け渡し、出水に向かう/日新斎と貴久は、薩摩半島の大部分を支配下に治めることになった
- 1539年10月11日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文8年8月29日|市来城に島津日新斎(忠良)の軍勢が迫り湯田口で薩州軍と合戦/薩州軍は実久の弟、島津忠辰が大将を務めていたが日新斎の軍勢の前に忠辰は討死、市来城は陥落/島津実久は島津忠良と和睦し、出水へ退く
- 1539年10月12日-09:00|日本|京都府|天文8年9月|この月、山城国土一揆、徳政を要求して蜂起
- 1539年10月12日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|天文8年9月|佐竹義篤/宇都宮俊綱/小田政治、那須高資の烏山城を攻める
- 1539年10月12日-09:00|日本|新潟県村上市|天文8年9月|伊達家14代の伊達植宗が、跡継ぎのいなかった越後守護上杉定実の養子に三男時宗丸(後の伊達実元)を送り出すことについて、越後阿賀北地方の国衆で反発が起き、揚北衆で賛成派の中条氏が伊達軍を越後に引き入れ、阿賀北小泉荘を攻撃、占領
- 1539年10月17日-09:00|日本|宮崎県|天文8年9月6日|日向で大雪。五穀が熟さず、餓死するもの多し
- 1539年10月29日-09:00|日本|静岡県静岡市|天文8年9月18日|<荒川山戦い>吉良氏と荒川氏が戦い荒川氏敗れる
- 1539年11月1日-01:00|イタリヤ| |||バネツィア、サン・ジヨルジョ・ディ・グレチ教会建設
- 1539年11月9日 05:00|エアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領土暫定副総督「ロレンツォ・デ・アルダ」(~15401201)
- 1539年11月30日 05:00|コロンビア| |||<就任>フランシスコによりキリスト教に改宗される
- 1539年12月-05:30|インド| |||<即位>スル朝シャー「シエル・シャー」(~15450522死去)
- 1539年12月8日-09:00|日本|岡山県|天文8年10月28日|細川持隆は赤松政村を支援するため備中国に入り尼子詮久の兵と戦い敗れる
- 1539年12月11日-09:00|日本|新潟県村上市|天文8年11月|伊達植宗、本庄房長を越後村上城に攻める
- 1539年12月23日-09:00|日本|高知県|天文8年11月13日|<死去>土佐幡多郡領主(中村城)「一条房家」⇒嫡男の「一条房冬」(~天文10年11月6日(15411123)病死)
- 1540年-08:00|マレーシア| |||<死去>ハ・ハン・スルタン「ムサファル・シャー」
- 1540年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Jorge de Castro」(~1544年)
- 1540年-08:00|マレーシア| |||<設立>ルアケレンバウ
- 1540年-08:00|マレーシア| |||<即位>ハ・ハン・スルタン「サ・イハル・アヒ・デ・イン・シャー」(~1555年没)
- 1540年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Ismail Shah」(~同年)⇒「Nazuk Shah」(~1552年)
- 1540年-05:30|インド| |||<即位>マルワー・スルタン朝スルタン「Qadir Shah」(~1542年)
- 1540年-05:30|インド| |||カチャリ国首都がマイバニに移転
- 1540年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>シャイバニー朝ハン「アブドゥッラーフ・ウハイドゥッラー」の弟(~1552年)
- 1540年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャイバニー朝ハン「アブドゥッラーフ・ウハイドゥッラー」の弟(~1552年)
- 1540年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Mustafa Neshshar Bey」(1期目~1545年)
- 1540年-03:00|ジブチ| |||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「ハマト」
- 1540年-03:00|マダガスカル| |||<即位>メリナ王国君主「Andriamanelo」(~1575)
- 1540年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのカンテ・イア公「カルロ・カペッロ」(~1542年)
- 1540年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ハラブ(アレッポ)サンジャクベイ「ウスマン・スレイマン」(~同年)⇒「フェイ・ベイ」(3期目~1543年)
- 1540年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||スベツツはオスマン帝国の一部
- 1540年-01:00|スペイン| |||<就任>オリバレス伯「エンリケ・デ・ゲスマン・イ・リベラ」(~1607年死去)
- 1540年-01:00|フランス| |||<就任>シャテルロー公「シャルル・ド・フランス」(~15450909死去)
- 1540年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領土提督「Afonso de Noronha」(~1549年)
- 1540年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ニコテ・イム」(~同年)⇒「ロミル」(~1559年)
- 1540年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ザイーン朝スルタン「アブドゥッラーフ6世」(~同年)⇒「アブドゥッラーフ2世」(~1543年退位、サト朝支配~1544年)
- 1540年-01:00|イタリヤ| |||イタリヤの職人ファンネロがこのころ旋盤を発明
- 1540年-01:00|チュニジア/スペイン| |||スペインがスファックス(スファクス)占領(~1551年)
- 1540年 00:00|イギリス| |||<就任>15代キャリック伯「ジェームズ・ステュアート」先代の長男(~1541年)
- 1540年 00:00|トコ| |||<就任>アグバナンキン統治者(メ)「アホサ1世」(~1590年)
- 1540年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Agustin de Zurbaran」(2期目~1543年)
- 1540年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Juan Verdugo」(~1543年)
- 1540年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「アントニオ・デ・ミンダ・デ・アゼベド」(~1543年)
- 1540年 00:00|イギリス| |||英国で最初の常設競馬場がチェスター郊外のルティに作られ競馬が行われる<最古の記録>
- 1540年 00:00|ポルトガル/イェメン| |||ポルトガルがイェメンのアデンを占領
- 1540年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「ルイス・コロンブス・デ・トレド」⇒「サント・ミンゴ 司教アロンソ・デ・フェンヨール」(2回目~1544年)
- 1540年 05:00|コロンビア| |||ブラチカに金鉱発見

1550迄 (2430件)

- 1540年 06:00|ニカラガア/コスタリカ| |||ニカラガアはヌポ・カルコ (コスタリカ) に従属 (~1565年)
- 1540年 07:00|メキシコ| |||西インドでヌバガリアのチチカ人が反乱
- 1540年 07:00|メキシコ| |||第三次ユカタン遠征。ツ族とコム族の内紛を利用し制圧に成功/チチカを指導者とするコム族は全員が虐殺
- 1540年 07:00|メキシコ| |||メキシコにヒツツが移入される
- 1540年1月 04:00|刊| |||ペドロ・デ・バルデ・イ・ア、刊植民者に任命され刊遠征/コピ・カ・でミチマロコのひきいるアラウカ族を打ち破る
- 1540年1月6日 00:00|イギリス| |||ヘンリー8世が、ト・イツのクレーヴ公の娘アンと結婚
- 1540年1月7日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天文8年11月28日|京都北野社が竣工し、遷宮実施
- 1540年1月9日-09:00|日本|熊本県|天文8年12月|名和・相良・阿蘇3氏が和睦
- 1540年1月17日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文8年12月9日|<死去>信濃国上原城城主「諏訪頼満」病没 (60) ⇒孫の「諏訪頼重」(24)が継ぐ (~天文10 (1541) 年7月降伏滅亡)
- 1540年1月20日-05:30|インド| |||ミルザ・ハイドル率いるムガル軍がカミール遠征
- 1540年2月22日-07:00|ベトナム| |||大越莫朝・大正11年1月15日|<死去>莫朝 (大越) 第2代皇帝「太宗莫登瀛」
- 1540年2月22日-07:00|ベトナム| |||大越莫朝・大正11年1月15日|<即位>莫朝 (大越) 第3代皇帝「憲宗莫福海」 (~15460 605死去)
- 1540年2月23日-09:00|日本|長野県南佐久郡南牧村|天文9年1月16日|武田信虎、佐久郡海尻城を攻め落とし、小山田昌辰を城代に入れる
- 1540年3月9日-09:00|日本|愛知県名古屋市緑区|天文9年2月|松平広忠は先手を打って尾張国鳴海城攻めるが敗北し、以後広忠は安祥城の守りを固めるため城代として松平長家 (清康の大叔父) を置き、その他一門衆5名と1000弱の兵を配備する
- 1540年3月9日-09:00|日本|高知県高知市|天文9年2月|土佐・本山清茂、吉良宣直を討つ
- 1540年3月9日-09:00|日本|長野県南佐久郡南牧村|天文9年2月|村上義清、家臣室賀光氏を海尻城攻撃に派遣してこれを攻め落とす
- 1540年3月13日 00:00|イギリス| |||<死去>エッセクス伯「ヘンリー・バウチャー」
- 1540年3月13日 00:00|イギリス| |||<就任>エッセクス伯「トマス・クロムウェル」 (~15400610、私権剥奪により廃絶)
- 1540年3月19日 00:00|イギリス| |||<死去>デズモンド伯「ジェームス・フィッツ・ジェラルド」
- 1540年3月19日 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド伯「ジェームス・フィッツ・ジェラルド」 (~15581027死去)
- 1540年3月21日 00:00|イギリス| |||<死去>15代オックスフォード伯「ジョン・ウエイ」
- 1540年3月21日 00:00|イギリス| |||<就任>16代オックスフォード伯「ジョン・ウエイ」先代の子 (~15620803死去)
- 1540年3月23日 00:00|イギリス| |||ロンドン北東部のウルサム修道院がヘンリー8世に解散させられ、中世以来イギリス教会の重要な役割を担ってきた修道院が全て姿を消す
- 1540年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジ・アントニオ・デ・イ・フランチェスコ・ベルツィ」 「ピエール・レオ・ネ・デ・イ・フアリツィオ・コルベリ」
- 1540年4月3日-05:30|インド/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領インド総督「ガルシア・デ・ノロニャ」
- 1540年4月3日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「エステヴァン・ダ・ガマ」 (~15420507)
- 1540年4月20日-09:00|日本|茨城県常陸大宮市|天文9年3月14日|佐竹義篤、佐竹義元の部垂城を落とし、部垂の乱が終結
- 1540年4月29日-09:00|日本|熊本県熊本市|天文9年3月23日|大慈寺が焼失
- 1540年5月2日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行「ウィリアム・ブレトン」 (~8. 12)
- 1540年5月4日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天文9年3月28日|円成寺 (榛原町細江) 5世天用栄龍、松立山永龍寺 (吉田町住吉) 開山
- 1540年5月7日-09:00|日本|千葉県千葉市|天文9年4月|里見内訌後、北条方の内房正木氏の金谷・保田・勝山・妙興寺を里見義堯が奪取したが、再度北条が奪う
- 1540年5月7日-09:00|日本|長野県佐久市|天文9年4月|武田信虎は板垣信方に命じて佐久郡臼田城、入沢城など10数城を攻略させ佐久郡を制圧する
- 1540年5月17日-05:30|インド| |||<廃位>ムガル帝国第2代皇帝「フマユーン」スル朝による支配 (⇒15550222復位 ~15560127死去)
- 1540年5月17日-05:30|インド| |||スル朝のシェール・シャーが、カウでムガル皇帝フマユーンを破る
- 1540年5月22日 00:00|イギリス| |||<就任>ロシー公 (スコットランド王位の法定推定相続人) 「ジェームス・スチュワート」キリック伯 (~15410421死去)
- 1540年5月29日-09:00|日本|愛知県西尾市|天文9年4月23日|<西条城の戦い>今川義元22歳、朝比奈小隼人を松平広忠に遣わし、松平広忠1千500余人と東三河軍兵1千余人で西条城を攻めさせる/>吉良左衛門佐義郷、後藤平太夫の計により尾張守護斯波義達の婿になった為、朝比奈泰能3千・松平軍が西条城攻め吉良義郷討死/荒川甲斐守頼時・吉良上野介義安 (神戸城東条持広養子) 降参。吉良義昭を西条城に入れる/吉良義安を駿河藪田に蟄居させる/大橋知尚を吉田城におく
- 1540年6月5日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天文9年5月|天用栄龍、松立山永龍寺 (榛原町下吉田) 開山
- 1540年6月10日 00:00|イギリス| |||<私権剥奪>エッセクス伯「トマス・クロムウェル」廃絶
- 1540年6月11日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<死去>スペイン領ベネチア総督「Jorge de Espira」
- 1540年6月11日-09:00|日本| |||天文9年5月7日|<死去>彦胤入道親王 (32歳) 後柏原天皇の皇子
- 1540年6月18日 00:00|イギリス| |||クロムウェルが反逆罪で逮捕される
- 1540年6月28日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ公兼モンフェラート侯「フェデリコ2世・ゴンザーガ」

1550迄 (2430件)

- 1540年6月28日-01:00|イタリヤ| |||<即位>マントヴァ公兼モンフェラート侯「フランチェスコ3世・ゴンザーガ」フェデーリコの長男、ガリエルモ9世の孫 (~15500222死去)
- 1540年7月-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア貴族議会上級ヤール「ワシ・フォード・ワグニッチ・ベルスキー王子」 (~15411225)
- 1540年7月9日-09:00|日本|愛知県安城市|天文9年6月6日|<第一次安城合戦>織田信秀、三河安祥城を攻撃、城將松平長家・松平信康を戦死させるが、藤井城主松平利長に撃退されるが、占領/安祥城主に織田信広(信長の異母兄)が入る
- 1540年7月12日-09:00|日本|島根県大田市|天文9年6月9日|佐東銀山城主「武田光和」急死(37歳)⇒嫡子がいいため若狭武田氏から武田信実が養子として入り、安芸武田当主となる
- 1540年7月19日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文9年6月16日|<吉田郡山城の戦い(安芸国)>平賀興貞勢が東西条造賀で毛利元就・平賀弘保の軍勢に敗れる
- 1540年7月22日-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア摂政「イサハラ」(1回目~9.13)
- 1540年7月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「ヨハン3世」
- 1540年7月22日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<死去>ハンガリー国王・クロアチア王(対立王)「ヤーノシュ1世」兼トランシルヴァニア侯「サバ・ヤーノシュ」
- 1540年7月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「ヨハン4世」(~15470323死去)
- 1540年7月23日-09:00|日本|福島県|天文9年6月20日|伊達晴宗、父植宗を幽閉し、時宗丸の越後入国を阻止/伊達氏天文の乱はじまる
- 1540年7月24日-09:00|日本|広島県三次市|天文9年6月下旬|尼子国久は一党三千余を率いて備後口から南下、備後三次に至り属城の志和八幡山城に進出、郡山城への道を企図したが戦いに敗れて帰陣
- 1540年7月28日 00:00|イギリス| |||玉璽尚相トマス・クロムウェル、反逆罪で亨利8世により斬首/55歳(誕生:1485)
- 1540年7月28日 00:00|イギリス| |||亨利8世が、アン・ボリンの従姉妹にあたるキャサリン・ハワードと結婚
- 1540年7月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>カシメル侯「エーリヒ1世」
- 1540年8月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「ペドロ・デ・バルデビア」(1回目~1547年12月)
- 1540年8月12日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「アンソニー・セント・レジヤ」(1回目~15440210)
- 1540年8月14日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ諸島のコレクター/治安判事「サイモン・アフォンソ」(~15411220)
- 1540年8月19日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天文9年7月17日|越前軍、丹後海賊への報復のため500艘の船をもって加佐郡に侵入するが、さしたる戦果なく引き返す
- 1540年8月28日-01:00|イタリヤ| |||<即位>マントヴァ公(ゴンザーガ家)フランチェスコ3世・ゴンザーガ (~15500222死去)
- 1540年9月1日-09:00|日本|岩手県岩手郡雫石町|天文9年8月|石川高信が福士・一方井・川口氏ら諸将とともに陸奥岩手郡滴石城の戸沢政安らを攻め、政安は出羽角館に逃れる
- 1540年9月3日-09:00|日本|新潟県|天文9年8月3日|<交替>越後国領主「長尾為景」隠居⇒子の「長尾晴景」(~天文17(1548)年12月隠居)
- 1540年9月8日-02:00|キプロス/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「クリストフォロ・ディ・フランチェスコ・カペッロ」(~1543年)
- 1540年9月11日-09:00|日本|京都府|天文9年8月11日|大風雨のため禁中陣座が転倒。民家・山林が破損
- 1540年9月13日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「レブナ・デ・ンゲル・サト」
- 1540年9月13日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「ゲラウテ・ウオス・レブナ・デ・ンゲル」(~15590403没)
- 1540年9月13日-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア摂政「イサハラ」(2回目~15510721)
- 1540年9月13日-01:00|ハンガリー/クロアチア/ルーマニア| |||<即位>ハンガリー・クロアチア王・トランシルヴァニア王(ハンガリー選出)「ヤーノシュ2世」ヤーノシュ1世の息子(1回目~15510721)
- 1540年9月13日-09:00|日本|愛媛県松山市|天文9年8月13日|周防国守護大内義隆の家臣白井房胤らの軍勢、風早郡中島を侵略
- 1540年9月16日-09:00|日本|島根県大田市|天文9年8月16日|尼子晴久が大内義隆の所領の石見国大森銀山を奪取
- 1540年9月20日 00:00|ポルトガル| |||<死去>キマリス公「トヴァル1世」
- 1540年9月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリースラ伯「Enno2世」
- 1540年9月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリースラ伯「Anna of Oldenburg」(~15750924死去)
- 1540年9月25日-09:00|日本|静岡県|天文9年8月25日|大雨で大井川の堤防が切れ、大島の河原に何百という死体上がる
- 1540年9月25日-09:00|日本|静岡県焼津市|天文9年8月25日|大井川の大洪水により曹洞宗広沢山長泉寺(焼津市大島)の堂宇が流される
- 1540年9月28日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天文9年8月28日|穆佐城主長倉上総介・長峰地頭長倉能登守、伊東氏に反乱を起こし、北郷・島津豊州両氏に援軍を求める
- 1540年9月30日-09:00|日本|新潟県胎内市|天文9年9月|色部勝長らは中条藤資を攻め、中条城を攻め落とす/伊達家は越後から撤退
- 1540年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローラモ・ディ・ジュリアーノ・ゴジ」 「ヴァンチエンツォ・ディ・バルトロ・コッパルティニ」
- 1540年10月1日-01:00|スペイン| |||アルボラン島はスペインが領有(アルメリアの下)
- 1540年10月2日-09:00|日本|宮崎県|天文9年9月3日|島津忠広、伊東勢に敗北
- 1540年10月3日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文9年9月4日|<吉田郡山城の戦い(安芸国)>尼子晴久が3万余の兵で安芸郡山城の毛利元就を包圍/吉田郡山籠城戦が始まる
- 1540年10月5日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文9年9月6日|<鎗分・太田口の戦い>早朝の霧に紛れた尼子軍4,500が吉田太郎丸の町屋敷に放火し、そのまま吉田郡山城に攻撃を仕掛けようとしたが毛利軍の激しい抵抗に

1550迄 (2430件)

遭って数十名が討ち取られ、攻撃は失敗

- 1540年10月11日-01:00|イタリヤ| ||<即位>ミラノ公「フェリペ1世」(~15980506退位~15980913死去)
- 1540年10月11日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文9年9月12日|<鎗分・太田口の戦い>尼子軍は吉田郡山城下に進出して放火、毛利方は渡辺通や井上元景などが出陣、尼子方は高橋元綱や本城信濃守らを含む数十名が討死/城の南側正面にあたる広修寺や祇園の縄手でも激戦が繰り広げられ、いずれも尼子軍は撃退され風越山の尼子本陣に撤退
- 1540年10月12日-09:00|日本|広島県|天文9年9月13日|伴武田氏、大内方に寝返り、同名の平城前原を殺害
- 1540年10月20日-01:00|イタリヤ/トルコ| ||<オスマン朝とヴェネツィアが休戦協定を結ぶ>
- 1540年10月22日-09:00|日本|岐阜県郡上市|天文9年9月23日|(8月25日~)越前衆、美濃郡上郡に乱入し、山田篠脇城を攻撃するも、反撃を受け越前に撤兵
- 1540年10月22日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文9年9月23日|尼子詮久は風越山から郡山の西南二和の青山三塚山に陣を移した/これを知った毛利軍は風越山の本陣を攻めて焼き払った
- 1540年10月25日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文9年9月26日|尼子軍の部将である湯原宗綱が兵千五百を率いて坂・豊島に進出したが坂には小早川興景や大内軍の先鋒杉元相がいてこれに応戦/さらに郡山城からも粟屋元良らが出て尼子軍を挟み撃ちしたため尼子軍は敗走
- 1540年11月9日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文9年10月11日|<青山土取場の戦い>尼子誠久らは新宮党など1万を動員し吉田郡山城に迫る。毛利元就は軍勢を三手に分け迎撃、尼子軍は大混乱となって壊走、三沢為幸ら500人が討死
- 1540年11月28日-07:00|ベトナム| ||<大越莫朝・大正11年11月|大越でグエン・キムが兵を起こす>
- 1540年12月-01:00|イタリヤ| ||<ベネチアで人口調査再実施>
- 1540年12月1日 05:00|エチオピア/スเปน| ||<就任>スเปน領事総督・総司令官「コンサロ・ピエロ・イ・アロンソ」(~1544年)
- 1540年12月1日 05:00|コロンビア| ||<コンサロ・ピエロ・イ・アロンソの抵抗を打ち破り、正式に領事総督に就任>
- 1540年12月7日 04:30|ベネチア/スเปน| ||<就任>スเปน領事暫定総督「Rodrigo de Bastidas」(2期目~15420102)
- 1540年12月7日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文9年11月9日|尼子氏の支援によって佐東銀山城に戻っていた武田信実が、毛利軍の背後を突こうとするが、般若坂にて国司元相勢によって撃退される
- 1540年12月13日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文9年11月15日|戸田宣成、大崎八幡社造営
- 1540年12月19日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|天文9年11月21日|北条氏が鶴岡八幡宮を再建し、遷宮が行われる
- 1540年12月20日-02:00|ルーマニア| ||<死去>モルダヴィア総督「ステファン5世ロカスト」
- 1540年12月21日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル3世コルネア」(~15410216~15410305死去)
- 1540年12月26日-09:00|日本|茨城県古河市|天文9年11月28日|下総国猿島郡古河公方足利晴氏が北條氏綱の三女を娶る
- 1540年12月26日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文9年11月28日|厳島社外宮宝殿の再興なり、遷宮
- 1540年12月27日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文9年11月29日|武田氏と諏訪氏、同盟/同盟関係の証として、武田信虎の三女禰々が諏訪頼重に嫁ぐ
- 1540年12月28日-09:00|日本|熊本県上益城郡山都町|天文9年12月|肥後・阿蘇惟前、矢部城(阿蘇惟豊)を攻略
- 1541年-05:30|インド| ||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Qazi Fazilat」(~1545年)
- 1541年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「カンタリ・イ・ハシヤ」(~1543年)
- 1541年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「ヨハネ・デ・セブルベダ」(~1543年)
- 1541年-02:00|キリシヤ| ||<設立>アトスに聖ニコラス修道院
- 1541年-02:00|エジプト/ポルトガル| ||<ポルトガルが紅海のサウキンを襲撃>
- 1541年-02:00|ルーマニア/トルコ| ||<モルダヴィアとワキアはオスマン帝国の一部>
- 1541年-01:00|ドイツ| ||<就任>アーレンベルク伯「マルガレータ」(~1547年)
- 1541年-01:00|クワチア| ||<即位>ポルツァ大公「ラドシュ・ストラウグイッチ」
- 1541年-01:00|ハンガリー| ||<ハンガリー王国首都がブダペストからブダペストへ移転(-1848)>
- 1541年 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド支配者「クリストファー・ヒュイトフェルト6世ベリツガート」(~1542年)
- 1541年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地司令官「Diogo Botelho Pereira」(~1545年)
- 1541年 00:00|モリタニア/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領アルギン長官「フランシスコ・デ・ハバオ」
- 1541年 05:00|コロンビア| ||<ボコタ北方のムリにエマラルド・鉱発見>
- 1541年 06:00|コスタリカ/スเปน| ||<就任>コスタリカ総督「エルナン・サンチェス・デ・バタホス」(~1543年)
- 1541年 06:00|ホンジュラス/スเปน| ||<就任>コマケア県総督「デ・イコ・ガルシア・デ・セリス」(~1542年)
- 1541年 06:00|エルサルバドル/スเปน| ||<就任>サンサルバドル一般市長「ペドロ・セロン(2回目)/アントニオ・デ・フィゲロア」(~1544年)
- 1541年1月 07:00|メキシコ| ||<テマストリの率いるチチメク族がふたたび反乱/ミシュン戦争/反乱軍はミシュン、ナフトランを抑え、ヌエバ・ガリシアの首都グアハラに迫る>
- 1541年1月4日-01:00|イタリヤ| ||<就任>ヴェネチア共和国ドージェ「レオナルド・カッタネオ・テラヴァルタ」(~15430104)
- 1541年1月9日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文9年12月13日|中尾生城の西手知行分の一部を返還。中尾生城は廃城し匂坂長能は撤退
- 1541年1月10日-01:00|バチカン| ||<ミケランジェロがシステイナ礼拝堂の「最後の審判」を完成>
- 1541年1月15日 06:00|カナダ/フランス| ||<就任>初代フランス領カナダ副王「Jean-Francois de la Roque」(~1543年)
- 1541年1月23日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<ヘンリー8世が、はじめてアイルランド王を名乗る>
- 1541年1月27日-09:00|日本| ||<天文10年|死去>観世長俊(54歳)猿楽師、能役者、能作者

1550迄 (2430件)

- 1541年1月27日-09:00|日本|青森県三戸郡|天文10年|<死去>陸奥三戸領主「南部安信」⇒嫡男の「南部晴政」が継ぐ
(~天正10年1月4日(15820127)死去)
- 1541年1月27日-09:00|日本|千葉県鴨川市|天文10年|正木時茂、義富派の天津城:真里谷武田朝信を落とし居城とする/真里谷武田朝信、大多喜城へ移る
- 1541年1月27日-09:00|日本|長野県|天文10年|<交替>信濃国守護「小笠原長棟」出家(~翌年10月8日(15421114)死去)⇒子の「小笠原長時」が継ぐ(~天文19(1550)年7月15日失領)
- 1541年1月27日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・広和1年|<即位>パントウワンガ王「Po Kunarai (Ba Bai)」(~1553年)
- 1541年1月27日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・光照1年|後黎朝1代・莊宗が光照と改元(-1548)
- 1541年1月27日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・広和1年|莫朝・広和と改元(-1546)
- 1541年1月27日-09:00|日本|岡山県備前市|天文10年1月|備後・大内軍、三石城(小早川常平)を攻略
- 1541年1月29日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文10年1月3日|<宮崎長尾の戦い>毛利軍は相合口の尼子軍を襲い、参戦した小早川興景勢から20名ほどの負傷者を出しつつも、尼子兵10数名を討ち取った
- 1541年2月7日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文10年1月12日|友田興藤、大内氏に叛き、沖家3家の警固船を呼び下し厳島を占領
- 1541年2月8日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文10年1月13日|<宮崎長尾の戦い>早朝、城外の小早川興景・宍戸元源らと呼応した毛利軍総勢3,000が、ついに宮崎長尾の尼子陣に攻撃を開始。尼子方の先鋒であった高尾隊2,000は必死に防戦するが、久友は討ち死にして軍勢は敗走、第二陣の黒正隊1,500の兵も壊滅して久澄は逃亡、第三陣で待ち構える吉川興経は精鋭1,000の手勢で奮戦し、毛利軍に猛反撃を加えた。戦いは日没まで及ぶが毛利軍は突破できず、元就は兵を撤退。毛利軍は、高尾久友や三沢蔵人など200余名を討つ戦果をあげて城に凱旋/大内軍は尼子本陣の背後から奇襲を仕掛け、尼子本陣は大混乱に陥り、久幸が矢を額に受けて落馬し討死/勝敗の定まらないまま夕暮れとなった/尼子軍は夜陰に乗り、かがり火を焚いた本陣をそのまま残して撤兵
- 1541年2月10日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文10年1月15日|黒河隆尚、大内氏の警固船を率い厳島を急襲/沖家の警固船敗走
- 1541年2月12日 04:00|リ/スペイン| |||スペイン征服者ペドロ・バルデ・イ・アがリにサンティアゴ市を建設
- 1541年2月20日-09:00|日本|静岡県焼津市|天文10年1月25日|鳳山現竜大和尚、曹洞宗飯淵山意雲庵(焼津市飯淵)開創
- 1541年2月26日-01:00|スペイン/ペルー| |||スペイン王が旧印加領のヤコを奴隷ではなく自由民と認定
- 1541年3月 00:00|ポルトガル| |||<就任>キマンイス公「トウアル2世」(~15761128死去)
- 1541年3月10日-02:00|ルーマニア| |||<再任>モルダヴィア総督「ペトル5世」(2回目~15460903)
- 1541年3月28日-09:00|日本|広島県世羅郡世羅町|天文10年3月|湯浅某女、大檀那として、世羅郡井原八幡神社の舞殿を造立
- 1541年4月-02:00|リトアニア| |||<死去>リトアニア陸軍元帥(首相)代行「ユルギス・ミカロジヤウス・ラトヴィラ」
- 1541年4月-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハテム・スレイマン・パシャ」(~15441128)
- 1541年4月-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)代行「イヴァナス・ホルスタユス」(~1544年10月)
- 1541年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローラモ・デ・イェヴァンジェリスタ・ベルツィ」 「スタンゲリーノ・デ・イフランチェスコ・ベルツィ」
- 1541年4月5日-09:00|日本|広島県|天文10年3月9日|神領衆、佐西郡藤懸の大内陣を切崩す
- 1541年4月11日 00:00|イギリス| |||<死去>6代エール伯「ウィリアム・ヘイ」
- 1541年4月11日 00:00|イギリス| |||<就任>7代エール伯「ジョージ・ヘイ」(~15730130死去)
- 1541年4月19日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文10年3月23日|大内軍、佐西郡七尾へ陣を寄せ桜尾城を攻める/神領衆羽仁・野坂氏ら退城
- 1541年4月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ロシー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・キャリック伯「ジェームス・スチュワート」
- 1541年4月26日-08:00|中国/ベトナム| ||大越莫朝・広和1年4月|大越莫登庸、明に降伏
- 1541年4月30日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文10年4月5日|<第二次桜尾城の戦い>安芸・大内義隆、桜尾城(友田興藤)を攻略
- 1541年5月 07:00|メキシコ| |||テノチティトランに達する/メヒコの街で原住民と戦い原住民2千五百人が死亡
- 1541年5月26日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|天文10年5月13日|椿翁永松、西俣に福泉寺を開く
- 1541年5月26日-09:00|日本|福島県東白川郡矢祭町|天文10年夏|常陸の佐竹義篤が陸奥東館城を攻略し南郷を制圧
- 1541年6月7日-09:00|日本|長野県上田市|天文10年5月13日|<海野平の戦い(信濃国)>武田信虎、村上義清らに海野平を攻められ、海野棟綱、真田幸隆、上州吾妻へ逃れる
- 1541年6月7日-09:00|日本|広島県広島市安佐南区|天文10年5月13日|<佐東銀山城の戦い(安芸国)>毛利軍の攻撃で佐東銀山城落城、安芸武田信重は自害(安芸武田氏の滅亡)
- 1541年6月18日-01:00|ポズナア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナア総督「ウラマ・パシャ」(2回目~1547年)
- 1541年6月19日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド卿「イングラント」の王・女王」(~16490104)
- 1541年6月19日-09:00|日本|長野県上田市|天文10年5月25日|<海野平の戦い>信濃國小県郡で起きた合戦/甲斐守護武田信虎は諏訪頼重・村上義清と同盟を結び、武田氏は佐久郡へ諏訪・村上氏は小県郡へ侵攻/海野棟綱ら滋野一族は抵抗するが尾野山城(上田城)が落城し海野平・矢沢などにおいて三氏の連合軍に敗退し棟綱の嫡男・幸義は神川で戦死、滋野一族は総崩れとなると、海野棟綱・真田幸綱ら滋野一族は関東管領の上杉憲政を頼り、上野国へ亡命
- 1541年6月26日 05:00|ペルー/スペイン| |||<死去>ヌエバ・カステリヤ総督「フランシスコ・ピサロ・ゴンサレス」リマの自宅で、1538年に処刑したデ・イエゴ・デ・アルマゴロの遺児「イエゴ・アルマゴロ・エル・モリ(メスィ)」に襲われ死亡

1550迄 (2430件)

- 1541年6月26日 05:00|ペル/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カステイリヤ総督「デ・イコ・デ・アルマダ」2世エル・モリ (~15420916没)
- 1541年6月27日-09:00|日本|長野県|天文10年6月4日|武田信虎・晴信親子は信濃から撤兵
- 1541年6月29日 06:00|グアテマラ| |||ヌエバ・ガリシア滞在中のアルブラド、ミシュン戦争鎮圧に出動するが敗れ、退却中に事故死
- 1541年7月2日-09:00|日本|青森県弘前市|天文10年6月9日|三味線河原の戦い/大浦政信、和徳城主小山内満春を攻めるが、陸奥三味線河原で両者討死にする
- 1541年7月4日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督代行「フランシスコ・デ・ラ・クエバ・イ・ウ・イラクレス」(1回目 ~9.9)
- 1541年7月7日-09:00|日本|山梨県|天文10年6月14日|<交替>甲斐国守護「武田信虎」追放⇒子の「武田晴信(信玄)」 (~元亀4(1573)年4月12日死去)
- 1541年7月11日-09:00|日本|愛媛県今治市|天文10年6月18日|白井房胤、伊予国三島を襲うが撃退される
- 1541年7月12日-09:00|日本|山梨県韮崎市|天文10年6月19日|武田晴信、小笠原長時・頼重らを韮崎に破る
- 1541年7月19日-09:00|日本/中国| ||天文10年6月26日|室町幕府遺明使南禅寺の僧湖心らが帰国
- 1541年7月23日-09:00|日本|静岡県富士市|天文10年7月|日清、日蓮宗円応山法蓮寺開山
- 1541年7月26日-09:00|日本|長崎県|天文10年7月4日|関東管領の上杉憲政の兵、信濃に侵入
- 1541年8月8日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文10年7月17日|諏訪頼重、山内上杉憲政と和睦
- 1541年8月8日-09:00|日本|新潟県上越市|天文10年7月17日|長嶺地頭長倉能登守、兄上総介と反乱を起こす
- 1541年8月10日-09:00|日本|神奈川県|天文10年7月19日|<死去>相模・伊豆国主「(北条氏第2代当主)北条氏綱」病没(享年55)⇒嫡男「(3代目)北条氏康」が継ぐ(~永禄9(1566)年隠居)
- 1541年8月12日-09:00|日本|大阪府和泉市|天文10年7月21日|細川典厩家氏綱が細川高国継承権を要求して、榎尾山施福寺で拳兵
- 1541年8月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン公「ハインリヒ4世」
- 1541年8月18日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「モリッツ」(⇒15470604ザクセン選帝侯~15530709死去)
- 1541年8月18日-09:00|日本|島根県飯石郡飯南町|天文10年7月27日|大内軍、出雲国赤穴城を攻める/城主赤穴光晴討死し、城を明渡す
- 1541年8月19日-09:00|日本|宮崎県|天文10年7月28日|長倉氏の反乱拡大し、川南(大淀川南)で合戦
- 1541年8月29日-01:00|ハンガリー/トルコ/オーストリア| |||ハンガリーはオーストリアとオスマン帝国の間で分割され「ダク(オフェン)」をオスマン帝国が支配。ドナウ川・ティサ地域はオスマン帝国の州(ブデイン・エレット)になる(~16990126)
- 1541年9月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペレメル「ウスマン・スレイマン・パシャ」(~1542年2月)
- 1541年9月 07:00|メキシコ| |||ミシュン戦争/ヌエバ・ガリシア最大の町「アグアハラ」はインディオに包囲され壊滅寸前/スペイン軍は激戦の末町の奪回に成功
- 1541年9月2日-09:00|日本|兵庫県川西市|天文10年8月12日|<一庫城の戦い(摂津国)>晴元は三好政長、三好長慶、波多野秀忠らに多田一庫城がいる塩川政年の攻略を命じ三好軍は一庫城を包囲
- 1541年9月9日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督「ヒェアトリス・デ・アルバ・デ・ラ・クエバ」(~11日)
- 1541年9月11日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督代行「フランシスコ・デ・ラ・クエバ・イ・ウ・イラクレス」(2回目 ~17日)
- 1541年9月11日 06:00|グアテマラ| |||ボルカン・デ・アグアの火口湖が地震と豪雨により決壊/シグビエラは土石流で崩壊/スペイン人6百人が死亡
- 1541年9月17日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督「サンティアゴ・デ・グアテマラ司教フランシスコ・デ・マロキン・ウルタド」(~15420517)
- 1541年9月22日-09:00|日本|宮崎県|天文10年9月3日|伊東義祐、長倉・島津連合軍を破り勝利/長倉能登守は戦死、同上総介は北郷氏を頼って落ち延びる
- 1541年9月26日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領ネグロス総督・総司令官代行「クリストバル・バカ・デ・カストロ」(~15440517)
- 1541年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアノ・デ・マリノ・リギ」(「ジヤコモ・デ・イロ・ド・ウ・イコ・ピントイ」)
- 1541年10月15日-09:00|日本|三重県伊勢市|天文10年9月26日|織田信秀の寄進により、伊勢外宮仮殿の遷宮が行われる
- 1541年10月18日 00:00|イギリス| |||<死去>マーガレット/51歳(誕生:14891129)イングランド王ヘンリー7世の長女で、スコットランド王ジェームズ4世と結婚した
- 1541年10月18日-09:00|日本|兵庫県川西市|天文10年9月29日|<一庫城の戦い(摂津国)>伊丹親興(伊丹城主)や三宅国村(三宅城主)、木沢長政が一庫城救援に向かい、その動きを察知した三好軍は一庫城の攻囲を解き、越水城に退却
- 1541年10月19日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文10年10月|扇谷上杉朝定、河越城を攻めるが失敗
- 1541年10月20日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|天文10年10月2日|<第四次越水城の戦い>越水城を攻撃した木沢軍を三好長慶が撃退し富松城も落城させた/その後富松城は三好長慶派が占拠
- 1541年10月30日 00:00|モロッコ| |||アザモールはモロッコに再編入
- 1541年11月-01:00|イタリア| |||ミラン公「フランシスコ」が「最後の審判」を完成
- 1541年11月1日-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペインの「イラウ」艦隊がフィリピンに向けメキシコを出航
- 1541年11月16日-09:00|日本|京都府京都市|天文10年10月29日|山城・木沢長政(山城南半国・河内北半国守護代)、京に迫り、細川晴元岩倉に退く
- 1541年11月18日-09:00|日本|熊本県上益城郡御船町|天文10年11月|<木倉原の戦い(肥後国)>肥後・甲斐親直(宗運)、阿蘇惟豊に背いた御船行房を討つ。その後御船城に入る

1550迄 (2430件)

- 1541年11月23日-09:00|日本|高知県|天文10年11月6日|<死去>土佐幡多郡領主(中村城)「一条房冬」病死⇒子の「一条房基」が継ぐ(天文18年4月12日(15490509)自害)
- 1541年11月30日-09:00|日本|島根県安来市|天文10年11月13日|<死去>前出雲・石見・隠岐・伯耆・備後国主「尼子経久」月山富田城で(84歳)。家督は孫の晴久が相続
- 1541年12月2日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文10年11月15日|戸田三郎右衛門尉宣成、大崎八幡社(豊橋市大崎町)建立
- 1541年12月5日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天文10年11月18日|<建立>報恩寺[本宮東触]の木造十一面観世音菩薩坐像
- 1541年12月17日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文10年11月30日|<死去>三河国龍海院開山模外惟俊
- 1541年12月20日 01:00|カボベルデ/ポルトガル ||<就任>カボベルデ 諸島のコレヒトル/治安判事「ペドロ・モニス」(~15441213)
- 1541年12月25日-01:00|イタリア ||ローマのシステイネ礼拝堂にあるミランゴエロ作の壁画『最後の審判』が公開される
- 1541年12月27日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|天文10年12月10日|島津豊州家・北郷・本田・肝付・禰寝・蒲生・伊地知・廻・敷根・上井・入来院・東郷・祁答院の13家、連合して生別府城榊山幸久を攻める
- 1542年-05:30|インド ||<死去>ヒンドール王国シャー「Amir Barid1世」
- 1542年-05:30|インド ||<即位>ウジヤナガル王国(トゥルウ朝)国王「ウエンカ1世」(~同年)⇒「サターウアラヤ」(~1569年)
- 1542年-05:30|インド ||<即位>ヒンドール王国シャー「Ali Barid Shah1世」(~1580年死去)
- 1542年-05:30|インド ||<即位>マルワー・スルタン朝スルタン「Shuja' at Khan」(~1555年)
- 1542年-05:30|インド ||この頃、アデイル・シャー朝とニザム・シャー朝が同盟を締結
- 1542年-03:00|ペラルシ ||<即位>スルツ公「シモナス・オレルカイトス」(~1560年)
- 1542年-02:00|ギリシャ/イタリア ||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「マッテオ・バルバリコ」(~1544年)
- 1542年-01:00|ドイツ ||<就任>テューリンゲン方伯「ヨハン・エルスト」ザクセン・コフブルク公(~1553年)
- 1542年-01:00|リヒテンシュタイン ||<就任>ファトウツ執行官「カスパー・フォン・ウルム」(~1543年)
- 1542年-01:00|フランス ||<就任>モンペリアル伯「クリストフ・ウルビ」の息子(~1550年)
- 1542年-01:00|スイス ||ハースェルでラテン語訳の「コラン」が出版
- 1542年-01:00|ドイツ ||フックスが「植物誌」を刊
- 1542年 00:00|アイスランド/デンマーク ||<就任>アイスランド 支配者「オッター・フグイェ・ティル・ヒンデラフ」(1回目~1547年)
- 1542年 06:00|ホンジュラス/スペイン ||<就任>コマヤグア県総督「フランシスコ・デ・モンテ・イ・アルバレス」(2回目~1544年)
- 1542年 06:00|ニカラガア ||ヌエバセゴビアに金鉱発見
- 1542年 07:00|メキシコ ||フランス・モンテホ、ユカタン州の制圧に成功/リタ市を建設
- 1542年1月-04:00|ロシア ||<就任>全ロシア貴族議会上級ボヤール「イワン・ウァシリエフ」イチ・シュイスキー王子(2回目~5.14)
- 1542年1月2日 04:30|ネーデルラント/スペイン ||<就任>スペイン領ネーデルラント総督代理「Diego de Boisa」(~1543.1)
- 1542年1月10日-09:00|日本|新潟県|天文10年12月24日|<死去>前越後国主「長尾為景」(58歳)
- 1542年1月16日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天文11年|遠州森平城主久貝市右衛門正勝、萩間村大興寺8世是等和尚を中興開山に龍牀山白泉寺再興
- 1542年1月16日-09:00|日本|静岡県袋井市|天文11年|雪庭柏和尚、曹洞宗医光山心宗院(浅羽町諸井)開創
- 1542年1月16日-09:00|日本|長崎県対馬市|天文11年|<任命>対馬国守護「宗晴康」対馬国主(~天文22(1552)年隠居)
- 1542年1月16日-09:00|日本|長野県|天文11年|<交替>信濃木曾谷領主「木曾義在」隠居⇒子の「木曾義康」(~永禄4(1561)年隠居)
- 1542年1月16日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天文11年|佐渡の鶴子銀山発見される
- 1542年1月16日-09:00|日本|香川県さぬき市|天文11年1月|寒川氏、阿波屋形や三好氏とともに、安富氏の拠る雨滝城を攻める
- 1542年1月16日-09:00|日本|静岡県焼津市|天文11年1月|正受山盤石寺(焼津市中島)5世現龍和尚、飯田山竜雲庵(焼津市飯淵)を開山
- 1542年1月21日-09:00|日本|滋賀県|天文11年1月6日|<死去>近江小谷領主「浅井亮政」⇒子の「浅井久政」が継ぐ(~永禄3(1560)年隠居)
- 1542年2月-01:00|ハンガリー/トルコ ||<就任>ブダペストのペイルヴェイ「キチクハリー・パシヤ」(~1543年5月)
- 1542年2月 07:00|メキシコ ||副王マドサ自らの出陣でシユトンの反乱をいったん鎮圧
- 1542年2月13日 00:00|イギリス ||キャサリン・ハートが、公権喪失法(結婚前の愛人との関係)によって処刑される(誕生:1520)ヘンリー8世の第5の妃
- 1542年2月13日-09:00|日本|愛知県田原市|天文11年1月29日|<田原城の戦い>駿河井伊谷城主井伊直宗が駿河軍の三河田原城攻撃戦に参加し戦死
- 1542年2月15日-09:00|日本|鹿児島県鹿屋市|天文11年2月1日|肝付兼続が百引城(西原城)を落とす
- 1542年2月15日-09:00|日本|京都府京都市|天文11年2月1日|六角軍、高島長直(細川晴元部将)と交戦し下京を焼失させる
- 1542年2月16日-09:00|日本|熊本県宇土市|天文11年2月2日|宇土城および段原(現宇土本町)が焼失
- 1542年3月4日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文11年2月18日|三河国普門寺の本尊観音像と大黒天像が造立される
- 1542年3月11日 03:00|アルゼンチン/スペイン ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「アルバル・ヌニェス・カベサデ・ウァカ」(~15440426)
- 1542年3月11日 04:00|パラグアイ/スペイン ||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督「アルヴァ・ヌニェス・カベサデ・バカ」(~15440426)

1550迄 (2430件)

- 1542年3月17日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|天文11年3月|大隅・島津忠広、日向から肝属兼継属領・蓬原を攻めるが退く
- 1542年3月17日-09:00|日本|兵庫県朝来市|天文11年3月|(上旬)但馬の生野銀山で但馬の守護山名祐豊が採掘を始めた
- 1542年3月24日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|天文11年3月8日|河内南半国守護代(高屋城)遊佐長教、かつて廃立した前守護畠山植長(現守護政国の兄)を擁立するため、木沢長政方の守護畠井政国配下斎藤山城父子、暗殺
- 1542年3月25日-09:00|日本|大阪府|天文11年3月9日|<交替>河内半国守護「畠山政国」「畠山在氏」更迭⇒河内国守護「畠山植長」就任(〜天文14(1545)年3月死去)
- 1542年3月25日-09:00|日本|長野県諏訪郡富士見町|天文11年3月9日|<瀬沢の戦い(信濃国)>信濃・武田晴信、小笠原・諏方・村上・木曾の連合軍を信濃瀬沢で破る
- 1542年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ホ・リノ・ル・ルテ・イニ」「クリストファロ・デ・イ・マリノ・ジ・ヤンギ」
- 1542年4月2日-09:00|日本|大阪府柏原市|天文11年3月17日|<太平寺の戦い(河内国)>河内飯盛城を出て高野街道を南下し高屋城へ向かった木沢長政軍、太平寺で三好長慶・畠山植長ら晴元方と遭遇、大敗北。木沢政長、討死/河内一國は半国守護制が廃され、紀伊守護畠山植長が兼帯することになる
- 1542年4月2日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|天文11年3月17日|信貴山城が焼失
- 1542年4月3日-09:00|日本|大阪府四条畷市|天文11年3月18日|三好長慶が榎並(河内国)に入り放火/また飯盛山麓にて畠山勢と戦い勝利
- 1542年4月8日-09:00|日本|鹿児島県西之表市|天文11年3月23日|種子島時堯、禰寝家の助力を得て、父の恵時を攻めるも敗退
- 1542年4月11日-09:00|日本|京都府京都市|天文11年3月26日|<就任>関白「鷹司忠冬」(〜天文14(1545)年6月2日)
- 1542年4月13日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文11年3月28日|大隅・島津忠良・貴久、加治木城(島津実久)を攻撃
- 1542年4月13日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|天文11年3月28日|北原祐兼、溝辺玉利壘を攻める/大隅守護代本田董親と戦い、上野広原で敗北
- 1542年5月4日-09:00|日本|長野県南佐久郡南牧村|天文11年閏3月20日|武田晴信、小笠原長時を信濃平沢で破る
- 1542年5月6日-05:30|インド/スペイン| |||インドに聖フランシスコ・ザビエル(1506年生〜1552年没)が到着し、ローマ・カトリックの伝道所を設立
- 1542年5月8日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「マルティム・アフォンソ・デ・ス・ザ」(〜15450912)
- 1542年5月14日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア貴族議会上級ボヤール「アントン・レイ・ミハイロウ・イチ・シュイスキー王子」(〜15431230死去)
- 1542年5月14日-09:00|日本|島根県|天文11年閏3月30日|出雲・大内義隆、石見から出雲に侵攻し尼子晴久を攻撃
- 1542年5月17日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督「アロンソ・デ・マルドナド」(2回目〜15430916)
- 1542年5月18日-08:00|フィリピン/スペイン| |||スペインのガブリエル・ス探検隊が、フェリペ皇太子にちなんで「フィリピン諸島」と命名
- 1542年5月22日-09:00|日本| |||天文11年4月8日|幕府、撰銭令発布/永楽銭などの撰銭が禁止
- 1542年5月22日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天文11年4月8日|室町第が竣工。足利義晴、相国寺より移徙
- 1542年6月-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「コンミン」(〜1545年9月)
- 1542年6月7日-09:00|日本|長野県諏訪郡|天文11年4月24日|武田晴信が諏訪郡侵攻開始
- 1542年6月13日-09:00|日本|岐阜県山県市|天文11年5月1日|<追放>美濃国守護「土岐頼芸」守護代斎藤道三・日根野弘就に大桑城を追われ、尾張に信秀を頼る(〜天文15(1546)年9月復帰)
- 1542年7月-01:00|フランス/オランダ| |||フランス王フランソワ1世がネーデルラントに侵入
- 1542年7月1日-01:00|フランス| |||フランス、新教関係書物の出版禁止勅令
- 1542年7月2日-09:00|日本|福島県須賀川市|天文11年5月20日|<死去>陸奥須賀川「二階堂晴行」⇒嫡男の「二階堂照行」が継ぐ(〜永禄7年9月18日(15641022)死去)
- 1542年7月10日-01:00|フランス/オーストリア| |||フランス王フランソワ1世、「リニ・アン・ヴァロワの勅状」で、神聖ローマ皇帝カール5世に宣戦布告
- 1542年7月12日-01:00|フランス/スペイン/ルクセンブルグ| |||王太子アンリ(2世)、4万でスペインとの国境ルジヨン地方を攻撃/王太子弟カルマン公シャルル、3万でルクセンブルグ方面を攻撃/他の3軍、フランドルとブラバントとヒュゼントを攻撃
- 1542年7月13日-09:00|日本|岩手県奥州市|天文11年6月|陸奥/葛西高信、江刺重見を攻める
- 1542年7月13日-09:00|日本|福島県|天文11年6月|陸奥/蘆名盛氏、山内舜通を破る/横田崩れ
- 1542年7月13日-08:00|中国/モンゴル| |||明・嘉靖21年6月|アルタン率いるモンゴル軍が山西に侵入、20万人殺害し家畜200万頭を略奪
- 1542年7月19日-09:00|日本|島根県飯石郡飯南町|天文11年6月7日|<赤穴城の戦い>大内方の熊谷直統は神戸川の堰を決壊させ、手勢三百を引きつれ民家に火を放ちながら赤穴城下に現れたが、赤穴光清・田中三郎左衛門・吾郷大炊介らの反撃により討ち取られた。大内軍四万に対し赤穴軍はわずか二千だったが、その後も、地の利を得た巧みな戦術と勇猛な戦いぶりによって悉くこれを退けた
- 1542年7月21日-01:00|バチカン| |||教皇パウル3世がローマに宗教裁判所を設置
- 1542年7月21日-01:00|バチカン| |||ローマ教皇パウル3世(74)が、異端者を取締る中央機関として検者聖省を設置
- 1542年7月30日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文11年6月18日|北郷忠相、北原氏領志和地城を攻める
- 1542年8月1日-09:00|日本|福島県伊達郡桑折町|天文11年6月20日|<天文の乱(陸奥国、出羽国)>伊達晴宗は父植宗を居城・西山城に幽閉/晴宗は実元の上杉家養子入りを中止し、植宗に加勢しようとする中条藤資を牽制した
- 1542年8月12日-09:00|日本|長野県茅野市|天文11年7月2日|<上原城の戦い>上諏訪に攻め込んだ甲斐守護武田晴信・高遠頼継に、兵力的余裕の無い諏訪頼重は居城の上原城を自ら焼き捨てて支城である桑原城へ後退

1550迄 (2430件)

- 1542年8月13日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文11年7月3日|<桑原城の戦い(信濃国)>武田・高遠連合軍は頼重を追い桑原城を包圍攻撃、追い詰められた諏訪軍は窮鼠猫を噛むかの如く抗戦し、折からの悪天候もあって城攻めは失敗/晴信は包圍を解いて後退するが、これによりそれまで士気盛んだった諏訪兵の逃亡が始まる
- 1542年8月14日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文11年7月4日|<桑原城の戦い(信濃国)>武田晴信、桑原城を攻略
- 1542年8月14日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文11年7月4日|<失領>信濃諏訪領主「諏訪頼重」武田晴信に降伏
- 1542年8月14日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文11年7月4日|北郷忠相、志和地城を攻め、三口で合戦
- 1542年8月24日 03:00|ブラジル| ||スペインの探検家フアン・オレリャーナが、ヨーロッパ人として初めてアンデス山中からアマゾン河を下って河口に致る
- 1542年8月31日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文11年7月21日|<死去>諏訪氏第19代当主「諏訪頼重」(27歳)武田氏との戦いに敗れ、弟の頼高と共に自刃させられた
- 1542年9月1日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| ||<就任>フランス領ルクセンブルグ総督「クロード・ド・ロレーヌ」(~10日)
- 1542年9月1日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| ||ルクセンブルグをフランスが占領(~10日)
- 1542年9月6日-09:00|日本|島根県飯石郡飯南町|天文11年7月27日|<赤穴城の戦い>大内義隆は陶隆房・吉川興経らを中心に総攻撃を命じ、老臣吾郷大炊介・松原采女らはわずかな手勢で奮戦し、虎口まで迫った大内方を押し戻したが、城主赤穴光清は流れ矢のため討死。赤穴軍は、このことを大内方に伏せたまま虚偽の降伏の書を送り、再起を図るためその日のうち闇夜に紛れて赤穴城を後にした
- 1542年9月10日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天文11年8月|正受山盤石寺(大井川町中島)6世建国晃立、宝積山大智寺(吉田町大幡)開山
- 1542年9月10日-09:00|日本|島根県大田市|天文11年8月|<天文11年石見銀山大山津波>暴風雨が中国地方を襲った/豪雨が直接的な原因で、銀峯山一帯に水を多く含んだ土砂崩れ(山津波)が起き、谷間の鉾山街は泥と土砂で埋まり、犠牲者は1300人を数えた
- 1542年9月10日-09:00|日本|福島県伊達郡国見町|天文11年8月|<天文の乱(陸奥国、出羽国)>伊達植宗は側近・小梁川宗朝によって救出されて石母田城へ移る
- 1542年9月10日-09:00|日本|山梨県|天文11年8月|<天文11年甲州釜無川大水害>甲斐国で大雨が降り、富士川の上流、釜無川が大洪水を起こして人畜の被害数え切れない大災害となった
- 1542年9月11日-09:00|日本|宮崎県|天文11年8月2日|北郷忠相、北原氏領木野・牛谷・楠牟禮へ出兵、北原軍と会戦
- 1542年9月16日 05:00|ベルギー/スペイン| ||<死去>スペイン総督「デ・イエゴ・デ・アルマガロ2世エル・モリ」
- 1542年9月16日 05:00|ベルギー/スペイン| ||<就任>スペイン総督「クリストバル・パカ・デ・カストロ」(~15440517)
- 1542年9月16日 05:00|ベルギー| ||パナマでピコ派と合流したカストロ総督軍、アルマガロ軍を追撃。アマゾン近郊ラス・チュパシにおいてこれを壊滅
- 1542年9月19日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文11年8月10日|<第一次小豆坂の戦い(三河国)>今川義元は西三河から織田氏の勢力を駆逐すべく大兵を率いて生田原に軍を進め、一方の織田信秀もこれに対して安祥城を築し矢作川を渡って対岸の上和田に布陣、両軍は岡崎城東南の小豆坂において激突。織田方の小豆坂七本槍をはじめとした将士の奮戦によって織田軍の勝利
- 1542年9月29日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文11年8月20日|北原氏、三俣高城の北郷氏を攻める/伊東氏も援軍を送るが、北原氏が敗北したため退却
- 1542年10月 00:00|イギリス| ||イングランド・スコットランド戦争が始まる
- 1542年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「カル・ジャリニ」「マリノ・ガブリエリ」
- 1542年10月2日-01:00|イタリア/トルコ| ||ベネチア、トルコと和平
- 1542年10月2日-09:00|日本|岐阜県山県市|天文11年8月23日|<解任>美濃国守護「土岐頼芸」守護代斎藤道三が急襲し大桑城に破る/土岐頼芸は尾張織田信秀を頼る
- 1542年10月15日 00:00|イギリス| ||<死去>初代サマリア伯「ウィリアム・フィッツウィリアム」
- 1542年10月18日-09:00|日本|長野県茅野市|天文11年9月10日|高遠頼継は宮川より西の諏訪郡しか手に入れられなかった事に不満を抱き、武田領に電撃的に侵攻して上原城を攻め落とし、さらに諏訪上社の矢島満清、有賀遠江守、伊那郡箕輪の福与城主・藤沢頼親や土豪の春近衆を味方につけた
- 1542年10月19日-09:00|日本|長野県茅野市|天文11年9月11日|武田晴信、板垣信方2千を先手派遣。上原城奪回
- 1542年10月24日-09:00|日本|愛知県北設楽郡東栄町|天文11年9月16日|別所城主伊藤左京亮貞久、諏訪社を宮平より本郷に移し再建
- 1542年11月1日-08:00|フィリピン/スペイン| ||スペインのルイス・デ・ビジャマル大尉によってフィリピン島と名付けられ再領有宣言
- 1542年11月2日-09:00|日本|長野県茅野市|天文11年9月25日|<宮川の戦い(信濃国)>信濃・武田晴信、諏訪宮川橋で諏訪頼継を破る
- 1542年11月5日-09:00|日本|長野県上伊那郡箕輪町|天文11年9月28日|<福与城の戦い(信濃国)>武田方の駒井高白齋が上伊那に侵攻し福与城攻撃。城主藤沢頼親が降伏
- 1542年11月6日-09:00|日本|長野県上伊那郡|天文11年9月29日|板垣信方、上伊那郡に侵攻し伊那衆と衝突、勝利
- 1542年11月7日-09:00|日本|山形県長井市|天文11年10月|最上義守は天文の乱が発生すると伊達領に出兵して長井を制圧し独立
- 1542年11月7日-08:00|中国| ||明・嘉靖21年10月|明の宮中の女官が睡眠中の世宗嘉靖帝の暗殺をはかり、未遂(宮婢の変)
- 1542年11月7日-09:00|日本|長野県茅野市|天文11年10月1日|池坊専応「口伝書」を著す
- 1542年11月12日-01:00|ハンガリー/オーストリア| ||<就任>ハンガリー王室総督代行「タマス・パロナダスティ・ナダスティ・エス・フカラスフェルディ」(~26日)

1550迄 (2430件)

- 1542年11月13日-09:00|日本|長野県諏訪郡|天文11年10月7日|諏訪西方衆が、武田に降伏/武田晴信、諏訪を手に入れる
- 1542年11月20日 05:00|ペル/スペイン| |||カロス一世、ペルに副王庁設置. 第一代副王にブラスコ・ヌエス・デ・ペラを任命
- 1542年11月22日-01:00|スペイン| |||スペインで、インディアも国王の自由な臣民であるというインディア新法が可決される /しかし死文と化すことになる
- 1542年11月24日 00:00|イギリス| |||ヘンリー8世が、ソルウェー・モスの戦いでスコットランド軍を破ってスコットランドのイギリスへの帰属を一方的に宣言
- 1542年11月26日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督代行「フェレンツ・ラヴァイシュクヴィナイ・エズ・ブラトニツァイ」(1回目~12.30)
- 1542年11月27日 00:00|イギリス| |||<死去>8代クロフォート伯「デヴィッド・リンズー」
- 1542年11月27日 00:00|イギリス| |||<死去>初代セックス伯「ロバート・ラドクリフ」
- 1542年11月27日 00:00|イギリス| |||<就任>9代クロフォート伯「デヴィッド・リンズー」(~15580920死去)
- 1542年11月27日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代セックス伯「ヘンリー・ラドクリフ」(~15570217死去)
- 1542年11月28日-09:00|日本|長野県茅野市|天文11年10月22日|村上義清・小笠原長時軍が武田信玄に大門峠で敗れる
- 1542年11月30日 00:00|イギリス| |||国王ジェームズ5世、エジンバラに退却、そのまま病床につく
- 1542年12月14日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「ジェームズ5世」30歳(誕生15120410)
- 1542年12月14日 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「メアリー1世(フランス王妃)」ジェームズ5世とメアリー・オブ・キーズの娘. 母后メアリーを摂政として(~15670726死去44歳刑死)
- 1542年12月21日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|天文11年11月15日|地頭天野安芸守景泰・代官四良次郎・大工百古里次郎三郎・大工大上六郎大夫・大檀那田畔右馬尉・石内伊賀、西宮宝殿(浜松市天竜区)造立
- 1542年12月30日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督「ハルヴァルト・イェスヴァルト」(~15491012没)
- 1543年-08:00|フィリピン| |||<死去>マキータナ王国スルタン「Sharif Muhammad Kabungsuwan」
- 1543年-08:00|インドネシア| |||<即位>スタガラ王国マハラジャ「Ratu Sakti」(~1551年)
- 1543年-08:00|フィリピン| |||<即位>マキータナ王国スルタン「Sharief Maka-alang」(~1574年)
- 1543年-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王国マンラーイ朝国王「ケートクワオ」(2回目~1545年)
- 1543年-05:30|インド| |||<死去>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「スルタン・クレー・クトゥブ・シャー」
- 1543年-05:30|インド| |||<即位>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「ジャムシード・クレー・クトゥブ・シャー」(~15500122死去)
- 1543年-05:30|インド| |||<即位>パントンヤ朝君主「Parakrama Kulasekara Pandyan」(~1552年)
- 1543年-03:30|イラン| |||<死去>パダスハニド朝(Kojur)君主「Ka'us3世」殺される
- 1543年-03:30|イラン| |||<即位>パダスハニド朝(Kojur)君主「Kayumarth3世」(~1555年死去)
- 1543年-03:30|イラン| |||<即位>ホルムズ・シャー「ファール・アッデイン・トゥラン・シャー5世」(~1564年)
- 1543年-03:00|エチオピア| |||エチオピアがポルトガルの支援をえてイスラム支配から解放
- 1543年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ヒリハ・シャ」(1期目~1545年)
- 1543年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ハラフ(アレppo)サンジャクベイ「ムスタファ・ハ」(~1545年)
- 1543年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ゾファラ・キャプテン「ホルヘ・テロ」(~1548年)
- 1543年-02:00|ルワンダ| |||<即位>ルワンダ王国ムワミ「ムタリ1世」(~1576年)
- 1543年-01:00|オランダ| |||<解任>ゲルテルン公「ウィルヘルム2世(ウィレム2世)」公領は神聖ローマ皇帝カール5世のものとなり、ハラフ家の所領となった
- 1543年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「アフォンソ1世ベニハ・ア・ンジンカ」
- 1543年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのベイルベイ代行「ハジ・ベシル・パシャ」(~1544年)
- 1543年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリラ総督「Hernando de Jerez」(~1546年)
- 1543年-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルテンツ伯「Rupert」(~15440728死去)
- 1543年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「ハト・ロ1世カンガ・ア・ムベンバ」(~1545年廃位)
- 1543年-01:00|チュニジア/アルジェリア| |||<即位>ハフス朝アミール「アフマド3世」(~1569年)
- 1543年-01:00|アルジェリア| |||<退位>ザイヤーン朝スルタン「アフ・ザイヤーン2世」サアド朝支配(~1544年)
- 1543年-01:00|アルジェリア/スペイン| |||スペインによるトリムセンの占領(~1550年)
- 1543年-01:00|フランス| |||フランス1世がパリでの印刷機の禁止を勅令
- 1543年 00:00|フェロ諸島| |||<死去>フェロ諸島首席大臣「Anders Guttormsen」
- 1543年 00:00|イギリス| |||<就任>エセックス伯「ウィリアム・ハ」(~1553年剥奪)
- 1543年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Alonso del Corral」(~1546年)
- 1543年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Jeronimo Alvarez de Sotomayor」(~1546年)
- 1543年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ジョアン・ゴメス・オ・ソウロ」
- 1543年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「ロドリゲス・コウチニョ」(~1545年)
- 1543年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ペドロ・ラミレス・デ・キニョネス」(1回目~1544年)
- 1543年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カルタゴ総督「デイエコ・デ・グティエレス・イトレト」(~1544年12月没)
- 1543年 06:00|コスタリカ/グアテマラ/スペイン| |||ヌエバ・カルタゴ県がニカラガから分離. グアテマラ植民地王国の一部(ヌエバ・イスパニア[メキシコ]に従属⇒1565年からコスタリカ)
- 1543年1月-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・バン「ニコラ・シビッチ・スリンスキ」(~15570307)

1550迄 (2430件)

- 1543年1月 04:30|^ハネ^スイ^ラス^パイン| |||<就任>ス^パイン領^ハネ^スイ^ラス総督代理「Enrique Rembolt」(~1544.9死去)
- 1543年1月4日-01:00|イ^タリ^ア| |||<就任>ジ^ェノ^ヴァ共和国ト^ージ^ェ「アント^レ・セント^カリオ[・]ネ[・]ピ^エトラ^ンタ」(~15450104)
- 1543年1月10日 00:00|イ^ギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「セント^{アント}・リュ^ス大司教^テ・ウ^ィット[・]ビ^ートン枢機卿」(1期目~1543.1末)
- 1543年1月18日-09:00|日本|大阪府堺市|天文11年12月13日|細川氏綱(細川高国の従兄弟(高国弟の子)尹賢の子)、高国の相続者として名乗り、高国の旧被官を集め、堺で挙兵
- 1543年1月21日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文11年12月16日|北郷忠相、北原氏領野々美谷城を攻め落とす/鳥越の伊東陣も退散
- 1543年1月25日-09:00|日本|栃木県大田原市|天文11年12月20日|大田原資清が黒羽城大関増次と石井沢で戦い倒し自分の子を大関高増と名乗らせ跡を継がせた
- 1543年1月29日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文11年12月24日|織田信秀、三河上野城攻め、内藤弥次右衛門清長・甥内藤四郎左衛門正成16歳防戦し敵を数10人射殺す
- 1543年1月31日 00:00|イ^ギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「ク^ラスコ^ー大司教^キャ^ウ・イン[・]ダン^バー」(2期目~9.18)
- 1543年2月4日-09:00|日本| ||天文12年|<死去>池坊専応(62歳)華道家
- 1543年2月4日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文12年|酒井忠尚、高林寺(豊田市堤)開基
- 1543年2月4日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文12年|妙心寺霊雲院方丈・書院建立
- 1543年2月4日-09:00|日本|静岡県焼津市|天文12年|伊東豊太郎、一族の菩提を弔うため笑山宗闇と楞嚴院(静岡市清水区今泉)4世大庵文廣と共に池口山林泉寺(焼津市八楠)建立
- 1543年2月4日-09:00|日本|富山県|天文12年|越中守護代・神保長職が神保氏を再興し、新川郡に進出して椎名氏と争う/越中大乱
- 1543年2月4日-09:00|日本|富山県富山市|天文12年|水越勝重, 富山城築城
- 1543年2月4日-09:00|日本|福岡県柳川市|天文12年|<死去>筑後柳河領主「蒲池鑑久」⇒子の「蒲池鑑盛」が継ぐ(~天正6年11月9日(15781207)死去)
- 1543年2月4日-09:00|日本|三重県伊勢市|天文12年|<交替>伊勢長野領主「長野植藤」隠居⇒子の「長野藤定」(~永禄5年5月5日(15620606)死去)
- 1543年2月4日-08:00|中国| ||明・嘉靖22年|<死去>北疆(ウイ^グリス^タン)ハ^ン「マ^スル」
- 1543年2月4日-08:00|中国| ||明・嘉靖22年|<即位>タ^ライ[・]ラマ「3世^スナム[・]キ^ャツォ」(~1588年)
- 1543年2月6日-09:00|日本|山梨県甲府市|天文12年1月3日|強風により甲府城下の道鑑屋敷から出火し、躑躅ヶ崎館焼失
- 1543年2月11日-01:00|ト[・]イ^ツイ^ギリス| |||カ^ル5世とヘ^ンリ8世が、対仏同盟を結ぶ
- 1543年2月21日-03:00|イ^チビ[・]ア| |||<死去>ハ^レル[・]スル^タン国スル^タン「Imam Ahmed Gurey Ibrahim」
- 1543年2月21日-03:00|イ^チビ[・]ア| |||<即位>ハ^レル[・]スル^タン国スル^タン「Bati Delombira Mahfuz」(~1559年)
- 1543年2月27日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文12年1月24日|北郷忠相、北原氏領山田城を攻め、城主北原遠江守戦死
- 1543年3月1日-09:00|日本|大阪府大東市|天文12年1月26日|河内・細川晴元軍、飯盛城(畠山在氏)を攻略
- 1543年3月1日-09:00|日本|熊本県宇城市|天文12年1月26日|名和勢が小川に侵攻、相良勢も兵を出して交戦し高山でこれを撃退
- 1543年3月6日-09:00|日本|愛知県名古屋|天文12年2月|尾張国大高城主水野大膳亮家臣村瀬隼人ら、同国氷上社を修造遷宮
- 1543年4月1日-01:00|サ^マリ^ノ| |||<就任>サ^マリ^ノ共和国執政「ア^ント^ニオ[・]デ^ィ・ピ^エト[・]ト^ンテ^ィニ」[「]ジ^ャコ^モ・デ^ィ・ウ^ァン^ジ・エ^リス^タ・ハ^ルツ^ツイ[」]
- 1543年4月4日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文12年3月|日向・伊東義祐、鳥津忠広属城・鶴戸城を攻略
- 1543年4月8日-09:00|日本|広島県安芸郡|天文12年3月5日|本願寺浄順, 渋谷左京進より安南郡太歳原を預かり、堂舎を建立
- 1543年4月17日-09:00|日本|島根県安来市|天文12年3月14日|大内義隆が尼子晴久を富田城に攻撃
- 1543年4月21日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文12年3月18日|伊東義祐、鶴戸山烏帽子方を攻め落とす
- 1543年5月1日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文12年3月28日|伊東義祐自ら前線を視察、鶴戸山を攻撃
- 1543年5月2日-09:00|日本|山梨県甲府市|天文12年3月29日|武田晴信、光福寺(甲府市横根町)を再建
- 1543年5月3日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文12年3月30日|伊東勢、鶴戸山城を陥落
- 1543年5月4日-09:00|日本|福島県伊達郡国見町|天文12年4月|<天文の乱(陸奥国、出羽国)>伊達植宗は石母田城から娘婿・懸田俊宗の居城・懸田城へと脱出し、相馬頭胤をはじめとする縁戚関係にある諸大名に救援を求めたため、伊達氏の内紛は、一挙に奥羽諸大名を巻き込む大乱になった
- 1543年5月6日-09:00|日本| ||天文12年4月3日|死去>吉田重賢(81歳)武将、弓術家
- 1543年5月15日-09:00|日本|島根県安来市|天文12年4月12日|毛利軍, 富田城麓の塩谷口攻撃を行ったが守備は嚴重で抜くことはできず尼子方は元就を押し返した
- 1543年5月16日-01:00|ハ^ガリ[・]トル^コ| |||<就任>ブ^ダの^ベイル^ベイ「ヤ^ヒパ[・]シャ[・]テ[・]ム^ハノ^マト[・]パ[・]シャ」(~1548年8月)
- 1543年5月19日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天文12年4月16日|筒井順昭、箕川を攻め、古市本城を焼き、古市氏を傘下にお
- 1543年5月23日-01:00|ホ[・]ランド[・]| |||コ^ペル^ニクスが「天体の回転」を出版/地動説を発表
- 1543年5月24日-01:00|ホ[・]ランド[・]| |||<死去>ニコ^ラス[・]コ^ペル^ニクス/70歳(誕生:14730219)ホ[・]ランド[・]の天文学者で地動説を唱えた
- 1543年6月3日-09:00|日本|熊本県|天文12年5月|<交替>肥後国守護「菊池重治(義武)」解任⇒「大友義鑑」(~天文19

1550迄 (2430件)

年2月12日 (15500228) 死去)

- 1543年6月4日-01:00|サンマリノ | ||教皇ユリウス3世の甥ファビアーノ・デル・モンテ・デ・イモンテ・サン・サヴァーノ (1580年没) が夜にサンマリノを奪取しようとしたが失敗
- 1543年6月9日-09:00|日本|島根県|天文12年5月7日|吉川興久、三刀屋久祐らが尼子晴久に寝返ったため、大内義隆が出雲から撤退
- 1543年6月9日-09:00|日本|山口県|天文12年5月7日|<死去>周防山口国主「大内晴持」(20歳)出雲からの退却中、船の転覆により溺死
- 1543年6月10日-09:00|日本|熊本県下益城郡美里町|天文12年5月8日|肥後阿蘇荘領主「阿蘇惟豊」が堅志田城を落として惟前を敗走させ30年に及んだ阿蘇氏の分裂に事実上の終止符を打った
- 1543年6月13日-09:00|日本|宮崎県都城市|天文12年5月11日|北郷忠相・忠親、志和地城を攻め落とす
- 1543年6月18日-09:00|日本| ||天文12年5月16日|濃州可鼻郡上任戸右衛門・金谷村人形九郎治朗、富士山頂上剣が峰に大日如来を奉納
- 1543年6月22日-01:00|フランス/イギリス | ||ヘンリー8世が、神聖ローマ皇帝軍と共同してフランドルへ出撃
- 1543年7月 05:00|コロンビア/スペイン | ||<就任>ヌエバ・グラタ総督「アロンソ・ルイス・フェルナンデス・デ・ルゴ」(~1544年12月)
- 1543年7月1日 00:00|アイルランド/イギリス | ||トモント王はイングランド王ヘンリー8世に服従しトモント伯爵となる
- 1543年7月2日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文12年6月|<三木城の戦い>松平広忠が、三木城松平蔵人信孝(後見役)と死んだ弟、十郎康孝の所領没収。信孝は織田信秀に属し太田砦に入り安城防衛
- 1543年7月2日-09:00|日本|広島県三原市|天文12年6月|山名理興は、沼田小早川領の棕梨(現・広島県三原市)へ兵を進めたが、救援として出陣した毛利軍が山名軍の侵攻を阻止
- 1543年7月2日-09:00|日本|福島県いわき市|天文12年6月|佐竹義篤、伊達晴宗を援助し、陸奥久保田で相馬顕胤と戦い敗れる
- 1543年7月12日 00:00|イギリス | ||ヘンリー8世が、キャサリン・パーと結婚
- 1543年7月27日-09:00|日本|長野県茅野市|天文12年6月26日|武田晴信、上原城の主殿・門・木戸の建設完了を検分
- 1543年8月-01:00|ベルギー | ||ベルギーのヴェザリアスが「人体構造論」を刊
- 1543年8月1日-01:00|ドイツ | ||<死去>ザクセン＝ラウエンブルク公「マクシミリス1世」
- 1543年8月1日-01:00|ドイツ | ||<即位>ザクセン＝ラウエンブルク公「フランツ1世」(~15810319死去)
- 1543年8月1日-09:00|日本|千葉県木更津市|天文12年7月|北条軍、武田属城・上総笹子城(鶴見信仲)を攻略
- 1543年8月1日-09:00|日本|広島県|天文12年7月|山名理興、安芸に侵入するが退く
- 1543年8月1日-09:00|日本|福島県大沼郡金山町|天文12年7月|横田崩れ/蘆名盛舜・盛氏父子が陸奥会津の山内氏の横田中丸城を攻撃するが退却
- 1543年8月1日-09:00|日本|宮城県|天文12年7月|伊達植宗、大崎義宣・葛西晴胤に命じ、陸奥刈田・柴田郡を攻略
- 1543年8月5日-01:00|フランス/トルコ | ||フランス軍、オスマン艦隊の援助を受けて、フランス南東部のニースを占領
- 1543年8月10日-09:00|日本|高知県高岡郡中土佐町|天文12年7月10日|土佐・一条軍、高岡郡大野見で津野軍と戦う
- 1543年8月10日-09:00|日本|奈良県磯城郡田原本町|天文12年7月10日|越智氏が筒井順昭方の万歳氏を細井戸に攻めたため、順昭が越智氏討伐へ動くが稲長の仲介により兵を収める/再び筒井・越智両氏の抗争が始まる
- 1543年8月12日-09:00|日本|愛知県刈谷市|天文12年7月12日|<死去>三河国刈谷城主「水野忠政」(51歳)
- 1543年8月14日-09:00|日本|島根県大田市|天文12年7月14日|尼子晴久は大内氏から石見銀山を再度奪い、隣接する山吹城(石見小笠原氏の刺賀長信)と共同で管理する
- 1543年8月18日-02:00|キプロス/イタリア | ||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ルイジ・デ・イ・バルパルゲ・イノ・リーヴァ」(~15450923)
- 1543年8月21日-09:00|日本|大阪府和泉市|天文12年7月21日|細川典厩家氏綱が細川高国継承権を要求して、榎尾山施福寺(和泉市)で挙兵(支援者:弟細川藤賢、細川勝国、細川上野玄蕃頭家国慶、細川遠州家高益、遊佐長教、根来寺)
- 1543年8月25日-09:00|日本|大阪府堺市|天文12年7月25日|上野源五郎(細川氏綱方)、香西元成(細川晴元方)と和泉堺で戦い敗れる
- 1543年8月30日-09:00|日本|広島県|天文12年8月|大内義隆、尼子方に降った吉川興経の安芸所領を毛利元就に与える
- 1543年8月30日-09:00|日本|広島県三次市|天文12年8月|広沢豊実、大檀那として、三谿郡三若帰海寺の木造薬師如来坐像を造立
- 1543年9月2日-05:30|インド | ||<即位>コロンタ王国スルタン「ジャムシード・クリー・クトゥブ・シャー」(~15500122死去)
- 1543年9月12日-01:00|オランダ | ||<就任>ケルメルン公「カール3世」兼ストフェン伯「カール2世」(~15551025)
- 1543年9月12日-01:00|ルクセンブルク/フランス | ||<就任>フランス領ルクセンブルク総督「フランソワ・ダンク・ルール」(~1544年没)
- 1543年9月12日-01:00|ルクセンブルク/フランス | ||ルクセンブルクをフランスが占領(~15440806)
- 1543年9月14日-09:00|日本|大阪府堺市|天文12年8月16日|三好範長(長慶)、細川氏綱を和泉で破る
- 1543年9月16日 06:00|グアテマラ/スペイン | ||<就任>グアテマラ内大審問院院長「アロンソ・デ・マルト・ナド」(~15480526)
- 1543年9月16日-09:00|日本|新潟県|天文12年8月18日|越後の国人らが長尾晴景に反乱したため、弟の景虎(上杉謙信)にこれを討たせる
- 1543年9月20日 00:00|イギリス | ||<死去>ラトランド伯「トマス・マナーズ」
- 1543年9月20日 00:00|イギリス | ||<就任>ラトランド伯「ヘンリー・マナーズ」先代の長男(~15630917死去)
- 1543年9月23日-09:00|日本|ポルトガル|鹿児島県西之表市|天文12年8月25日|種子島西村小浦にポルトガル船漂着/島主種子島時堯は、乗組員から二挺の鉄砲を買い上げ、火薬の調合を家臣に学ばせた/鉄砲伝来
- 1543年9月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文12年8月27日|松平広忠が三河三木城を攻略、城主松平信孝が信秀

1550迄 (2430件)

方へ走る

- 1543年9月26日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「セントアンドリュース大司教デ イグニット・ヒート枢機卿」(2期目~15460529)
- 1543年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローモ・ジャンニニ」「カルロ・デ・イ・フランチェスコ・ルナルデ・イニ」
- 1543年10月15日-09:00|日本|長野県小県郡長和町|天文12年9月17日|信濃・武田晴信、小県郡長窪城(大井貞隆)を攻略
- 1543年10月18日-09:00|日本|長野県佐久市|天文12年9月20日|武田晴信、望月城を攻め落とす/望月一族を成敗
- 1543年10月28日-09:00|日本| |||天文12年10月|太平記の注釈書「太平記賢愚抄」刊行
- 1543年12月21日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|天文12年11月25日|地頭奥山平三定茂・禰宜七郎三郎茂口・檀那四郎衛門、諏訪神社(佐久間町大井福沢)社殿造立
- 1543年12月24日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|天文12年11月28日|熊野社(佐久間町大井間庄)社殿造立. 地頭奥山平三定茂・地主次郎左兵衛・大井郷地主10人(里として西渡・大滝・和泉・平輪・瀬戸・小川・間庄・福沢・鮎釣・仙戸)
- 1543年12月26日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|天文12年12月|飯尾豊前守乗連、日礼を開山に、日蓮宗の林宝山東漸寺(浜松市成子町)開基
- 1543年12月26日-09:00|日本|長野県北佐久郡御代田町|天文12年12月|<小田井合戦>武田晴信は東信地方で8つの城を攻略したが、御代田の小田井城は小城でありながらなびく姿勢をとらず、城主小田井信親(小田井又六郎)、小田井信治(小田井又七郎)兄弟が籠る小田井城を攻める/武田氏の前衛は歴戦の将板垣信方は山本勘助とともに小田井兄弟の夜襲にしっかりと備え、夜襲を仕掛けてきた小田井兄弟を迎撃. 城内へ逃げ込んだ小田井兄弟を武田勢3000は包囲し八方から火を放ち、一角を破ると城内へ雪崩込み、小田井兄弟を討ちとり、城を制圧. 500余を討ちとった
- 1543年12月27日-01:00|ポルトガル| |||<死去>ホーレ公・フランテゾ・ルク・アンスパツァ辺境伯「ゲオルク敬虔伯」
- 1543年12月27日-01:00|ポルトガル| |||<就任>ホーレ公「ゲオルク・フリードリヒ」フランテゾ・ルク・アンスパツァ辺境伯(~1549年)
- 1543年12月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>フランテゾ・ルク・アンスパツァ辺境伯「ゲオルク・フリードリヒ」(~16030425死去)
- 1543年12月30日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア貴族議会上級ヤールト・ミトリー・フォード・ロウ・イチ・ヘルスキー王子(~1546年3月)
- 1544年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Jordao de Freitas」(~1547年)
- 1544年-08:00|台湾/ポルトガル| |||ポルトガル人により台湾島が発見され、イルハ・フォルモサ(美しい島)と名付けられた
- 1544年-05:30|インド| |||<建国>キルギスタン国
- 1544年-05:30|インド/イラン| |||ムガル皇帝フマユーンがサファヴィー朝に亡命
- 1544年-05:00|インド 洋地域/ポルトガル| |||スペインのデ・イコ・ガルシア・モゲル大尉の下でポルトガルの遠征隊が発見し、後に彼にちなんでデ・イコ・ガルシア島と名付けられた
- 1544年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「ソラク・フェルハト・パシャ」(~1545年)
- 1544年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「マルカントニオ・コンタリーニ」(~同年)⇒「アコステイノ・スリアーノ」(~1546年)
- 1544年-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<死去>フランス領ルクセンブルク総督「フランソワ・ダングル」
- 1544年-01:00|ベルギー| |||<辞任>リエージュ公「ベルジュのコレネユ」
- 1544年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのベルトルバイ代行「ハサン・パシャ」(1回目⇒1545年、ベルトルバイ~1551年9月)
- 1544年-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ツェルブスト侯「Johann5世」(~15510204死去)
- 1544年-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン・ピンネブルク伯「オットー4世」(兄「ヨハン5世」と共同統治~15761221死去)
- 1544年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファドゥーツ執行官「フランツ・アントマン」(~1552年)
- 1544年-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>フランス領ルクセンブルク総督「ヌヴェール公爵フランソワ・ド・クレウ」(~8. 6)
- 1544年-01:00|フランス| |||<就任>ブルボン公「シャルル4世(オルアン公シャルル2世)」(~15450909死去)
- 1544年-01:00|ドイツ| |||<就任>プファルツ選帝侯「Frederick2世」(~1556年)
- 1544年-01:00|リビア/マルタ| |||<就任>マルタ騎士団のトリポリタニア総督「クリストファノ・デ・ソリス・ファルファン」(~1546年)
- 1544年-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「オーストリアのジョージ」(~15570504死去)
- 1544年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレースヴィヒ公・ホルシュタイン公「アドルフ」兄クリスチャン3世およびハンスと共同統治(~15861001死去)、「ハンス老公」兄クリスチャン3世および弟アドルフと共同統治(~15801001死去)
- 1544年-01:00|アルジェリア| |||<復位>ザイヤーン朝スルターン「アフマド・ザイヤーン2世」(~1550年)
- 1544年-01:00|ドイツ| |||ケーニヒスベルク大学が創設される
- 1544年-01:00|オランダ| |||プロテスタントはオランダへ
- 1544年 00:00|イギリス| |||<死去>初代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」
- 1544年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島首席大臣「Guttorm Andersen」(~15710519死去)
- 1544年 00:00|カナリア諸島| |||<就任>フェルベントウラ島主「Gonzalo1世 Arias de Saavedra y Cabrera」(~1574. 12死去)
- 1544年 00:00|イギリス| |||<就任>マリ伯「ジョージ・ゴートン」ハントリー伯(~15621028死去)
- 1544年 00:00|モロッコ| |||<即位>サアド朝スルターン「ムハンマド・アシュ・シェイク」(~15571023死去)
- 1544年 05:00|エカートルスペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官「ペドロ・デ・フェリス・イ・ウルトラ」(1546年1月まで暫定~15470529没)
- 1544年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サントドミンゴ総督「フランシスコ・デ・ヒナ」(~1556年)
- 1544年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ペドロ・デ・カサス」(~同年)⇒「デ・イコ・デ・エレラ」(~1545年)

1550迄 (2430件)

- 1544年 05:00|コロンビア| |||フランスのユグノー教徒海賊がカルタヘナを占領・略奪
- 1544年 05:00|キューバ| |||ホアスのひきいるフランス人海賊がハバナを襲撃。撃退される
- 1544年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「コレヒト・レス」(~1552年)
- 1544年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「クリストバル・サルバゴ/ファン・デ・ウガルテ」(~1548年)
- 1544年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「デ・イエゴ・デ・エレラ」(~同年)⇒「コスタカ総督」(~1552年)
- 1544年 06:00|グアテマラ| |||インディアス新法に基づきグアテマラ総督府創設/メキシコ副王領内で自治制をとる
- 1544年 06:00|ニカラガ/コスタカ| |||ニカラガはグアテマラの一部。ヌエバ・イスパニヤ[メキシコ]に従属
- 1544年 07:00|メキシコ| |||モンテの副官がサル・パチェコ、焦土作戦と住民みな殺しにより反抗の中心、チエタル地方を制圧/パヤトリを新都と定める
- 1544年1月-05:30|インド| |||ムガル皇帝フマユーンがサファビ朝ペルシアへ亡命
- 1544年1月1日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「アロンソ・ロペス・デ・セラート」(~1549年)
- 1544年1月23日 00:00|イギリス| |||<死去>アランデル伯「ウィリアム・フィッツアラン」
- 1544年1月23日 00:00|イギリス| |||<就任>アランデル伯「ヘンリー・フィッツアラン」(~15800224死去)
- 1544年1月24日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|天文13年|龍泉院(井川)が現在の地に移される
- 1544年1月24日-09:00|日本|富山県|天文13年|越中富山領主「神保長職」常願寺川以西を併呑し越中を掌握(⇒永禄3(1560)年、越中増山に移転)
- 1544年1月24日-09:00|日本| |||天文13年1月|北条家と武田家の間で同盟が結ばれる
- 1544年2月2日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督「フネス・デ・アビラ」(~15460604)
- 1544年2月10日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ウィリアム・ブラバゾン卿」(1回目~8.11)
- 1544年2月23日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文13年2月|戸田孫四郎堯光、津田進雄社(豊橋市横須賀町)宝殿造営
- 1544年2月23日-09:00|日本|岡山県津山市|天文13年2月|尼子晴久、美作岩屋城(中村則治)を攻略
- 1544年3月2日-09:00|日本| |||天文13年2月9日|<死去>周桂(75歳)連歌師
- 1544年3月4日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天文13年2月中旬|尼子晴久、因幡に侵入し、大崎城・鹿奴城(志加野入道)を攻略
- 1544年3月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツ選帝侯「ルートヴィヒ5世」
- 1544年3月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツ選帝侯「ルートヴィヒ5世」
- 1544年3月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>プファルツ選帝侯「フリドリヒ2世」(~15560226死去)
- 1544年3月17日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文13年2月24日|伊東軍、飢肥の町を攻める
- 1544年3月24日 00:00|イギリス| |||<死去>ハンティントン伯「ジョージ・ヘイスティングス」
- 1544年3月24日 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「フランス・ヘイスティングス」(~15610620死去)
- 1544年3月24日-09:00|日本|広島県福山市|天文13年3月|<神辺合戦(備後国)>同国甲奴郡の田総に尼子軍が進出するが、成果を挙げることはできなかった
- 1544年3月24日-09:00|日本|福島県伊達郡国見町|天文13年3月|<天文の乱(陸奥国、出羽国)>伊達植宗、陸奥石母田で伊達晴宗を破る
- 1544年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ホリロルナルテ・イニ」「バルトロ・デ・イシモーネ・ベルツィ」
- 1544年4月2日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|天文13年3月10日|飛騨で内乱が起き、三木新九郎・四郎次郎が鍋山城に籠もる
- 1544年4月5日-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王国執事「モーゲンス・ジョー・ティル・クレンケル」
- 1544年4月5日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事代行「ヨハン・フリス・ティル・ヘッセルガー」(1回目~1547年)
- 1544年4月14日-01:00|イタリア/ドイツ/フランス| |||イタリア北西部のピエモンテに進んだフランス軍の「アンギャン伯」フランソワ、「セリゾールの戦い」で神聖ローマ皇帝軍に大勝
- 1544年4月22日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド 連邦大法官「トマス・オドリ卿」
- 1544年4月22日-09:00|日本|千葉県木更津市|天文13年4月|武田・里見連合軍、上総中尾城を攻略
- 1544年4月25日-09:00|韓国/日本| |||天文13年4月4日|日本人の船20余艘が朝鮮慶尚道蛇梁鎮を攻撃(甲辰の変)
- 1544年4月26日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「トミンコ・マルティネス・デ・イラ」(2回目~15561003)
- 1544年4月26日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌエバ・アンタールシア総督「トミンコ・マルティネス・デ・イラ」(2回目~1556年)
- 1544年5月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア対抗総督・領主「ライオハ・ハラフ」
- 1544年5月3日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 連邦大法官「トマス・リスリー卿」(~15470307)
- 1544年5月3日-09:00|韓国/日本| |||天文13年4月12日|蛇梁の変/倭船20艘余りが慶尚道を襲う/この事件で朝鮮が日本との通交を断絶することになる
- 1544年5月7日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文13年4月16日|有屋田久親、有屋田名鎮守宝殿を造営
- 1544年5月17日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「ブラスコ・ヌエス・ウエラ・イ・ビジャルバ」(ピカの囚人1544年9月18~24日~15460118死去)
- 1544年5月18日-09:00|日本|奈良県奈良市|天文13年4月27日|筒井順昭が東山内に残る簗川方柳生氏を小柳生城に攻める
- 1544年6月 05:00|ペルー| |||<死去>インカ帝国(スペイン傀儡)カハ・インカ「マンコ・インカ・ウァンキ」ピトコシにおいて旧アルマゴロ軍崩れのデ・イエゴ・メンデスにより暗殺
- 1544年6月14日-01:00|イタリア| |||<死去>カラリア公(ポリ王の推定相続人の称号)「アントニオ」
- 1544年6月14日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「フランソワ1世」兼カラリア公「フランチェスコ」アントニオの長男(~15450612死去)

1550迄 (2430件)

- 1544年6月20日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文13年6月|秦梨城(岡崎市)粟生将監永信、須佐之男神社を再建
- 1544年7月14日-01:00|フランス/イギリス| |||イングランド王ヘンリ8世、神聖ローマ皇帝カール5世と「同盟」し、フランス北東部のシャン・ニュに侵攻
- 1544年7月15日-01:00|オランダ| |||<就任>オラニエ(オランジュ)公「ウイレム1世」オランダ 総督(~15840710死去)
- 1544年7月25日-09:00|日本| ||天文13年7月6日|足利義晴、細川晴元と和す
- 1544年7月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>フェルディナント伯「Rupert」
- 1544年7月28日-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルディナント伯「George John1世」(~15920418死去)
- 1544年7月28日-09:00|日本| ||天文13年7月9日|<天文13年近畿、東海風水害>(8日~)大洪水により四条五条橋・貴船神社・鞍馬寺大門・黒谷坊などが流失/日吉大宮橋も流失し、比叡山諸坊数字も失われ、数十人が死亡/淀・鳥羽でも洪水で死者多数という。
- 1544年8月11日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「アソニー・セント・レジエ卿」(2回目~15460401)
- 1544年8月15日-09:00|日本|奈良県奈良市|天文13年7月27日|<柳生城の戦い>筒井順昭、小柳生城攻略
- 1544年8月16日-09:00|日本|広島県三次市|天文13年7月28日|<布野崩れ>備後国比叡尾山城に攻め寄せた尼子軍を大内軍(毛利氏・三吉氏)が迎え撃った戦い/毛利元就の命令で出陣した毛利軍は敗北
- 1544年8月17日-01:00|フランス/ドイツ/イギリス/オーストリア| |||神聖ローマ皇帝カール5世の軍、フランス中東部のサン・テティエを陥落させる/その後、パリ東方のエール、シャトーティエリを制圧
- 1544年8月17日-09:00|日本|広島県三次市|天文13年7月29日|<布野崩れ>三吉軍が油断していた尼子軍を奇襲で破ったため大内軍の勝利となった
- 1544年8月25日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天文13年8月7日|里見氏の武将正木時茂、大多喜城(満里谷武田朝信)を攻略
- 1544年8月29日-09:00|日本|京都府京都市|天文13年8月11日|細川晴元、和田親五郎(三好長慶家臣)を京都一条戻橋に於いて鋸殺
- 1544年9月 04:30|ベネチア/スペイン| |||<死去>スペイン領ベネチア総督代理「Enrique Rembolt」
- 1544年9月 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Bernardino Manso + Juan de Bonilla」(~15450101)
- 1544年9月2日-09:00|日本|岐阜県|天文13年8月15日|織田信秀、土岐頼芸を奉じ朝倉軍と連合して岩倉方の織田広近の援軍で美濃に侵攻
- 1544年9月11日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天文13年8月24日|<国友城の戦い>近江国京極高広、浅井久政の武将国友伯耆守を攻め破る
- 1544年9月13日-01:00|フランス/イギリス| |||イングランド王軍、フランス北部のフーロニユを陥落させる
- 1544年9月13日-09:00|日本| ||天文13年8月26日|<死去>近衛尚通(73歳)元関白、太政大臣
- 1544年9月17日-09:00|日本|長野県上伊那郡箕輪町|天文13年9月|藤沢頼親、武田に再び反旗する
- 1544年9月17日-09:00|日本|長野県諏訪郡|天文13年9月|諏訪氏旧臣の地頭千野山城入道道宗らが武田に反旗を挙げるが、板垣信方に鎮圧される
- 1544年9月18日-01:00|フランス/ドイツ/オーストリア| |||クレベール・アン・ラワで、フランス王と神聖ローマ皇帝との間での和平条約「クレベール・アン・ラワ条約(クレベールの和議)」が締結される/フランス王フランソワ1世はイタリア全ての領有権・フランドルを放棄
- 1544年9月18日 05:00|ベルギー/スペイン| |||<就任>ベルギー副王「ゴンサロ・ピサロ・イ・アロンソ」(反乱で、10月28日にリマに入る~15480410没)
- 1544年10月-02:00|リビア| |||<就任>リビア陸軍元帥(首相)「ミカドゥス・ラトビラ・ジュオダシ」(~15650528没)
- 1544年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・アントニオ・ベルツィ」「ヴァンチンツォ・コンパルティニ」
- 1544年10月8日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天文13年9月22日|<加納口の戦い(美濃国)>尾張の織田信秀らが美濃に侵入し、斎藤道三と稲葉山城下で戦う/信秀は大敗
- 1544年10月10日-09:00|日本|千葉県|天文13年9月24日|北條勢、安房で里見勢と戦う
- 1544年10月17日-09:00|日本|広島県福山市|天文13年10月|<神辺合戦(備後国)>豊田郡の高山城に尼子軍が進出するが、成果を挙げることはできなかった
- 1544年11月7日-09:00|日本|山梨県甲府市|天文13年10月22日|躑躅ヶ崎館の武田晴信御主殿移転
- 1544年11月14日-09:00|日本|長野県上伊那郡辰野町|天文13年10月29日|武田晴信(信玄)、上伊那郡の福与城に反旗を翻した藤沢頼親を荒神山に攻めるも小笠原長時・諏訪頼継に背後を衝かれ落とせず
- 1544年11月15日-09:00|日本|島根県大田市|天文13年11月|小早川興景、石見国銀山城を攻めて敗れる
- 1544年11月15日-09:00|日本|長野県上伊那郡辰野町|天文13年11月1日|<高遠合戦(信濃国)>武田晴信の同母弟の武田信繁軍が荒神山砦に攻撃開始。小笠原勢は砦を捨てて後退し、福与城の後詰と松嶋原で合流し、武田軍の進軍を食い止めた
- 1544年11月16日-09:00|日本|長野県上伊那郡箕輪町|天文13年11月2日|<箕輪の戦い>藤沢頼親が武田晴信軍を箕輪の地で迎え討つべく兵を率いて激突/藤沢氏と連携している高遠頼継が支援に向かってきたため武田軍は兵を引いた
- 1544年11月22日-09:00|日本|長野県諏訪郡|天文13年11月8日|<高遠合戦(信濃国)>武田晴信は諏訪に滞在して高遠・藤沢らを牽制しようとしたが、2手から迫る敵勢と戦うのは不利と見て、ひとまず諏訪から撤収して甲斐へ帰国/晴信の帰国を見て、頼継は上諏訪の武田方の屋敷などを焼き払った
- 1544年11月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ケレイク・ハル・タマト・リュステム・パシャ」(1期目~15531006)
- 1544年11月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉靖23年11月14日|<譲位>李氏朝鮮国王「中宗」翌日56歳で薨去
- 1544年11月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉靖23年11月15日|<即位>李氏朝鮮第12代国王「仁宗」(~15450808死去)

1550迄 (2430件)

- 1544年12月-01:00|リヒテンシュタイン |||<死去>ズルツ伯・クレットガウ方伯「ヨハン・ルトグ・イ」
- 1544年12月-01:00|リヒテンシュタイン |||<就任>ズルツ伯・クレットガウ方伯「グ・イルヘルム」(~1560年)、「ルト・ルフ2世」(~1552年没)、「7ルウイグ」(~15720104没)
- 1544年12月 05:00|コロンビア/スペイン |||<就任>ヌエバ・グラナダ 暫定総督「ロペ・モンタルベ・デ・ルゴ」(~15450502)
- 1544年12月4日-09:00|日本|高知県高知市|天文13年11月20日|土佐・長宗我部国親、大津城(一条房基方天竺右近守花氏)を攻略
- 1544年12月7日-09:00|日本|佐賀県|天文13年11月23日|鶴田軍に龍造寺軍はさんざんに討たれ、大将の龍造寺盛家も乱戦の中に討死
- 1544年12月8日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天文13年11月24日|波多下野守興:上松浦に侵入した龍造寺盛家を立川で撃破
- 1544年12月13日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル |||<就任>カーボベルデ 諸島のコレヒトール/治安判事「アントニオ・フェレイラ」(~1547年)
- 1545年-08:00|インド/ネパール |||<即位>ケレスイク・ギリ君主「Sunan Seda Margi」(~1548年)
- 1545年-07:00|タイ |||<即位>ランナー王国マンラーイ朝国王「チララハ」(~1546年)
- 1545年-05:30|インド |||<建国>カナヌール国(ラクシャティープ 諸島とカナノールのスルタン国)
- 1545年-05:30|インド |||<就任>アラカル王国ラジャ「アリ・ラジャ・アリ」(~1591年)
- 1545年-05:30|インド |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Muhammad Khan Sur」(~1555年)
- 1545年-04:00|ロシア |||<即位>アストラハン・ハン「アク・クベク」(2回目~1546年)
- 1545年-03:00|イェメン/トルコ |||<就任>オスマン帝国サ総督「Uveys Pasha」(~15470627死去)
- 1545年-03:00|イラク/トルコ |||<就任>バグダット・ワリス「アヤス・ハシヤ」(~1549年)
- 1545年-02:00|シリア・アラブ/トルコ |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハテ・ム・シヤン・ハシヤ」(~1500年)
- 1545年-02:00|シリア・アラブ/トルコ |||<就任>ハラブ(アレクソ)サンジャク「イシヤン・ベ・イ・ヒン・アブドラ」(~1547年)
- 1545年-01:00|ドイツ |||<就任>カレンベルク侯「エーリヒ2世」エーリヒ1世の息子(~15841117死去)
- 1545年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン |||<即位>コンゴ 王国マニコ「フランシスコ1世」(~同年没)⇒「テ・イゴ 1世」シムベ・アム・ティ「(~15611104没)
- 1545年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン |||<廃位>コンゴ 王国マニコ「ヘト・ロ1世」カンガ・アム・ベン「」
- 1545年-01:00|スペイン/ペルー |||ペルーのインカマテロが新法に反対し副王に対して反乱
- 1545年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル |||<就任>サントメ植民地司令官「Lourenco Fernandes da Silva」(~1546年)
- 1545年 00:00|モリタニア/ポルトガル |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「クリストヴ・アン・ファルカン・デ・ソウザ」(~1547年)
- 1545年 00:00|ガナ/ポルトガル |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「テ・イゴ・ソリス・デ・アルベルクリア」(1回目)⇒「アントニオ・デ・フリ」(~1548年)
- 1545年 00:00|マン島/イギリス |||<就任>マン島知事「William Stanley」(~1552年)
- 1545年 00:00|モロッコ |||<即位>ワッター朝スルタン「Nasir ad-Din al-Qasri Muhammad」(~1547年死去)
- 1545年 00:00|モロッコ/トルコ |||オスマン朝がモロッコのワッター朝スルタンを捕虜とする
- 1545年 04:00|プエルトリコ/スペイン |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Geronimo Lebron de Quinones」(15日間)
- 1545年 04:00|ボリビア |||ボリビアのアンデス高原地帯のボトで、大銀山が発見される
- 1545年 05:00|パナマ/スペイン |||<就任>パナマ総督「エルナント・デ・ヒチャカ」(~1546年)
- 1545年 05:00|ペルー |||<即位>インカ帝国皇帝「サイリトウパック」マンコ・インカ・ユパンキの息子(~1560年)
- 1545年 05:00|ペルー |||アルト・ペルーの砂漠地帯ボトのセロ・リコ(標高4700メートル)に銀山発見
- 1545年 07:00|メキシコ |||ヌエバ・エスパニヤにチフスの大流行/人口の1割が死亡
- 1545年 07:00|メキシコ |||メキシコのサテカスに銀山発見
- 1545年1月1日 04:30|ベネチア/スペイン |||<就任>スペイン領ベネチア暫定総督「Juan de Carvajal」(~1546.1死去)
- 1545年1月4日-01:00|イタリア |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジヨヴァンニ・バチスタ」(~15470104)
- 1545年1月10日-04:30|アフガニスタン/インド |||ムガル皇帝フマユーンがカブールを奪回
- 1545年1月13日-08:00|中国 |||明・嘉靖24年|<即位>北疆ハン「シヤ」(~1570年死去)
- 1545年1月13日-09:00|日本|静岡県静岡市|天文13年12月|遠江の国衆井伊直満に謀反の疑いがあると、井伊家老の小野政直より讒言があり、義元は駿府へ井伊直満を呼び出し誅殺
- 1545年1月20日-09:00|日本|長野県茅野市|天文13年12月8日|高遠頼継は全兵力3000をあげて諏訪へ侵入し、上原城に強襲。上原城の板垣信方が籠城。高遠頼継の軍勢は上原城陥落をできずに、長く包囲がつづいた
- 1545年1月25日-09:00|韓国/朝鮮 |||<就任>朝鮮国領議政「洪彦弼」(~2. 12)
- 1545年1月25日-09:00|日本|京都府京都市|天文13年12月13日|幕府、京都嵯峨口諸関の幕領年貢・関銭賦課を停止
- 1545年2月-02:00|ルマニア |||<死去>ワキア総督・領主「ラトウ7世」パヅー
- 1545年2月-02:00|ルマニア |||<就任>ワキア総督・領主「ミルチャ3世羊飼候」(1回目~15521115)
- 1545年2月1日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天文13年12月20日|津島通孝、宇和郡高田八幡宮を再興
- 1545年2月12日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|天文14年|恒吉城の攻防/敗北した地頭山田久時は、久綱と南持富へ退却し恒吉は肝付領となる
- 1545年2月12日-09:00|日本|鹿児島県日置市|天文14年|島津貴久が居城を伊作城から一宇治城へ移す
- 1545年2月16日-09:00|韓国/朝鮮 |||<就任>朝鮮国領議政「尹仁鏡」(~15480622)
- 1545年2月18日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天文14年1月7日|龍造寺軍は獅子ヶ城を攻め落した
- 1545年2月23日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天文14年1月12日|夜獅子ヶ城を一旦脱出した鶴田越前守前は、城奪回

1550迄 (2430件)

- 1545年2月25日 00:00|イギリス| || |イギリス軍がスコットランドに侵入するが失敗
- 1545年2月26日-09:00|日本|佐賀県武雄市|天文14年1月15日|長島方面に向かった龍造寺軍も藤津於野原において有馬軍に討ち負け、龍造寺胤有が戦死敗退
- 1545年3月1日-09:00|日本|佐賀県多久市|天文14年1月18日|一方、多久の梶峯城に向った龍造寺豊後守家純を大将とする攻撃軍は城攻めに成功
- 1545年3月5日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文14年1月22日|龍造寺家兼が馬場頼周・有馬晴純らに攻撃されて水ヶ江城を開城/柳川・蒲池鑑盛を頼る
- 1545年3月6日-09:00|日本|佐賀県|天文14年1月23日|肥前・馬場頼周・神代勝利、少弐冬尚の命で龍造寺家兼の二子・家純・家門、孫の純家を討つ
- 1545年3月6日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文14年1月23日|龍造寺氏の佐嘉城が落城、家兼は筑後一ツ木へ落ちる。少弐冬尚が城番に小田政光を置く
- 1545年3月12日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文14年1月29日|日向・伊東義祐、鬼ヶ城(島津忠広方)を攻略
- 1545年3月30日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|天文14年2月18日|一宮(森町一宮)領主武藤刑部丞氏定、宣翁全忠開山に鹿苑山香勝寺(森町草ヶ谷)開基
- 1545年4月-01:00|スペイン/ポルトガル| || |スペイン人が南米ポルトガル山中でポト銀山を発見
- 1545年4月1日-01:00|サンマリノ| || |<就任>サンマリノ共和国執政「シロ・ラモ・デ・イ・ジュリアーノ・ゴッジ」「イノチェンツォ・フランケイ」
- 1545年4月5日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文14年2月24日|伊東軍、飢肥の町を攻める
- 1545年4月8日-09:00|日本|佐賀県小城市|天文14年2月27日|肥前・少弐冬尚・千葉胤頼、晴気城(千葉胤連)を攻略
- 1545年4月11日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文14年3月|<水ヶ江城の戦い>龍造寺家兼が反撃して水ヶ江城を奪還
- 1545年4月22日-01:00|ドイツ/オーストリア| || |<死去>バイエルン公「ルートヴィヒ10世」
- 1545年4月26日-09:00|日本|奈良県橿原市|天文14年3月16日|大和・筒井氏、十市遠忠の死により十市氏を傘下におく
- 1545年4月28日-09:00|日本|鹿児島県|天文14年3月18日|<復帰>薩摩・大隅・日向守護「島津貴久」豊州家の島津忠広と、北郷家の北郷忠相が来訪、貴久を守護職と仰ぎ臣下の礼を取る
- 1545年5月-04:30|アフガニスタン/インド| || |スール朝イスマー・シャー即位(~1553)
- 1545年5月2日 05:00|コロンビア/スペイン| || |<就任>ヌエバ・グラナダ総督「ペドロ・ロペス・ウルシア」(~15470117)
- 1545年5月11日-09:00|日本|熊本県|天文14年4月|名和氏・相良氏の和睦が成立し、豊福は名和氏領となる
- 1545年5月12日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文14年4月2日|龍造寺家兼が拳兵、千葉氏とともに馬場頼周を攻撃し、討ち取る
- 1545年5月19日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|天文14年4月9日|<死去>常陸佐竹氏第16代当主「佐竹義篤」39才→「佐竹義昭」が継ぐ(~永禄8(1565)年11月3日死去)
- 1545年5月21日-09:00|日本|長野県茅野市|天文14年4月11日|武田晴信は6000の兵力で諏訪に進攻。上原城を包囲していた高遠頼継の軍を追い払い、高遠頼継は杖突峠を越えて退却
- 1545年5月22日-05:30|インド| || |<死去>スール朝シャー「シェール・シャー」
- 1545年5月22日-05:30|インド| || |<即位>スール朝シャー「イスマー・シャー」(~15541122死去)
- 1545年5月24日-09:00|日本| || |天文14年4月14日|<死去>狩野祐雪(不明)絵師
- 1545年5月26日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文14年4月16日|<千布城の戦い>龍造寺家兼は胤栄とともに謀殺に関与し神代家臣である千布家利や福島利高が守る千布城を落とす
- 1545年5月27日-09:00|日本|長野県伊那市|天文14年4月17日|<高遠合戦>武田軍に攻められ高遠頼継は高遠城を放棄して逃走
- 1545年5月28日-09:00|日本|長野県伊那市|天文14年4月18日|武田晴信、高遠城を占領
- 1545年5月30日 02:00|日本|長野県上伊那郡箕輪町|天文14年4月20日|<福与城の戦い>午刻(午前11時から午後1時)福与城を包囲して攻撃する
- 1545年6月8日-09:00|日本|長野県上伊那郡箕輪町|天文14年4月29日|<福与城の戦い>小笠原軍が福与城を後詰して晴信は鎌田長門守が戦死するなど苦戦
- 1545年6月9日-07:00|ベトナム| || |大越黎朝・光照5年5月|後黎朝ゲン・ギンが陣中で降伏してきた莫朝の将軍に毒を盛られて死亡/チン・キム(鄭検)が実権をにぎる/帝はゲアン(丸安)に立て籠もる
- 1545年6月12日-01:00|フランス/イタリア| || |<死去>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「フランソワ1世」兼カプリア公「フランチェスコ」
- 1545年6月12日-01:00|フランス/イタリア| || |<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「シャルル3世(2世)」兼カプリア公「カルロ」フランソワ1世の長男(~16080514死去)
- 1545年6月14日-09:00|日本|山梨県南巨摩郡南部町|天文14年5月6日|<井出城の戦い>細川国慶が南山城の井出城を攻略
- 1545年6月20日-10:00|パプアニューギニア/スペイン| || |スペインの船員がニューギニアを発見/マンベラ川の河口で、サン・ファン・デ・レトラン号のインゴ・オルティス・デ・レリスによってスペイン領有権宣言し、ヌエバ・ギニアと名付けられた
- 1545年6月23日-09:00|日本|大阪府|天文14年5月15日|<死去>河内国守護「畠山植長」⇒「畠山晴熙」就任(~天文21(1552)年9月)
- 1545年6月23日-09:00|日本|富山県|天文14年5月15日|<死去>越中国守護「畠山植長」
- 1545年6月23日-09:00|日本|和歌山県|天文14年5月15日|<死去>紀伊国守護「畠山植長」⇒「畠山政国」任命(~天文19(1550)年隠居)
- 1545年6月29日-09:00|日本|長野県上伊那郡辰野町|天文14年5月21日|<高遠合戦(信濃国)>竜ヶ崎砦を小山田ら郡内衆に攻めさせたが、こちらも苦戦

1550迄 (2430件)

- 1545年7月2日-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルグ 総督兼総司令官「ペーター・エルスト・グラフ・フォン・マンスフェルト」(15520622~15570518フランスの囚人/~16040523没)
- 1545年7月2日-09:00|日本|京都府綴喜郡宇治田原町|天文14年5月24日|香西与四郎、細川晴元の命により、三好長慶の軍勢らとともに山城国宇治田原に拠る細川氏綱の軍を攻め破る
- 1545年7月4日-09:00|日本|京都府宇治市|天文14年5月26日|細川晴元の部将三好政長と三好長慶が山城大鳳寺に陣を張り放火
- 1545年7月6日 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Inigo Lopez de Gervantes y Loaisa」(~15460706)
- 1545年7月9日-09:00|日本|長野県上伊那郡辰野町|天文14年6月1日|<高遠合戦>武田晴信、板垣信方に命じて信濃守護小笠原長時の拠る竜ヶ崎城を落とす
- 1545年7月10日-09:00|日本|京都府京都市|天文14年6月2日|<就任>関白「一条房通」(~天文17年12月27日)
- 1545年7月18日-09:00|日本|長野県上伊那郡箕輪町|天文14年6月10日|<福与城の戦い>藤沢頼親、和睦に応じ開城/藤沢頼親の実弟が人質として穴山信友に引き渡され、福与城は焼却されて、諏訪南部の敵勢力は排除された
- 1545年7月19日-09:00|日本|京都府京都市|天文14年6月11日|祇園会において三条町人が闘争し幕府雑色が殺害される。このため細川晴元内衆、三条町を焼打
- 1545年7月21日-09:00|日本|長野県塩尻市|天文14年6月13日|武田軍、塩尻峠を越えて塩尻乱入
- 1545年8月6日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文14年6月29日|島津忠隅、鶴戸山を攻め焼き討ちする
- 1545年8月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉靖24年7月2日|<死去>李氏朝鮮第12代国王「仁宗」在位9ヶ月、30歳
- 1545年8月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉靖24年7月6日|<即位>李氏朝鮮第13代国王「明宗」(~15670803死去)
- 1545年8月15日-01:00|フランス/イギリス| |||フランスとイギリスの間でジョーラム沖の海戦が行われる
- 1545年8月19日-09:00|日本|石川県|天文14年7月12日|<死去>能登国守護「畠山義総」⇒「畠山義統」が継ぐ(~天文20(1551)年末隠居)
- 1545年8月22日 00:00|イギリス| |||<死去>サフォーク公「チャールズ・ブランドン」
- 1545年8月22日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク公「ヘンリー・ブランドン」(~15510714死去)
- 1545年8月31日-09:00|日本|静岡県|天文14年7月24日|<第二次河東一乱(駿河国)>今川義元は上杉憲政と組んで、北条氏綱に奪われた東駿河の一部を奪還すべく、軍事行動を起こした
- 1545年9月-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「ナラハ・ティ3世」(~1551年10月)
- 1545年9月3日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天文14年7月27日|<世木城の戦い>三好長慶・政長が細川氏綱の与党内藤顕勝の拠る丹波関城を攻略
- 1545年9月6日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文14年8月|東郷・祁答院・入来院、郡山城で謀反/島津貴久により誅される
- 1545年9月6日-09:00|日本|千葉県館山市|天文14年8月|里見義堯、安房の鶴谷八幡宮を造営
- 1545年9月9日-01:00|フランス| |||<死去>オルアン公「シャルル2世」兼ブルボン公「シャルル4世」兼シャテルロー公「シャルルド・フランス」インフルエツァで死亡/23歳
- 1545年9月12日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ジョアン・デ・カストロ」(~15480606死去)
- 1545年9月12日-09:00|日本|京都府京都市|天文14年8月7日|幕府が洛中洛外の土倉による酒麴売買を禁じ、北野社神人の酒麴製造専売件を安堵
- 1545年9月16日-01:00|イタリア| |||<即位>ハルマ公(ファルネーゼ家)ピエール・ルイジ(~15470910死去43歳)
- 1545年9月16日-09:00|日本| ||天文14年8月11日|駿河の今川義元と甲斐の武田晴信(信玄)が、会見甲駿同盟が成立
- 1545年9月21日-09:00|日本|静岡県富士市|天文14年8月16日|<狐橋の戦い(駿河国)>今川義元が北条氏康と狐橋で戦い今川軍が勝利
- 1545年9月24日-09:00|日本|北海道|天文14年8月19日|<死去>蝦夷徳山館主「蠣崎義広」(67歳)
- 1545年9月29日-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「カルロ・ディ・フランチェスコ・カッポ」(~1547年)
- 1545年10月-01:00|スペイン| |||スペイン王カルロス1世が新法のインコミンダ 廃止条項を撤回
- 1545年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ディ・マリノ・リギ」/「マリノ・ガブリエリ」
- 1545年10月18日-09:00|日本|熊本県球磨郡多良木町|天文14年9月13日|多良木の鍋城へ籠った八代岡地頭の相良治頼、多良木耳取原にて討ち負け、犬童頼安と共に日向へ遁れる
- 1545年10月21日-09:00|日本|静岡県富士市|天文14年9月16日|<吉原の戦い>今川義元が武田晴信の加勢を得て北条氏康を駿河吉原に破る/北条軍が放棄した吉原城自落
- 1545年10月24日-09:00|日本|静岡県駿東郡長泉町|天文14年9月19日|<長久保城の戦い>吉野郷三郎、葛山氏元の馬前で、長久保城(城主葛山三郎長綱・清水正次・南条右衛門尉)南に位置する高橋口で槍傷2ヶ所蒙る。加々爪泰定負傷
- 1545年10月25日-09:00|日本|愛知県安城市|天文14年9月20日|<第二次安城合戦/清田礮の戦い>松平広忠(家康父)、安祥城(松平氏本拠)奪回を謀り、三河清田礮で織田信秀と戦うが、織田勢の挟撃に遭い敗走、身代わりとなった本多忠豊は討死
- 1545年10月27日-09:00|日本|栃木県佐野市|天文14年9月22日|<死去>谷宗牧が下野佐野で(不明)連歌師/「胸中抄」「東国紀行」を著した
- 1545年10月30日-09:00|日本|静岡県|天文14年9月25日|<土狩原合戦>大村弥三郎綱次が野口氏を討取る
- 1545年10月31日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文14年9月26日|山内上杉憲政が扇谷上杉朝定とともに北条方の北条綱成の守る武蔵河越城を攻める
- 1545年11月-05:30|インド| |||マユーン、カブルを奪還

1550迄 (2430件)

- 1545年11月5日-09:00|日本|山梨県南巨摩郡身延町|天文14年10月|身延山祖師堂建立
- 1545年11月9日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ヴェネツィア共和国第78代ドージェ「ピエトロ・ランド」
- 1545年11月10日-01:00|ドイッ/トルコ| |||神聖ローマ皇帝カール5世が、オスマン朝のスレイマン1世と休戦/プロテスタント諸侯と対抗するため
- 1545年11月16日-09:00|日本|新潟県西蒲原郡弥彦村|天文14年10月12日|<黒滝城の戦い>上杉家家臣黒田秀忠、景虎の兄景康を殺害し、黒滝城に立て籠もり謀反を起こす/景虎、秀忠討伐の軍を向けるが秀忠は和睦を請い受け入れる
- 1545年11月24日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第79代ドージェ(元首)「フランチェスコ・ド・ナート」(~1553年)
- 1545年11月24日-09:00|日本|茨城県筑西市|天文14年10月20日|常陸国真壁郡下館城主水谷出羽守正村入道蟠竜斎は、嫡子勝俊に下館城を与えて自ら下野国の久下田(又は結城郡川西村久下田とも云う)に城を築き、下館領有五万石の支城として移り居住
- 1545年11月26日-09:00|日本| |||天文14年10月22日|武田晴信の仲介で今川義元が北条氏康と和睦
- 1545年12月1日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文14年10月27日|古河公方足利晴氏が河越城を包囲中の山内上杉憲政らに合流/北条氏康に宣戦布告
- 1545年12月9日-09:00|日本|静岡県駿東郡長泉町|天文14年11月6日|北条軍、長久保城開城し駿河から撤退
- 1545年12月26日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文14年11月23日|山城国清水寺の堂宇完成
- 1546年-08:00|インド/ネパ| |||<死去>ドムカ王国スルタン「ラテン・ハター2世」ハカカ遠征中に
- 1546年-08:00|インド/ネパ| |||<即位>ドムカ王国スルタン「スタン・ラウト」(~1549年)
- 1546年-08:00|インド/ネパ/パプアニューギニア/スパイン| |||スパン人がニューギニアを発見し、ヌエバ・ギニアと名付けた
- 1546年-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第14代国王「チャイラーチャーティラト(チャイラーチャー)」
- 1546年-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第15代国王「ヨトファー(ケオファー)」(~15480610死去)
- 1546年-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王国マンライ朝国王「サイセター」(~1547年)
- 1546年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「ヤムルハ」アクハクの子(1回目~1547年)
- 1546年-04:00|ロシア| |||<即位>カザン・ハン「シャー・アリー」(2度目~同年)⇒「サファ・ゲレイ」(3回目~1549年死去)
- 1546年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワシ「イリヤス・ハシヤ宰相」(~1549年)
- 1546年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのカンテイヤ公「テオニオ・コンタリーニ」(~1548年)
- 1546年-01:00|フランス| |||<就任>サン・ホル伯「フランソワ2世(3世)」フランソワ1世(2世)の子(~同年10歳で死去)⇒「マリ-2世」(~1573年)フランソワ2世(3世)の妹
- 1546年-01:00|スパン| |||<就任>スパン領メリウ総督「Juan de Perea」(~1554年)
- 1546年-01:00|リビア/マルタ| |||<就任>マルタ騎士団のトリホ・リタニア総督「ジャン・ド・ウァレット、セニョール・ド・パリス」(~1549年)
- 1546年-01:00|ロシア/アザ| |||<即位>ホルツァ大公「イワン・アウグスティノヴィッチ」(~1567年)
- 1546年 00:00|チャンネル諸島/フランス| |||<就任>オルネー島元帥「Robert de Turberville」
- 1546年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Francisco de Barros de Paiva」(~1554年)
- 1546年 00:00|カナリア諸島/スパン| |||<就任>スパン王国植民地ケラン・カナリア島知事「Juan Ruiz de Miranda」(~1549年)
- 1546年 00:00|カナリア諸島/スパン| |||<就任>スパン王国植民地テネリフェ島知事「Diego de Figueroa」(~1548年)
- 1546年 00:00|ポルトガル/スリランカ| |||コッテ王国とポルトガルが、共同でキャンティ王国を侵略、失敗
- 1546年 05:00|パナマ/スパン| |||<就任>パナマ総督「ペドロ・デ・リベロ」(~同年)⇒「ペドロ・デ・イノホ」(~同年)
- 1546年 07:00|メキシコ| |||メキシコでチフスが流行し、先住民人口が減少
- 1546年 07:00|メキシコ| |||メキシコのサカサで銀鉱が発見
- 1546年1月 04:30|ベネズエラ/スパン| |||<死去>スパン領ベネズエラ暫定総督「Juan de Carvajal」
- 1546年1月 04:30|ベネズエラ/スパン| |||<就任>スパン領ベネズエラ総督代理「Juan de Frias」(~6.9)
- 1546年1月4日-09:00|日本|熊本県人吉市|天文14年12月2日|<改名>肥後人吉領主「相良長唯」⇒「相良義滋」
- 1546年1月5日-09:00|日本|愛知県豊川市|天文14年12月3日|戸田堯光、菟足神社(豊川市小坂井町)宝殿造営
- 1546年1月11日-01:00|ドイッ| |||<死去>リュネブル侯「エルスト1世告白公」
- 1546年1月11日-01:00|ドイッ| |||<即位>リュネブル侯「フランツ・オットー」(親政は1555年から~15590429死去)
- 1546年1月18日 05:00|ペルー/スパン| |||<死去>ペルー副王「ブラスコ・ヌエス・ウエラ・イ・ビシジャルバ」ゴンサロ、アレス・デ・カルバハルの率いるスパン人部隊に攻撃され激戦のすえ逮捕処刑される
- 1546年1月30日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文14年12月28日|日向・伊東義祐、目井城(北郷忠相)を攻略
- 1546年2月 05:00|パナマ/ペルー| |||ゴンサロはみずから船団を指揮しパナマを占領/南米大陸の支配者を宣言
- 1546年2月1日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文15年|津島神社(豊田市榑塚)、松平清定の兵火により焼失
- 1546年2月1日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天文15年|朝比奈備中守(法名功德院喜雲道随居士)、霊屋契鑑大和尚中興開山に、最林寺(藤枝市下藪田)開基
- 1546年2月1日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天文15年|<死去>下総佐倉領主「千葉昌胤」⇒長男の「千葉利胤」が継ぐ(~翌年7月12日(15470728)死去)
- 1546年2月1日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|天文15年|大内義隆により福岡宮崎宮本殿拝殿できる
- 1546年2月12日-03:00|イェメン| |||オスマン朝領のイェメン州総督ハイス・パシャが、イェメンのシーア派指導者の一族との抗争に勝利し、タイスを併合
- 1546年2月18日-01:00|ドイッ| |||<死去>「宗教改革」の創始者マルティン・ルターがザクセン選帝侯領アイスレーベン(ルターシュタット・アイスレーベン)で(1483~、62歳)宗教改革を行った
- 1546年3月3日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「フランシスコ・ホテリヨ」(~15481218)

1550迄 (2430件)

- 1546年3月11日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文15年2月9日|伊東義祐、鬼が城を攻め取る
- 1546年3月30日-09:00|日本|新潟県西蒲原郡弥彦村|天文15年2月28日|長尾景虎、越後守護上杉定実の命令により再び反乱を起こした黒田秀忠の黒滝城に出陣、秀忠以下一族をことごとく切腹させる
- 1546年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ボネット・ディ・マリノ・ボネッティ」「バルト・ディ・ガスパール」
- 1546年4月1日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「ウィリアム・ブラバゾン卿」(2回目~12.1)
- 1546年4月1日-09:00|日本|神奈川県高座郡寒川町|天文15年3月|北条氏康、相模国寒川社の宝殿を再興
- 1546年4月10日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文15年3月10日|<死去>肥前国水ヶ江城主「龍造寺家兼」93歳/家督は曾孫の胤信(のち隆信)が継承
- 1546年4月14日-09:00|日本|山梨県上野原市|天文15年3月14日|武田晴信(信玄)が村上義清と信濃上野原で戦い、敗れる
- 1546年4月30日-09:00|日本|茨城県小美玉市|天文15年4月|小田政治家臣の藺部兼泰が小川城を奪還
- 1546年5月11日-09:00|日本|京都府京都市|天文15年4月12日|<死去>鷹司忠冬(38歳)元関白、左大臣
- 1546年5月19日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文15年4月20日|<河越城の戦い(武蔵国)>武蔵・北条氏康、河越城籠城中の北条綱成を救援し、足利・上杉軍を破る/北条氏康は夜中に奇襲、関東管領・上杉憲政平井へ、足利晴氏古河へ逃亡
- 1546年5月19日-09:00|日本|埼玉県川越市|天文15年4月20日|<死去>武蔵川越領主「上杉朝定」河越夜戦で討死滅亡
- 1546年5月19日-09:00|日本|東京都八王子市|天文15年4月20日|滝山城主・大石定久、北条氏に降り、氏照が大石氏の養子となる
- 1546年5月26日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天文15年4月27日|狩野元信が記録所の障子の絵を描く
- 1546年5月29日-08:00|中国/モンゴル| ||明・嘉靖25年5月|モンゴルのアルタンが大同に使者を遣わし、明に交易を求め/拒絶され宣府などを攻撃
- 1546年6月5日 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド 大法官「ハントリー・伯ジョージ・ゴードン」(~1562.10.28死去)
- 1546年6月5日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督「アントニオ・デ・チャベス」(~1549年11月)
- 1546年6月5日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・広和6年5月8日|<死去>莫朝(大越)第3代皇帝「憲宗莫福海」
- 1546年6月5日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・広和6年5月8日|<即位>莫朝(大越)第4代皇帝「宣宗莫福源」(~1562.1死去)
- 1546年6月6日-01:00|ドイツ| |||神聖ローマ皇帝カール5世がプロテスタント諸侯を相手にシマルカレン同盟戦争を始める
- 1546年6月7日-01:00|フランス/イギリス| |||イングランド 王ヘンリー8世とフランス王フランソワ1世、フランス北部カレーの南方アルドルで「アルドル条約」を結ぶ/フランスが8年分割で200万リブルの賠償金を支払う/賠償金と引き替えに、フランス北部のブーローニュ(ブーローニュ=シュルメール)をフランス王フランソワ1世に返還
- 1546年6月9日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督「Juan Perez de Tolosa」(~1548.12)
- 1546年6月18日-09:00|日本|長野県佐久市|天文15年5月20日|武田晴信、佐久郡内山城を攻略して、大井貞清を降す
- 1546年6月19日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天文15年5月21日|大友氏の将臼杵七郎らが伊予宇和郡に来襲し日振島に陣を置くが、土居・法華津氏ら西園寺氏の将がこれを撃退
- 1546年6月25日-09:00|日本|秋田県横手市|天文15年5月27日|<死去>出羽横手領主「小野寺植道」家臣大和田光盛により湯沢城に追い詰められて暗殺された⇒子の「小野寺景道」が継ぐ(~天正11(1583)年隠居)
- 1546年6月28日-09:00|日本|広島県|天文15年6月|<交替>安芸国領主「毛利元就」隠居⇒嫡男「毛利隆元」毛利家当主となる(実権は引き続き元就が握る)
- 1546年6月28日-09:00|日本|福島県伊達郡桑折町|天文15年6月1日|陸奥の伊達晴宗が白石城へ逃れ、伊達植宗が西山城を回復
- 1546年7月 05:00|ベルギー| |||ゴッサロ、キからリマに赴き、独立を宣言
- 1546年7月6日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Diego de Garaza」(1期目~1548年)
- 1546年7月7日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天文15年6月10日|大友義鑑の兵が伊予宇和郡に侵入、領主の西園寺公広がこれを迎え撃つ
- 1546年7月18日-09:00|日本|鳥取県東伯郡|天文15年6月下旬|伯耆へ出陣した7000余騎の武田・伯耆衆の混成軍は泊の河口城を攻略、元城主の山名久氏を入れた後に河村郡馬野山に兵を進めた
- 1546年7月24日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|天文15年6月27日|<橋津川の戦い(伯耆国)>尼子豊久は討ち取られた/大将の尼子国久は崩れかかっていた尼子勢を立て直した上で武田勢に猛攻、武田勢は壊滅、大将の武田国信はわずかな手勢を引き連れて逃走するも追いつかれ馬野山付近の宿藻塚なる場所で自刃/橋津口においては両軍が橋津橋上で一進一退の激戦、両軍とも後陣の者が押しかけてきたために橋が崩れ、多くの者が川に投げ出され溺死する中、南条宗勝は付近の漁師に救助され、かろうじて脱出に成功
- 1546年7月27日 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>パナマ総督「ペドロ・デ・ラ・ガスカ」(~8.13)
- 1546年8月2日-09:00|日本|熊本県球磨郡|天文15年7月6日|肥後の宮原銀山が発見される
- 1546年8月13日 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>パナマ総督「アロンソ・デ・アルバレス」(~1548年)
- 1546年8月18日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天文15年7月22日|川入城主(由比町阿僧)由比周防守光詔、村上義清と戦い親族共討死
- 1546年8月26日-09:00|日本| ||天文15年秋|北条氏康の武蔵野紀行出来る
- 1546年8月26日-09:00|日本|大阪府|天文15年8月|細川氏綱(細川高国の養子)が河内守護代遊佐長教(畠山尾州家の家臣)・大和国の筒井順昭(筒井順慶の父)らと挙兵、遊佐長教は摂津の国衆である三宅城の三宅国村や池田城の池田信正を氏綱方につかせる

1550迄 (2430件)

1546年8月28日-09:00|日本|熊本県人吉市|天文15年8月3日|<交替>肥後人吉領主「相良義滋」隠居⇒「相良晴広」(弘治元(1555)年8月12日死去)

1546年9月1日 06:00|エルサルバドル| |||サンサルバドル,エルサルバドルの首都に決まる

1546年9月3日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「イラス2世」(~15510530)

1546年9月4日-09:00|日本|京都府京都市山科区|天文15年8月10日|京都本国寺本堂が再建され、本尊遷座式が挙行される

1546年9月10日-09:00|日本|大阪府堺市|天文15年8月16日|三好長慶が管領細川晴元の命を受け軍を率いて堺に入るが、細川氏綱・遊佐長教らに包囲される

1546年9月14日-09:00|日本|大阪府堺市|天文15年8月20日|三好長慶が堺の会合衆に仲裁を依頼して堺から撤退

1546年9月19日-09:00|日本|熊本県|天文15年8月25日|<死去>肥後相良氏第16代当主「相良義滋」(58歳)

1546年9月22日-09:00|日本|愛知県春日井市|天文15年8月28日|<死去>尾張国玉龍寺開山桂巖慧芳

1546年9月22日-09:00|日本|埼玉県比企郡吉見町|天文15年8月28日|武蔵・太田資正、武蔵松山城に深夜奇襲をかけ攻め落とす

1546年9月22日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文15年8月28日|<死去>諏訪満隆(不明)武田氏に反乱を起こすが、鎮圧されて切腹させられた

1546年9月25日-09:00|日本|茨城県筑西市|天文15年9月|宇都宮家臣・芳賀貞常、八木岡貞家が久下田城を攻めてくるが水谷政村はこれを逆に撃退し貞家を討ち取る

1546年9月25日-09:00|日本|大阪府|天文15年9月|<交替>摂津国守護「細川晴元」解任⇒「細川氏綱」(~翌年閏7月解任)

1546年9月25日-09:00|日本|岐阜県|天文15年9月|<再任>美濃国守護「土岐頼純」(~天文16年11月17日(15471228)死去)

1546年9月28日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|天文15年9月4日|<大塚城の戦い>細川氏綱が、細川晴元の部将の山中又三郎の摂津大塚城を攻略

1546年9月30日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文15年9月6日|<上野城の戦い>松平広忠、上野城松平監物家次を攻落とす

1546年10月1日-01:00|サマリノア| |||<就任>サマリノ共和国執政「ヒェル・レオ・ネ・デ・イ・ファブ・リツィオ・コルベッリ」「ハルナル・イーノ・ジャンニニ」

1546年10月5日-09:00|日本|大阪府池田市|天文15年9月11日|<池田城の戦い>三好長慶が池田城を攻める

1546年10月8日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文15年9月14日|<嵯峨の戦い>遊佐長教・上野元治ら、細川晴元を京都嵯峨に於いて攻撃、三好政長が細川晴元を赴援するが、敗れて晴元は丹波神尾山城へ逃げる

1546年10月12日-09:00|日本|大阪府高槻市|天文15年9月18日|<芥川城の戦い>細川氏綱・遊佐長教連合軍は芥川山城を攻撃、これに対して三好政長が後方から攻撃を仕掛けたが、城主芥川孫十郎は和睦開城

1546年10月14日-09:00|日本|奈良県橿原市|天文15年9月20日|十市氏が筒井氏へ城を明け渡し、十市藤勝は多武峰に退く

1546年10月19日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|天文15年9月25日|<貝吹山城の戦い>筒井順昭が菅原氏に続いて越智方多武峰郷を攻める/越智氏は貝吹城などに拠って抗戦

1546年10月29日-09:00|日本|京都府京都市|天文15年10月5日|京都で土一揆が徳政を訴えて蜂起

1546年11月3日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|天文15年10月10日|筒井順昭は高田氏らを率いて越智氏を貝吹山城に陥れた/国中ほとんど筒井氏に帰

1546年11月8日 07:00|メキシコ| |||征服直後のユカタン東部で反乱/マヤの神官チラン・アハルを指導者としてモンテの不在をねらい蜂起開始/数ヶ月後に反乱は鎮圧

1546年11月15日-09:00|日本| |||天文15年10月22日|三好之康は足利將軍義晴の命により摂津国堺に遊佐長教の兵と戦うが敗れる

1546年11月22日-09:00|日本|石川県金沢市|天文15年10月29日|門徒衆により、金沢に尾山御坊(金沢御堂)が建立される(後の金沢城)

1546年11月23日-09:00|日本| |||天文15年10月30日|幕府が徳政令を發布

1546年11月24日-09:00|日本|愛知県|天文15年11月|今川軍が三河平定のため侵攻

1546年11月25日-09:00|日本|滋賀県大津市|天文15年11月2日|足利義晴は近江坂本へ逃亡

1546年12月1日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<再任>アイルランド 副卿「アンソニー・セント・レジエ卿」(3回目~15480521)

1546年12月17日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文15年11月24日|<吉田城の戦い>今川義元・軍事指揮者太原崇孚・松平広忠、吉田城戸田橋四郎宣成を攻め滅ぼす/戸田宗光は今川軍に降伏

1546年12月18日-09:00|日本|大阪府池田市|天文15年11月25日|<池田城の戦い>三好長慶が池田城を攻める

1546年12月23日-09:00|日本|長野県南佐久郡南牧村|天文15年12月|村上義清、須田満親を大将にして佐久郡の海尻城を攻め落とすが、武田方・真田幸隆(幸綱)が海尻城を再度奪回

1547年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国皇帝「ホド・イ・アラク・ハン」

1547年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Bernardim de Sousa」(1期目~1549年)

1547年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・マンスール・シャー・イブニ・スルタン・アブド」(~1561年)

1547年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Bhaktapur)国王「Vishva Malla」(~1560年)

1547年-05:30|インド| |||<建国>ヒマラヤ国

1547年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「アク・ケベック」(3回目~1549年)

1547年-04:00|ジョージア/トルコ| |||オスマン帝国によりパトウミ占領(~1564年)

1547年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルムター」アルムタキル・ヤヤ・シャラフ・アッディンの息子(~15721109死去)

1550迄 (2430件)

- 1547年-02:00|シリア・アラブ /トルコ| |||<就任>ハラブ (アレクソ) サンジャクベイ「イブラヒム・ベイ」 (~1549年)
- 1547年-01:00|ドイツ| |||<就任>アレンベルク伯「ジャン・ド・リニユ」 (~1568年)
- 1547年-01:00|フランス| |||<就任>オマル公「Francis」 (~1550年)
- 1547年-01:00|フランス| |||<就任>タマルタン伯「Philippe de Boulainvilliers」 (~1554年)
- 1547年-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「エスケ・ビルテ・テイル・スヴァンホルム」 (~15520209没)
- 1547年-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホースニア総督「ソフィ・アリ・ベイ」 (~1549年)
- 1547年 00:00|モロッコ| |||<死去>ワッター朝スルタン「Nasir ad-Din al-Qasri Muhammad」
- 1547年 00:00|アイスランド /デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「ラウリス・ラハ」 (~1551年)
- 1547年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ギル・サードン」 (~1549年)
- 1547年 00:00|モロッコ| |||<復位>ワッター朝スルタン「アブー・アル=アッハ=ス=アフマト=イブン=ムハンマド」 (~1549年死去)
- 1547年 00:00|ポルトガル/インド| |||ポルトガルが南インドのウヰンヤナガル王国と通商条約を締結
- 1547年1月1日 01:00|カーボベルテ /ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ 諸島のコレヒトル/治安判事「ペドロ・デ・アラウジョ」 (~1550年)
- 1547年1月2日-01:00|イタリヤ| |||ジェノヴァでの総督アントニア・ド・リアに対するジョヴァンニ・フィエスコのクーデターが失敗
- 1547年1月4日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ベネデット・ゲンタイル・ベウエレ」 (~15490104)
- 1547年1月5日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=ギュストロ公「アルブレヒト7世」
- 1547年1月5日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=ギュストロ公「ヨハン・アルブレヒト1世」アルブレヒト7世の息子 (⇒1556年メクレンブルク=シュヴァーレン公~15760212死去)
- 1547年1月10日-09:00|日本|京都府京都市|天文15年12月19日|<任命>室町幕府管領代「六角定頼」 (~24日、在任5日間)
- 1547年1月11日-09:00|日本|滋賀県大津市|天文15年12月20日|<辞任>室町幕府第12代征夷大將軍「足利義晴」⇒第13代征夷大將軍「足利義藤(義輝)」(嫡男11歳) (~永禄8(1565)年5月19日暗殺される)
- 1547年1月15日-08:00|マレーシア| |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「マフムド・シャー2世」
- 1547年1月15日-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「ムザファル・シャー3世」 (~16020803死去)
- 1547年1月16日-04:00|ロシア| |||<即位>ロシア・ツァーリ「イワン・ウァシリエフ」イザ4世雷帝「エスク大公(1回目~15750929)
- 1547年1月17日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 総督「ミゲル・デ・アルメンダリス」 (~15510602没)
- 1547年1月18日-01:00|イタリヤ| |||ベネチアで大運河と多くの運河の浚渫
- 1547年1月22日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文16年|織田信秀建仁寺禅居庵に摩利支天堂を再建
- 1547年1月22日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|天文16年|慈悲山増善寺(静岡市葵区慈悲尾)4世儒林恵椿、貞林寺(静岡市葵区西ヶ谷)開祖
- 1547年1月22日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天文16年|5世日要、大法山東漸寺(富士宮市安居山)を心境から字中別所の地に移す
- 1547年1月22日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天文16年|明室灯儀大和尚が亀鶴山安楽寺「立石仲触」を開く
- 1547年1月22日-07:00|ベトナム| |||大越莫朝・永定1年|大越莫朝・永定と改元(-1548)
- 1547年1月28日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王「ヘンリー8世」梅毒の悪化により/55歳(誕生14910628)6人の女性と結婚した
- 1547年1月28日 00:00|イギリス| |||<私権剥奪>ノーフォーク公・サリ伯「トマス・ハワード」
- 1547年1月31日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド王「エドワード6世」ヘンリー8世とジェーン・シーモアの男子 (~15530606死去15歳) 伯父エドワード・シーモア(サマセット公)が摂政となる
- 1547年2月16日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ウォリック伯「ジョン・ダドリー」 (⇒15511011兼初代ノーサンバーランド公~15530822大逆罪で処刑・爵位剥奪)
- 1547年2月16日 00:00|イギリス| |||<就任>初代サウサンプトン伯「トマス・リスリー」 (~15500730死去)
- 1547年2月16日 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公「エドワード・シーモア」 (~15520122死去剥奪)
- 1547年3月 05:00|ペルー| |||カスカ、ハハに上陸。ギアリナでゴンサロ軍とテラガスカ軍が決戦。ゴンサロは敗走
- 1547年3月7日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 連邦大法官「ウィリアム・ホールト卿」 (~10. 23)
- 1547年3月11日-09:00|日本|大阪府豊中市|天文16年2月20日|細川晴元方の三好長慶軍が細川氏綱方の原田城を落とす
- 1547年3月14日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文16年2月23日|伊東軍、飢肥本城を攻める
- 1547年3月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「ヨハン4世」
- 1547年3月23日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「ヨハン5世」 (~15560218死去)
- 1547年3月31日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王フランソワ1世、パリの南西約50kmにあるランブイエで(1494-、53歳)
- 1547年3月31日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王(ヴァロワ=アンクレーム家)アンリ2世[フランソワ1世の子] (~15590710)/アンリ2世の子フランソワ(のちのフランソワ2世)が王太子(ドーフアン)となる
- 1547年4月1日-01:00|フランス| |||<死去>サン=ポール伯「マリ1世」
- 1547年4月1日-01:00|フランス| |||<就任>サン=ポール伯「マリ2世」フランソワ2世(3世)の妹 (~1573年)
- 1547年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョ・アントニオ・レオナルド・ツリ」 「スタンゲリーノ・デ・イ・フランチェスコ・ベルツィ」
- 1547年4月9日 05:00|ペルー| |||ゴンサロ軍とテラガスカ軍がハキハグアで対戦/勝利したテラガスカ軍はクスコ入城
- 1547年4月10日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「ペドロ・デ・ラ・ガスカ」 (~15500127)
- 1547年4月12日-09:00|日本|大阪府茨木市|天文16年3月22日|<三宅城の戦い>香西与四郎、細川晴元に従い、細川持隆・三好長慶・十河・篠原らとともに、細川氏綱側の三宅国村が拠る三宅城を攻略
- 1547年4月19日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文16年3月29日|將軍足利義晴・義藤、山城国北白川城に入り9

1550迄 (2430件)

00余騎にて籠城

- 1547年4月20日-09:00|日本|茨城県筑西市|天文16年4月|下野国久下田城主水谷蟠竜齋は結城政勝の援を得て上総国庁南城主武田信熙の来攻を防戦し之れを破って撃退
- 1547年4月20日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文16年4月1日|細川晴元、京都北白川城を攻撃し吉田・鹿ヶ谷・浄土寺・北白川諸郷を放火、慈照寺を破却
- 1547年4月24日-01:00|ドイツ|||**カル5世**が**マルルク**の戦いで**プロスタント**諸侯の同盟軍を破る/シムルカルテン戦争が終結
- 1547年4月24日-01:00|ドイツ|||**カル5世**は、自身に敵対した**ザクセン**選帝侯**ヨハン・フリードリヒ**から選帝侯の資格を剥奪
- 1547年5月17日-09:00|日本|広島県福山市|天文16年4月28日|大内軍の毛利・小早川軍が備後外郡五ヶ荘に戦い尼子方の坪生要害(竜王山城)陥落
- 1547年5月19日-09:00|日本|奈良県北葛城郡広陵町|天文16年5月|大和・筒井順昭、箸尾為政を破り箸尾城を破却する
- 1547年5月29日-02:00|キプロス/イタリア|||**就任**>**ヴェネツィア**のキプロス副官**ヴァットリオ・デ・イ・アントレ・バルバリコ**(~1548年)
- 1547年5月29日 05:00|エアドル/スペイン|||**就任**>**スペイン**領事総督・総司令官代行**ロドリゴ・デ・サラザール**(~1556年)
- 1547年6月4日-01:00|ドイツ|||**即位**>**ザクセン**選帝侯**モリッツ**が**ケン**公(~1553/07/09死去)
- 1547年6月7日-09:00|日本/中国|||天文16年5月20日|室町幕府は、遺明使(僧策彦周良)に肥前五島を出発させる。医師吉田宗桂、遺明使に従って明に渡る
- 1547年6月13日-01:00|ハンガリー/トルコ|||**フェルディナント1世**と**トルコ**の和義が成り、西部ハンガリーの大半が**フェルディナント1世**に返還される
- 1547年6月18日-09:00|日本|山梨県|天文16年6月1日|武田晴信(信玄)、その家法「甲州法度之次第」26ヶ条を定め、甲斐・信濃に公布(検使・棟別銭・欠落逃散禁止・人返し等々の規定を含む)
- 1547年6月19日-01:00|ハンガリー/トルコ|||**オーストリア**・**ハンガリー**帝国は**オスマン**帝国へ従属(~1606/11/11)
- 1547年6月21日-04:00|ロシア|||**モスクワ**大火、住民はほとんど全部家を失う
- 1547年6月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文16年6月8日|今川義元、松平広忠からの支援要請を請け医王山(岡崎市舞木町城山)に築城して駿遠勢を駐屯
- 1547年6月27日-03:00|イェメン/トルコ|||**死去**>**オスマン**帝国将軍**Uveys Pasha**
- 1547年6月27日-03:00|イェメン/トルコ|||**就任**>**オスマン**帝国将軍**Ferhad Pasha**(~1549年)
- 1547年7月4日-09:00|日本|滋賀県大津市|天文16年6月17日|延暦寺が、日蓮宗の本能寺、本圀寺、法華寺と和睦
- 1547年7月12日-09:00|日本|大阪府池田市|天文16年6月25日|細川晴元方の三好長慶軍が池田城を無血開城させた
- 1547年7月13日-09:00|日本|大阪府高槻市|天文16年6月26日|細川晴元方の三好長慶軍が摂津芥川山城を無血開城させた
- 1547年7月28日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天文16年7月12日|**死去**>下総佐倉領主「千葉利胤」⇒子の「千葉親胤」が継ぐ(~弘治3年8月7日(1557/08/30)死去)
- 1547年7月29日-09:00|日本|茨城県結城市|天文16年7月13日|**死去**>下総結城氏15代当主「結城政朝」(69歳)
- 1547年8月4日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文16年7月19日|山城管領の細川晴元が、足利義晴・義輝父子の京都北白川城を攻撃/将軍義晴は勝軍地蔵山城に自ら火を放ち、近江坂本へ逃亡
- 1547年8月6日-09:00|日本|大阪府大阪市生野区|天文16年7月21日|**舍利寺**の戦い(摂津国)>摂津国東成郡の舍利寺周辺において、細川晴元方の三好長慶らの軍と細川氏綱・遊佐長教らの軍が激突し遊佐軍は精兵400人が討ち死にして敗走、ただ四国勢も50名以上が討ち取られた
- 1547年8月14日-09:00|日本|||天文16年7月29日|将軍足利義晴が細川晴元と和睦
- 1547年8月16日-09:00|日本|大阪府|天文16年閏7月|**交替**>摂津国守護「細川氏綱」解任⇒「細川晴元」再任(~天文21(1552)年1月隠居)
- 1547年8月20日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文16年閏7月5日|**高雄城**の戦い>細川晴元、細川国慶を高雄城に攻略/細川国慶、丹波国へ逃亡/細川晴元は神護寺・高山寺を焼打す
- 1547年9月9日-09:00|日本|長野県佐久市|天文16年閏7月25日|**志賀城**の戦い>武田晴信は信濃佐久郡へ侵攻、志賀城(城主笠原清繁)を攻撃/水の手占拠に成功
- 1547年9月10日-01:00|イタリア|||**死去**>**ハルマ**公**ヒェール・ルイジ・ファルネーゼ**「**ピエモンテ**」で暗殺される
- 1547年9月10日-01:00|イタリア|||**即位**>**ハルマ**公**オッターヴイオ**(~1586/09/16死去)
- 1547年9月10日 00:00|イギリス|||摂政**サマセット**公の率いる**イングランド**軍が**スコットランド**軍を破る
- 1547年9月14日-09:00|日本|栃木県小山市|天文16年8月|**福土味**の戦い>宇都宮俊綱が結城政勝・小山高朝と福土味で争い、敗北
- 1547年9月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文16年8月2日|松平広忠、竹千代(石川数正・平岩親吉・榊原康政・天野康景・上田慶宗・金田政貞・金田正房・松平忠正・平岩親長・村越平三郎・江原孫三郎・阿倍正勝28人、兵50人)を人質に駿府へ送る/田原城戸田弾正左衛門宗光・子戸田五郎政直、湖見坂で竹千代を奪い、家臣戸田又右衛門を遣わし織田信秀に送る。今川方飯尾勘助(飯尾乗連の弟)・戸田方戸田五左衛門と渡辺平馬・松平方金田政貞討死/竹千代を舟に乗せた後、林佐渡守通勝・岩室長門守百騎で兵船2艘で奪う/織田信秀、竹千代を熱田加藤図書順盛邸に拘束
- 1547年9月17日-01:00|ポーランド|||**死去**>**レクニツ**公**フレデリック2世**
- 1547年9月17日-01:00|ポーランド|||**就任**>**レクニツ**公**フレデリック3世**(~1551年)
- 1547年9月18日-09:00|日本|佐賀県神埼郡吉野ヶ里町|天文16年8月5日|**米田原**の戦い>龍造寺胤栄・隆信連合軍が少弐冬尚に大勝
- 1547年9月19日-09:00|日本|京都府京都市山科区|天文16年8月6日|本圀寺本堂再建

1550迄 (2430件)

- 1547年9月19日-09:00|日本|長野県北佐久郡御代田町|天文16年8月6日|<小田井原の戦い(信濃国)>甲斐守護武田晴信が、関東管領上杉憲政の志賀城救援の軍と小田井原で合戦となり板垣、甘利率いる武田軍は関東管領軍を一方的に撃破して敵将14.5人、兵3000を討ち取る大勝利
- 1547年9月24日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|天文16年8月11日|<高屋城の戦い>三好長慶が河内の若林に陣を配置して弟の三好義賢や安宅冬彦たちに畠山政国の高島城を攻めさせたが引き分けた
- 1547年9月24日-09:00|日本|長野県佐久市|天文16年8月11日|武田軍は信濃国志賀城の残る本曲輪を攻め、城主笠原清繁と関東管領からの援軍高田憲頼は討ち取られ落城/晴信(信玄)、佐久郡の平定を完了
- 1547年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジ・オ・ロ・ウ・イ・コ・テ・イ・マツォ・ベルツィ」(「ヒェール・パ・ロ・ホ・ネリ」(15480223死去)⇒「パ・ルト・ベルツィ」)
- 1547年10月8日-01:00|フランス| |||フランス王アンリ2世、異端を裁き、火刑に処するために、「パリ高等法院」内に別法廷「特設異端裁判所(火刑法廷)」(第二院)を設置/新教徒弾圧が強化される
- 1547年10月10日-09:00|日本|和歌山県岩出市|天文16年8月27日|紀伊の根来寺の多宝塔が67年の歳月を費やして完成
- 1547年10月14日-09:00|日本|栃木県小山市|天文16年9月1日|下野国河内郡宇都宮城主宇都宮尚綱が兵を発して同国下都賀郡小山城主小山野守高朝を攻めたが高朝は防戦し之れを破って撃退
- 1547年10月16日-09:00|日本|岐阜県|天文16年9月3日|織田信秀が美濃守護土岐頼芸を奉じ美濃へ侵攻/越前朝倉軍が土岐盛頼を奉じ美濃へ侵攻
- 1547年10月18日-09:00|日本|愛知県田原市|天文16年9月5日|<田原城の戦い>松平広忠が戸田康光の三河国田原城を攻撃し落城させる
- 1547年10月23日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「リッチ男爵リチャード・リッチ」(~15511221)
- 1547年10月26日 05:00|ペルー| |||チカ湖南東のワナで国王軍とゴンサロ派の衝突/ゴンサロ軍が、巧みな戦術で勝利
- 1547年11月 00:00|イギリス| |||ヘンリ8世時代の「信仰の6カ条」法が廃止される
- 1547年11月1日-09:00|日本|愛媛県西条市|天文16年9月19日|宇和郡福德寺住持楽雪音仏、山王権現社を造る
- 1547年11月4日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天文16年9月22日|<加納口の戦い>斎藤道三(山城道三)、美濃国稲葉山城下に於いて織田信秀軍を撃退
- 1547年11月10日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文16年9月28日|<渡村河原戦い>松平広忠、松平山城守信孝・上和田城主(上和田)松平忠倫と渡村河原戦い、敗れる
- 1547年11月18日-09:00|日本|京都府京都市|天文16年10月6日|<内野の戦い>細川国慶が畠山政国に加勢すべく内野西ノ京(山城国)に300余人を率い現れ、国慶に挑戦するため六角定頼は多賀豊高に軍勢200余を付けて遣わす/三好宗三と細川国慶、小泉秀清、今村慶満が戦い宗三が勝利、国慶は戦死
- 1547年11月28日-09:00|日本|佐賀県神埼市|天文16年10月16日|肥前・少弐冬尚、勢福寺城から筑後に敗走
- 1547年11月30日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文16年10月19日|松平広忠、寛平三郎重忠に命じ、上和田城松平三左衛門忠倫を暗殺
- 1547年12月 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督「ランスコ・デ・ビジャグラ・ベラスケス」(1回目~15490720)
- 1547年12月2日-01:00|スペイン/メキシコ| |||スペインのメキシコアステカ征服者コルテス死去
- 1547年12月2日-09:00|日本|愛知県碧南市|天文16年10月20日|<吉良・大浜の戦い(尾張国)>織田信長初陣(平手政秀ら八百人従軍)、大浜羽城長田重元を攻め放火し帰陣、那古野城→古渡城→熱田神宮→沓掛城→刈谷城→大浜羽城/大浜城主長田重元、織田信長軍と道場山(碧南市)で戦い撃退
- 1547年12月28日-09:00|日本|岐阜県|天文16年11月17日|<死去>美濃国守護「土岐頼純」美濃大桑城主⇒「土岐頼芸」再任(~天文21(1552)年追放滅亡)
- 1547年12月29日 10:00|日本|宮崎県日南市|天文16年11月18日|伊東軍、夜、目井城を攻略
- 1547年12月31日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文16年11月20日|<古渡城の戦い>清洲守護代織田信友家臣坂井大膳らが織田信秀の居城古渡城に攻め寄せ町に放火
- 1548年-08:00|インドネシア| |||<即位>グレスイク・ギリ君主「Sunan Prapen」(~1605年)
- 1548年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Nasirud-Din1世」(~1568年)
- 1548年-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「タライツン・ゴテン・ハン」(~1557年没)
- 1548年-07:00|ラオス/タイ| |||<死去>ランサン王朝国王「ホーティサ」
- 1548年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王朝国王「セターティラート」(~1571年死去)
- 1548年-05:30|インド| |||ニザーム・シャヒー朝がガヤニを奪取
- 1548年-05:30|インド| |||ラック国はハインド(ムガル)帝国によって占領された(~1551年)
- 1548年-03:30|イラン/トルコ| |||オスマン朝のスレイマン1世がイランに侵攻し、ヴァンを占領
- 1548年-03:30|イラン| |||サファビ朝がガズビーーンへ遷都
- 1548年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエ公「セバステアノ・ヴェネ」(~1550年)
- 1548年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ゾアラ・キープテン「フェルナン・デ・ソウザ・デ・メロウ」(~1551年)
- 1548年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「ヨアヒム」(~1562年死去)、「ヤン」(~1569年)、「インツ」2世、インツ3世(~1553年)共同統治
- 1548年-01:00|チャド| |||<即位>バギルミ王国スルタン「Malo, Mbangi」(~1568年)
- 1548年 00:00|イギリス| |||<死去>3代モートン伯「ジェームズ・ダグラス」
- 1548年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Juan Bautista de Ayora」(~1550年)
- 1548年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴルト・コースト長官「マルチム・デ・カストロ」(~1550年)
- 1548年 03:00|ブラジル| |||ペルナンブコでインディオの大反乱、砂糖産業はほぼ壊滅
- 1548年 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Alonso de Vargas + Francisco de Aguilar」(~1

1550迄 (2430件)

550年)

- 1548年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ペドロ・ラミレス・デ・キネホス」(2回目~同年)
- 1548年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サルバドル一般市長「ルイス・デ・ホア」(1回目~1550年)
- 1548年 07:00|メキシコ| |||北西部の辺境シワアで銀山発見/チチカ族居住地の北方サカカにメキシコ最大のサルカド銀山発見(一説に46年)
- 1548年1月 05:00|ペルー| |||コンサコ、クスコの地にペルー王国を開く(~1548410)
- 1548年1月2日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文16年11月22日|伊東軍、飢肥新城を落とす/城主北郷忠直戦死
- 1548年1月3日 04:00|ボリビア/スペイン/ペルー| |||ボリビアはペルー副王領の一部
- 1548年1月3日-09:00|日本|宮崎県|天文16年11月23日|伊東軍、島津忠親の居城に押し寄せる
- 1548年1月11日-09:00|日本|愛知県知立市|天文16年12月|知立神社神主永見淡路守貞英、戸田弾正宣光の為に焼かれ、水野氏家臣山岡伝五郎の重原城のあった重原に遷座
- 1548年1月12日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス島・コルヴォ島トナリ長官「Goncalo de Sousa da Fonseca」(~1593年)
- 1548年1月20日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||ポルトガルがブラジル総督府を設置
- 1548年1月23日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天文16年12月13日|北条氏康に上田又次郎内応、太田資正を岩付城に囲む
- 1548年1月23日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文16年12月13日|伊東義祐軍、日向隈谷城(北郷将監)を攻略
- 1548年1月31日-09:00|日本|広島県福山市|天文16年12月下旬|<神辺合戦(備後国)>大内・毛利の主力軍は陸路で神辺城を目指し、国境まで近づいてきた尼子氏の救援軍を、大内家臣小原隆言が退ける。山名家老の杉原盛重の奮戦もあって、神辺城の攻略にこそ至っていないものの、外郡に加えて内郡(備後国北部の内陸地域)も大内軍の勢力下となり、神辺城は孤立
- 1548年2月 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルでコレジオ・レアルが開校
- 1548年2月8日-01:00|フランス| |||<就任>シャテロ公「ジェームズ・ハミルトン」(~1559年称号剥奪)
- 1548年2月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中千種区|天文17年|織田信秀が末森城を築城。居城を末森城へ移す
- 1548年2月10日-09:00|日本|茨城県下妻市|天文17年|下館城主・水谷治持は真壁城主・真壁氏幹を誘い結城勢と同盟、下妻城の多賀谷重政を攻め/重政は結城政勝に降伏
- 1548年2月10日-09:00|日本|群馬県邑楽郡板倉町|天文17年|群馬雷電神社末社稲荷神社社殿できる
- 1548年2月10日-09:00|日本|鳥取県|天文17年|<死去>因幡国守護「山名誠通」山名氏の統一を目指した但馬国守護「山名祐豊」に敗死
- 1548年2月10日-09:00|日本|鳥取県|天文17年|<任命>因幡国守護「山名豊定」(~永禄3年3月3日(15600329)死去)
- 1548年2月10日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・景歴1年|大越莫朝・景歴と改元(-1553)
- 1548年2月10日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|天文17年1月|大隅清水で本田親広反乱
- 1548年2月10日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|天文17年1月|恒吉城攻め/都城主北郷忠相が攻略し肝付氏は退く
- 1548年2月10日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天文17年1月|北条氏康が岩槻城主太田資正を降して和す
- 1548年2月23日-01:00|イタリア/フランス| |||<解任>サルツォ侯「ガブリエレ」(~15480729死去)
- 1548年2月26日-03:00|イェメン/トルコ| |||オスマン帝国がポルトガルに占領されたアデンを奪還(~1551年)
- 1548年3月6日-09:00|日本|愛知県名古屋市中緑区|天文17年1月26日|今川軍、尾張大高城を攻撃するが敗退
- 1548年3月9日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・光照8年1月29日|<死去>後黎朝(大越)後期初代皇帝「荘宗黎寧」
- 1548年3月9日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・光照8年1月29日|<即位>後黎朝(大越)後期第2代皇帝「中宗黎暄」(~15560305死去)
- 1548年3月10日-09:00|日本|岐阜県可児市|天文17年2月|美濃烏峰城主斎藤正義が配下の久々利城主・土岐三河守久々利悪五郎に謀殺される
- 1548年3月10日-09:00|日本|福島県相馬市|天文17年2月|伊達晴宗、陸奥中村で相馬顕胤を破る
- 1548年3月10日-09:00|日本|長野県小県郡|天文17年2月1日|武田晴信は5000人の兵力を率い北信濃に向けて進軍を開始。武田軍は上原城で板垣信方の率いる諏訪衆や郡内衆と合流し、大門峠を越えて小県郡南部に侵攻
- 1548年3月23日-09:00|日本|長野県上田市|天文17年2月14日|<上田原の戦い(信濃国)>武田信玄が、上田原で村上義晴に敗れ、武将板垣信方・甘利虎泰らが戦死
- 1548年3月31日-09:00|日本|茨城県つくば市|天文17年2月22日|<死去>常陸小田領主「小田政治」56⇒嫡子の「小田氏治」が継ぐ(~天正18(1590)年失領)
- 1548年4月1日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<死去>ポーランド王「ジグムント1世スタウイ」兼リトアニア大公「ジギムント2世」81歳
- 1548年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・アントニオ・ベルツィ」
- 1548年4月1日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<即位>ポーランド王・リトアニア大公「ジグムント2世アウグスト」ジグムント1世の息子(⇒15690701ルブリク合同によってポーランド・リトアニア共和国ポーランド王・リトアニア大公~15720707死去)
- 1548年4月8日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ブリッジウォーター伯「ヘンリー・ド・ベネー」
- 1548年4月10日 05:00|ペルー/スペイン| |||<死去>ペルー副王「ゴンサロ・ピサロ・イ・アロンソ」クスコ郊外のハキワナでペドロ・デ・ラ・ガスカの率いる王党軍に敗れる
- 1548年4月16日-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「サルヴァトーレ・ディ・ルカ・ミエリ」(~1550年)
- 1548年4月27日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文17年3月19日|<第二次小豆坂の戦い(三河国)>小豆坂にて織田信秀、今川義元両軍は激突/今川軍が織田軍に大勝/織田信秀は弟の織田信光を上和田に残し、安祥城まで敗走
- 1548年4月30日-09:00|日本|福井県|天文17年3月22日|<死去>越前国守護「(朝倉氏第10代当主)朝倉孝景」⇒「朝倉義景」が継ぐ(~天正元年8月20日(15730916)死去滅亡)
- 1548年5月8日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文17年4月1日|酒井正親・石川清兼・大久保忠勝、山中城松平権兵衛重

1550迄 (2430件)

弘兄弟を攻落す

- 1548年5月12日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文17年4月5日|村上義清・小笠原長時らが諏方に侵入
- 1548年5月15日-01:00|ドイツ| |||ドイツの新旧両派がアウクスブルグで仮協定を締結
- 1548年5月21日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「エドワード・ベリック・ム卿」(~15491229)
- 1548年5月22日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文17年4月15日|<明大寺の戦い>明大寺(三河国)にて松平信孝と松平広忠軍の酒井正親・石川清兼が戦い酒井・石川が勝利/信孝は戦死
- 1548年5月26日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>グアテマラ内大審問院院長「アロンソ・ロペス・セラト」(~15550114)
- 1548年5月31日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|天文17年4月24日|三好長慶軍は引き続き遊佐長教の高屋城を包囲していたが、六角定頼の仲介により和睦が成立
- 1548年6月1日-09:00|日本|長野県佐久市|天文17年4月25日|村上義清、内山城を攻略し宿城を放火
- 1548年6月6日-05:30|インド/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領インド 総督「シヨアン・デ・カストロ」
- 1548年6月6日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ガルシア・デ・サ」(~15490613死去)
- 1548年6月6日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|天文17年5月|<創建>大長寺(鎌倉市岩瀬) 北条綱成
- 1548年6月6日-09:00|日本|広島県|天文17年5月1日|大内軍、宮次郎左衛門尉の要害を攻略
- 1548年6月10日-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第15代国王「ヨトファー(ケオファー)」
- 1548年6月10日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第16代国王「シーシン」(~15480831)
- 1548年6月11日-09:00|日本|大阪府池田市|天文17年5月6日|摂津国池田城主池田信正(久宗)が細川晴元の屋敷で切腹させられた/池田信正の後継は三好政長の外孫池田長正となり、三好政長は池田家へ介入を強め、これに三好長慶が反発
- 1548年6月22日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「洪彦弼」(~15490225)
- 1548年6月26日-01:00|ベルギー-| |||<就任>ベルギー-総督・摂政「マリア・フォン・ハブスブルグ」(~15551025)
- 1548年6月26日-01:00|ルクセンブルグ-| |||<就任>ルクセンブルグ摂政「マリア・フォン・ハブスブルグ」(~15551025)
- 1548年6月26日-01:00|ベルギー-| |||<即位>ベルギー-公「チャールズ 3世」(~15551025)
- 1548年7月-01:00|ドイツ/オランダ-| |||神聖ローマ帝国がネーデルラント 17州を帝国領となっているブルゴニエ公国に併合
- 1548年7月3日-09:00|日本|鹿児島県阿久根市|天文17年5月28日|東郷家と薩州家が合戦、東郷家の大船が阿久根沖にて沈没/合戦により東郷方40余人、薩州方30余人討ち死に
- 1548年7月6日-09:00|日本|長野県佐久市|天文17年6月|村上義清、大井行頼と共同して旧領の佐久岩尾城を回復
- 1548年7月6日-09:00|日本|長野県佐久市|天文17年6月|村上義清、田口城を落として田口長能を復帰させる
- 1548年7月7日-09:00|日本|広島県福山市|天文17年6月2日|陶隆房を総大将とした周防・長門の軍勢5000余騎に毛利元就と毛利隆元・吉川元春・小早川隆景・平賀隆宗・宍戸隆家・香川光景らの兵を加えた10000余騎で神辺城(山名理興)を攻撃
- 1548年7月15日-09:00|日本|長野県諏訪郡|天文17年6月10日|小笠原長時・仁科道外、再度下諏訪に乱入するが地下人に撃退される
- 1548年7月28日-09:00|日本|広島県広島市|天文17年6月23日|<神辺合戦(備後国)>吉川家の家督を継いで初の戦いとなる元春が、1,000余騎を率いて神辺城下に火を放ったところ、杉原左衛門太夫の手勢300余騎と交戦、これを見た杉原盛重が1,000余騎を率いて元春隊に攻めかかるが、勢い盛んな元春は押し返して城の柵際まで攻め、負傷し盛重が兵を退いた
- 1548年8月4日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文17年7月1日|諏訪西方衆の小坂氏・花岡氏らが武田に謀反を起こし上諏訪に乱入
- 1548年8月10日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文17年7月7日|伊東義祐、飢肥城を攻める/島津忠親これを撃退
- 1548年8月22日-09:00|日本|長野県諏訪市|天文17年7月19日|諏訪大社上社副祝が諏訪西方衆に同調し箕輪に去る
- 1548年8月22日-04:00|日本|長野県塩尻市|天文17年7月19日|<塩尻峠の戦い(信濃国)>夜明けに武田晴信、塩尻峠で小笠原長時を破り、松本平を制圧/小笠原長時は居城の林城に逃走
- 1548年8月31日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第17代国王「ウーラウオンサーティラト(ウーラウオンサー)」(~15481111死去)
- 1548年9月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイルバエイ「ガジ・ガシム・パシャ」(1回目~1551年5月)
- 1548年9月7日 00:00|イギリス| |||キャサリン・パ-没/36歳(誕生:1512) イングランド 王ヘンリー8世の第6の妃
- 1548年9月13日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|天文17年8月12日|別当大僧都元遍・願主権少僧都秀義・仏師橘能貞、駿河国分寺内千灯院本尊の薬師如来像を造立
- 1548年9月26日-09:00|日本|愛知県西尾市|天文17年8月25日|饗庭城で美濃軍敗退、鷹司八郎大輔康門・鶴飼弥八郎・筑摩弥三衛門吉長討死
- 1548年9月26日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天文17年8月25日|狩野元信らが摂津の石山本願寺の襖絵を描く
- 1548年9月29日-09:00|日本|愛知県田原市|天文17年8月28日|<田原城の戦い>戸田一門、田原城を開城し今川軍に降る/今川義元、田原城戸田堯光を滅ぼす、戸田光忠は碧海郡上野に、戸田吉光は加治に逃れる/今川方月谷郷を領す戸田孫七郎盛光討死
- 1548年10月1日-01:00|サンマリノ-| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジヤコモ・デ・イ・アントニオ・ジヤンニニ」「フランチェスコ・デ・イ・セバステアノ・オフリ」
- 1548年10月6日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|天文17年9月5日|島津氏は日当山を抜き遂に本拠・姫木城を包囲して本田薫親を降した
- 1548年10月7日-09:00|日本|宮城県|天文17年9月6日|<交替>陸奥国守護「伊達植宗」隠居⇒「伊達晴宗」本拠を西山城から米沢城へ移す(⇒天文24(1555)年、奥州探題~永禄8(1565)年隠居)

1550迄 (2430件)

- 1548年10月7日-09:00|日本|宮城県|天文17年9月6日|<天文の乱>将軍・足利義輝の仲裁を承けて、伊達植宗が隠居して晴宗に家督を譲るという条件で和睦が成立し、争乱は終結
- 1548年10月12日-09:00|日本|長野県佐久市|天文17年9月11日|武田晴信、反武田の佐久衆によって占領されていた前山城を攻め落とす
- 1548年10月16日-09:00|日本|長野県佐久市|天文17年9月15日|武田晴信、田口城を攻め落として田口長能は戦死
- 1548年10月27日-09:00|日本|長野県小諸市|天文17年9月26日|武田晴信、布引城に夜襲をかけるが失敗
- 1548年11月2日-09:00|日本|広島県三次市|天文17年10月2日|三吉致高、大願主として、三次郡畠敷王子権現の社殿を造立
- 1548年11月9日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文17年10月9日|島津貴久、清水城主本田薫親父子を攻め日向に遁走させる(後に自刃)
- 1548年11月11日-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第17代国王「ウーラウオンサーテイラト(ウーラウオンサー)」
- 1548年11月11日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第18代国王「チャクラハット」(~15640218)
- 1548年11月17日-01:00|フランス| |||パリ高等法院が、受難劇禁止令を出す
- 1548年11月28日-09:00|日本|大阪府大阪市城東区|天文17年10月28日|<榎並城の戦い>三好長慶方が榎並城を攻める
- 1548年12月4日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文17年11月5日|伊東氏、夜飢肥新山城を攻め、城兵これを撃退
- 1548年12月7日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文17年11月8日|今川義元・奉行岡部出雲守輝綱・奉行吉徳、吉田神社(豊橋市関屋町)造営
- 1548年12月8日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文17年11月9日|松平広忠が織田氏と通じた松平重弘が抛る本宿城を攻略
- 1548年12月18日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ハド・ロ・テ・メネス」(~15500616)
- 1548年12月19日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天文17年11月20日|斉藤道三、織田信秀の西美濃の拠点大垣城を奪取/織田信秀は美濃国の領地を全て失う
- 1549年-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「ムザ・ファル・シャー1世」
- 1549年-08:00|インドネシア| |||<即位>トマク王国スルタン「アルヨ・パンサン」(~1554年)
- 1549年-08:00|インドネシア| |||<即位>パシヤン君主「Jaka Tingkir」(~1587年)
- 1549年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「マンスール・シャー1世」(~1577年没)
- 1549年-05:00|カザフスタン| |||<死去>ガイ・オルダ・ハン「Mamay Khan」
- 1549年-05:00|カザフスタン| |||<即位>ガイ・オルダ・ハン「Yosuf Khan」(~1555年)
- 1549年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第8代ハン「アカイ・エメクの子」(~1557年)
- 1549年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Mohamed3世 Singa Bavana」(~1551年)
- 1549年-04:00|ロシア| |||<死去>ガザン・ハン「サファ・ゲレイ」
- 1549年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「ヤムゲルチ」(2回目~1550年)
- 1549年-04:00|ロシア| |||<即位>ガザン・ハン「オーテミシュ・ゲレイ」(~1551年)
- 1549年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Ozdemir Pasha」(~1555年)
- 1549年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「ムハンマド・パシヤ」(1回目~1550年)
- 1549年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「カバド・パシヤ」(~1562年)
- 1549年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルベイ「オスマン・パシヤ」(~1550年)
- 1549年-01:00|スペイン| |||<死去>5代メティナシトニア公「アロンソ・ベレス・デ・グスマン・イ・デ・グスマン=スニガ」
- 1549年-01:00|イタリア| |||<死去>ゲラチーナ公「フェルディナント1世・オルシニ」
- 1549年-01:00|スペイン| |||<就任>6代メティナシトニア公「ファン・アロンソ・ベレス・デ・グスマン・イ・デ・グスマン=スニガ」(~15581126死去)先代の弟
- 1549年-01:00|ポーランド| |||<就任>ポーランド公「ボヘミア王フェルディナント1世」(~1551年)
- 1549年-01:00|ポルトガル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル総督「ムハンマド・カン・スルタン・リオール」(~1550年)
- 1549年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Antao de Noronha」(~同年)⇒「Martim Correia da Silva」(1期目~1550年)
- 1549年-01:00|ロシア/マタ| |||<就任>マタ騎士団のトリポリタニア総督「ハド・ロ・ヌエス・デ・エレラ」(~1551年)
- 1549年-01:00|イタリア| |||<即位>ゲラチーナ公「アントニオ・オルシニ」(~1553年死去)
- 1549年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||スペインがポルトガル近辺をラプラタと改名し、ポトシ開発を本格化
- 1549年-01:00|フランス| |||ペレーが「フランス語の擁護と顕揚」を刊
- 1549年 00:00|モロッコ| |||<死去>ワッター朝スルタン「アブー・アル・アッバース・アフマド・イブン・ムハンマド」サアド朝勢力がフェスに入城し捕えられる
- 1549年 00:00|イギリス| |||<就任>初代マリ伯「ジョージ・ゴード」第4代ハントリー伯(~15621028死去)
- 1549年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Rodrigo Manrique de Acuna」(1期目~1553年)
- 1549年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「クリストヴァン・デ・ロサレス」
- 1549年 00:00|モロッコ| |||<即位>ワッター朝スルタン「アリー・アブー・ハサン」(~1554.9死去)
- 1549年 00:00|セネガル| |||<独立>ケゴール国
- 1549年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ファイアル島・ピコ島トナリア長官「Manuel de Utra Corte Real」(~1553年死去)
- 1549年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「サント・ドミンゴ 司教アロンソ・デ・フエンマール」(3回目~1556年)

1550迄 (2430件)

- 1549年 05:00|ペル| |||<即位>インカ帝国(ス°イン傀儡)サハ°インカ:カロス°ハ°ウリウ°インカ(~1572年)
- 1549年 06:00|コスタリカ/ス°イン| |||<就任>ヌバ°カルゴ 総督(名目上)「ファン°ペ°レス°テ°カブレラ」
- 1549年1月 05:00|パ°ナマ/ス°イン| |||<就任>パ°ナマ総督「ファン°ハ°ルバ°デ°バ°ジ°エ°シ°ジョ」(~1550年)
- 1549年1月4日-01:00|イ°タリア| |||<就任>ジ°エ°ヴ°ア共和国ト°ジ°エ「カ°ス°レ°ゲ°リ°マル°テ°イ°ブ°ラセリ」(~15510104)
- 1549年1月7日 03:00|プ°ラジ°ル/ポ°ルトガル| |||<就任>ポ°ルトガル領プ°ラジ°ル総督「ト°メ°テ°ソウサ」(~15530713)
- 1549年1月17日 00:00|イ°ギリス| |||ト°マス°シー°モア卿が逮捕される/罪状は反逆罪で王位を狙う陰謀
- 1549年1月18日-01:00|イ°タリア| |||ベ°ネツィアでサンタ°ジ°ョヴァンニ°エ°パ°オに出版業者及び書店の組合設立
- 1549年1月21日 00:00|イ°ギリス| |||イ°リスで礼拝統一法を制定/共通祈禱書を唯一の礼拝洋式と定める
- 1549年1月25日-09:00|日本|京都府京都市|天文17年12月27日|<就任>関白「二条晴良」(~天文22年正月20日)
- 1549年1月28日-09:00|日本|新潟県|天文17年12月30日|<交替>越後春日山領主「長尾晴景」隠居⇒弟の「長尾景虎」
- 1549年1月29日-09:00|日本|岩手県岩手郡雫石町|天文18年|奥州高水寺城主「斯波詮高」が南部氏の雫石城を攻め落とし斯波詮貞を城主とした
- 1549年1月29日-09:00|日本|岩手県紫波郡紫波町|天文18年|<死去>陸奥高清水領主「斯波詮高」⇒嫡男の「斯波経詮」が継ぐ(~不詳)⇒嫡男の「斯波詮真」(~不詳)⇒嫡男の「斯波詮直」(~天正20(1590)年失領)
- 1549年1月29日-09:00|日本|大阪府河内長野市|天文18年|観心寺訶梨帝母天堂できる
- 1549年1月29日-09:00|日本|北海道|天文18年|蝦夷支配者「蠣崎季広」アヌの首長である東地のチモクイン及び西地のハシタインと和睦し、道南地方の支配権を確立
- 1549年1月29日-07:00|ベ°トナム| ||大越黎朝・順平1年|大越後黎朝2代・中宗が順平と改元(-1556)
- 1549年1月29日-09:00|日本|岡山県瀬戸内市|天文18年1月|備前・浦上宗景、砥石城に拠って背いた宇喜多大和討伐のため、宇喜多直家を遣わし砥石城攻略
- 1549年2月3日-01:00|フランス| |||<即位>オルアン公「ルイ3世」(~15501024, 死去/1歳)
- 1549年2月4日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<死去>リウ°ォニア騎士団団長「ヘルマン°フ°リュック°ゲ°ネイ°ハー°ゼン°カンフ」将軍
- 1549年2月4日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リウ°ォニア騎士団団長「ヨハン°フォン°テ°ア°レック」(~15510518没)
- 1549年2月8日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天文18年1月11日|<伊丹城の戦い>三好長慶が伊丹城伊丹親興を攻め、伊丹親興は籠城
- 1549年2月14日-09:00|日本|愛知県名古屋市守山区|天文18年1月17日|織田信清(尾張国犬山城主)・筑後守寛貞(尾張国楽田城主)が織田信秀に謀反、春日井原を經由し竜泉寺周辺を放火/織田信秀は尾張国末盛城より織田信秀軍(備後殿御人数)を差し撃つ
- 1549年2月16日-03:30|イ°ラン| |||イ°ラン°カンで地震(M6.7)、死者3千人
- 1549年2月22日 04:00|ド°ミニカ共和国| |||ス°イン領西インドでインコミンタ°制が廃止
- 1549年2月25日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|天文18年1月28日|井伊郷住人、六所大明神(引佐町川名)社殿造立
- 1549年2月27日-04:00|ロシア| |||ロシア°ツァーリ「イヴァン4世雷帝」が、ロシア初の身分制議会のゼ°ムスキ°ソボル(全国会議)を召集
- 1549年2月28日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天文18年2月|今川治部大輔義元、善得寺(富士市今泉)末寺興国寺(沼津市根古屋)を廃絶した蓮光寺道場跡地に移し新たに真如寺を建立
- 1549年3月1日-09:00|日本|福島県南相馬市|天文18年2月2日|<死去>陸奥小高領主「相馬顕胤」⇒嫡男の「相馬盛胤」が継ぐ(~天正6(1578)年01月隠居)
- 1549年3月10日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文18年2月11日|<岡城の戦い>松平広忠、岡城(故松平信孝)攻め城兵降参
- 1549年3月14日-09:00|日本|岡山県倉敷市|天文18年2月15日|毛利元就ら、大内義隆の命で三村家隆に合力し、備中国猿掛城主穂田元資を攻める元資降伏
- 1549年3月19日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文18年2月20日|伊東家と豊州島津家が飢肥井手ノ尾にて合戦.勝負は決さず
- 1549年3月20日 00:00|イ°ギリス| |||ト°マス°シー°モア卿がジ°ェン°ゲ°レの陰謀に加担したとして処刑される(誕生:1508頃) サマセット公ト°ワード°シー°モアの弟
- 1549年3月23日-09:00|日本|愛知県|天文18年2月24日|織田信長が美濃齊藤道三の娘・濃姫と結婚
- 1549年3月25日 00:00|マリ°ニジ°ェール| |||<死去>ソグ°アイ帝国皇帝「アスィア°イ°ヤク1世」
- 1549年3月25日 00:00|マリ°ニジ°ェール| |||<即位>ソグ°アイ帝国皇帝「アスィア°ダ°ウト」(~1582年8月)
- 1549年3月25日-09:00|日本|広島県東広島市|天文18年2月26日|多賀山通統,大檀那として,恵蘇郡南大宮八幡宮の社殿を造立
- 1549年3月29日 00:00|ポ°ルトガル/プ°ラジ°ル| |||ソウサ°,ト°ヒ°族を味方とし反乱鎮圧に成功
- 1549年3月29日 00:00|ポ°ルトガル/プ°ラジ°ル| |||ポ°ルトガルがフバ°イ°ア°テ°ト°ス°オ°ス°サント°ス州サルバ°ドルに総督府設置、初代総督のソウサ°が着任
- 1549年3月29日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文18年3月|加治木城主・肝付兼演は入来院重朝、東郷重治、及び帖佐・祁答院良重、蒲生・蒲生範清らと謀って島津氏に叛す
- 1549年3月29日-09:00|日本|大阪府大阪市東淀川区|天文18年3月1日|<柴島城の戦い>三好長慶が榎並城の西側に位置する摂津中嶋城に兵を送り、政長派の細川晴賢(細川政賢の孫)がいる堀城と榎並城の中間の柴島城を攻めさせ、救援に来た政長を破り柴島城も落として榎並城に追った/政長は親興の居城伊丹城に退却
- 1549年3月31日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文18年3月3日|堪阿弥陀仏,厳島神泉寺を建立
- 1549年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジ°ュリア°ノ°テ°イ°マリ°ノ°リ°キ」 「ジ°ロ°ラ°モ°テ°イ°エ°ヴァン°ジ°ェリ°スタ°ベルツィイ」
- 1549年4月3日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文18年3月6日|<死去>三河国額田郡岡崎城主「(安城松平家8代当主)

1550迄 (2430件)

- 松平広忠、佐久間全孝の謀略により岡崎城で家臣岩松八弥に刺殺される
1549年4月6日-09:00|日本|長野県佐久市|天文18年3月9日|芦田信守、春日城を復旧させ武田の小県郡の拠点にする
- 1549年4月7日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文18年3月10日|今川義元、三河岡崎城を接收して鳥居忠吉・阿部正澄・石川康成・松平光親に租税・雑務を管理させる
- 1549年4月9日-09:00|日本|愛知県安城市|天文18年3月12日|太原崇孚が岡の城攻め、城将織田三郎五郎信広は遁れて安祥城に楯籠もる/尾張勢殿軍平手将監清秀5百騎を、岡崎勢大久保忠俊・阿部定吉・本多忠高3百余夜襲にて敗走させる
- 1549年4月11日-09:00|日本|長野県小諸市|天文18年3月14日|布引城の望月源三郎が真田幸綱の調略に応じて武田に出仕/武田晴信、望月源三郎に所領を与える
- 1549年4月16日-09:00|日本|愛知県安城市|天文18年3月19日|<安祥城の戦い>今川義元・雪斎和尚(太原崇孚)の軍勢が、岡崎松平勢と共に、織田方山崎城攻略
- 1549年4月24日 00:00|イギリス| ||<死去>ウェストモラント伯「ラルフ・ホークウッド」
- 1549年4月24日 00:00|イギリス| ||<就任>ウェストモラント伯「ハリー・ホークウッド」先代の子(~1563. 8死去)
- 1549年4月30日-09:00|日本|長野県佐久市|天文18年4月3日|武田晴信、佐久郡春日城を攻略
- 1549年5月3日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文18年4月6日|飢肥中尾で合戦/伊東軍敗北し山東へ撤退/東郷・祁答院・入来院、島津貴久に謝罪
- 1549年5月9日-09:00|日本|高知県四万十市|天文18年4月12日|<死去>土佐幡多郡領主(中村城)「一条房基」⇒子の「一条兼定」(~天正元(1573)年09月隠居)
- 1549年5月27日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|天文18年5月1日|伊丹城の三好政長・伊丹親興軍が富松城を攻めたが落城させることは出来ず退却
- 1549年5月28日-09:00|日本|大阪府高槻市|天文18年5月2日|細川晴元は、三宅城の守将香西元成に命じ、味方の六角軍の来援に備えて芥川山城を攻めさせたが、香西元成の軍勢が惣持寺の西川原で三好長逸の軍勢に阻止される
- 1549年6月-01:00|ドイツ/オランダ| ||ネーデルラントの17州が神聖ローマ帝国から独立
- 1549年6月 00:00|イギリス| ||イギリスで困りこみに対するケットの乱が勃発
- 1549年6月4日-09:00|日本|大阪府堺市|天文18年5月9日|細川氏綱を擁する三好長慶・遊佐長教方と細川晴元方の畠山在氏が堺北庄における戦いにて畠山在氏が敗北没落
- 1549年6月13日-05:30|イット/ポルトガル| ||<死去>ポルトガル領イット 総督「ガリア・デ・サ」
- 1549年6月13日-05:30|イット/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領イット 総督「ルイス・カブラル」(~1550年11月)
- 1549年6月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李穡」(~15510918)
- 1549年6月24日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文18年5月29日|<黒川崎の戦い>伊集院忠朗が暴風に乗じた奇襲策で肝付兼演を破り降伏させる/この戦いで初めて鉄砲が使用されたと言われる
- 1549年6月25日-09:00|日本|京都府|天文18年6月|<解任>山城国守護「細川晴元」
- 1549年7月6日-09:00|日本|大阪府大阪市東淀川区|天文18年6月12日|<江口の戦い>摂津江口において三好長慶軍と同族の三好政長が衝突/近江から馳せつけた政長方の近江の武将新庄直昌が戦死
- 1549年7月14日 04:30|スペイン| ||<就任>スペイン領「ヌエボ・エスパニャ」暫定総督「Juan Ruiz de Villegas y Maldonado」(~15530612死去)
- 1549年7月18日-09:00|日本|大阪府大阪市東淀川区|天文18年6月24日|<江口の戦い>攝津・十河一存(三好長慶末弟)、江口で細川晴元に味方する三好政長を破り、三好政長敗死/細川晴元政権は崩壊、細川晴元、京都嵯峨へ逃亡
- 1549年7月20日 04:00|スペイン| ||<就任>リオン総督「ペドロ・デ・バルブエナ」(2回目~15531225, トゥカールの戦いで戦死)
- 1549年7月21日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文18年6月27日|細川晴元、足利義晴・足利義輝を擁し東山へ退く
- 1549年7月22日-09:00|日本|滋賀県大津市|天文18年6月28日|細川晴元、近江国坂本へ逃亡
- 1549年7月24日-08:00|中国| ||明・嘉靖28年7月|海賊の王直が倭寇とくんで沿海地方を却略
- 1549年7月25日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文18年7月1日|大願寺尊海、本願として、弥山神護寺の御堂1宇を造立
- 1549年7月31日 00:00|フランス/諸島| ||サーク島はJean du Breilの下でフランスが占領(~15530907)
- 1549年8月2日-09:00|日本|京都府京都市|天文18年7月9日|三好長慶は氏綱を伴い上洛、事実上京都を手中に収めた
- 1549年8月3日-09:00|日本| ||天文18年7月10日|<死去>冷泉為和(64歳)権大納言、歌人
- 1549年8月8日-01:00|フランス/イギリス| ||フランスがイギリスに宣戦布告
- 1549年8月12日-01:00|フランス/イギリス| ||フランス軍がブローニュを攻囲
- 1549年8月15日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文18年7月22日|フランス・コ・ザビエルが日本に初めて上陸(鹿児島市)【日本最初のキリスト教伝道者】
- 1549年8月23日-09:00|日本|高知県香美市|天文18年8月|土佐・長宗我部国親、山田氏を滅ぼし、下田・十市氏らを平定する
- 1549年8月30日-09:00|日本|三重県伊勢市|天文18年8月8日|<死去>荒木田守武(77歳)伊勢神宮神官、連歌師
- 1549年9月-02:00|エジプト/トルコ| ||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「タウクト・ハッシャ」
- 1549年9月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督代行「ラウ・カラムスタファ・ハッシャ」(~数ヶ月)⇒総督「セルムス

1550迄 (2430件)

・アリ・パシヤ (~1553年)

- 1549年9月21日-09:00|日本|静岡県袋井市|天文18年9月|可睡齋8世天陽一超、久福山門永寺(袋井市中久能)開創
- 1549年9月21日-09:00|日本|静岡県袋井市|天文18年9月|可睡齋8世天陽一超、白雲山久昌寺(袋井市下久能)開創
- 1549年9月21日-09:00|日本|静岡県袋井市|天文18年9月|清溪玄泉庵主(内藤家祖先)、可睡齋8世天用一超開山に、泉谷山玄泉庵(袋井市宇刈)開基
- 1549年9月24日 11:00|日本|長野県小諸市|天文18年9月4日|<平原城合戦>武田晴信は、反旗を翻した平原城を攻め放火。城内へ雪崩込み勝利
- 1549年9月24日 11:00|日本|広島県福山市|天文18年9月4日|<神辺合戦>大内氏・毛利氏に攻められ夜、理興氏と山名理興(尼子氏側勢力)は備後国神辺城を捨てて逃亡、出雲国に尼子氏を頼る
- 1549年9月26日-09:00|日本|愛媛県東温市|天文18年9月6日|津島通孝・東通良ら、岩松郷吉井神社殿を造る
- 1549年9月27日-09:00|日本|長野県小諸市|天文18年9月7日|信濃・武田信玄、佐久地方の平原城攻略する
- 1549年10月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Cristovao de Sa」(~1550.10)
- 1549年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメ・ベルツィ」「リナルド・ディ・ジョヴァンニ・バルティ」
- 1549年10月7日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|天文18年9月17日|<死去>下野宇都宮領主「宇都宮尚綱」⇒子の「宇都宮広綱」が継ぐ(~天正4年08月07日(15760830)死去)
- 1549年10月7日-09:00|日本|栃木県さくら市|天文18年9月17日|<喜連川五月女坂の戦い(下野国)>下野国河内郡宇都宮城主宇都宮尚綱は下総国古河御所足利晴氏の命によりて芳賀高綱を陣代として下野国喜連川の五月女坂に出陣し下野国那須郡烏山城の那須高資や大関高増らと戦い射殺されて敗北
- 1549年10月8日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|天文18年9月18日|福島九郎正室の朝倉氏、岩瀬(鎌倉市)大長寺に寿像を納める
- 1549年10月10日-09:00|日本|愛知県西尾市|天文18年9月20日|<西条城の戦い>今川軍、西条城(西尾市錦城町)吉良義安攻め、大村弥三郎綱次が端城に於て随分の者討取る/今川義元、織田方に通じた西条城を攻め、吉良家当主吉良左兵衛佐義堯(妻は今川義元の姉)、御馬強馬にて敵の中に引入れ討死/今川義元、西条城(西尾市錦城町)城主に吉良上野介義安とする
- 1549年10月12日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<死去>ハンガリー王室総督「ハルウ・アルタ・イスク・アルタ」
- 1549年10月12日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督代行「フェレンツ・レウ・アイ・シュクラビ・ナ・イス・ブラトニエ」(2回目~15500412)
- 1549年10月27日-01:00|フランス| |||<死去>ルテル伯「マリー・ダルク・レ」
- 1549年10月27日-01:00|フランス| |||<就任>ルテル伯「フランソワ1世」ヌヴェール公(~15610213死去)
- 1549年11月4日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督「ゴンサロ・ペレス・デ・アンクロ」(~15560308)
- 1549年11月8日-09:00|日本|愛知県安城市|天文18年10月19日|松平軍、矢作川西岸の山崎城を攻略
- 1549年11月9日-01:00|イタリア| |||<即位>パルマ公「オッターヴイオ」(~15860918死去61歳)
- 1549年11月10日-01:00|バチカン| |||<死去>第220代ローマ教皇「パウル3世」81歳(誕生14680229)ハリー8世を破門した
- 1549年11月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ウスター伯「ヘンリー・サマセット」
- 1549年11月26日 00:00|イギリス| |||<就任>ウスター伯「ウリアム・サマセット」先代の子(~15890221死去)
- 1549年11月27日-09:00|日本|愛知県安城市|天文18年11月9日|<第四次安城合戦>今川義元は太原崇孚に命じ再び織田信広を三河国安祥城に攻めて捕らえ人質とする/織田信秀は西三河の拠点を失う
- 1549年11月28日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文18年11月10日|西広瀬城(豊田市猿投町西広瀬)が落城
- 1549年11月28日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文18年11月10日|今川・織田人質交換/尾張笠寺で、織田信広・竹千代(後の徳川家康)を交換
- 1549年12月11日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文18年11月23日|<上野端城の戦い>今川軍、上野南端城酒井左衛門佐忠次を攻落/上野端城攻落
- 1549年12月21日-01:00|フランス| |||<死去>ペリー公「マルク・リット・ド・ナヴァル」57歳(誕生14920411)ナヴァル王妃
- 1549年12月29日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「フランス・ブライアン卿」(~15500202没)
- 1549年12月29日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文18年12月11日|大隅加治木城肝付兼演父子が島津氏に降伏、祈答院良重、入来院重朝、東郷重治も謝罪
- 1550年-05:30|インド| |||<建国>ソハワル国
- 1550年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「ダルクイッシュ・アリー」(2回目~1552年)
- 1550年-04:00|オスマン/トルコ| |||マスカットはヒレリスの下でオスマン帝国に占領された(~1551年)
- 1550年-04:00|ロシア| |||ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」の法典が成立
- 1550年-03:30|イラン| |||<即位>パダスパニド朝(Nur)君主「Kayumarth4世」(~1576年)
- 1550年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「ベラム・パシヤ」⇒「アリ・タマルト・パシヤ」(~1551年)
- 1550年-03:00|ウガンダ| |||<設立>ブラキ国
- 1550年-03:00|スーダン| |||<即位>ファンジ王国スルタン「Abd al-Qadir1世」(~1557年)
- 1550年-03:00|サウジアラビア/カタル/トルコ| |||アルハサ、カタルはオスマン帝国の一部(~1670年)
- 1550年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<死去>リウオニアのレヴァル司令官「レンメルト・フォン・シャレンベルク」
- 1550年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルベイトウカギンサテ・メフメト・パシヤ」(~1553年)
- 1550年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ルイジ・レニエ」(~1552年)
- 1550年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ヒリ・パシヤ」(2期目~1551年)
- 1550年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リウオニアのレヴァル司令官「ロルフ・フォン・ベンツェンラーデ」(~1552年)
- 1550年-02:00|ザンビア| |||<設立>ブロージ(ハロツェ)王国
- 1550年-01:00|フランス| |||<就任>オマル公「Claude2世」(~15730303死去)

1550迄 (2430件)

- 1550年-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「ハデ・イム・アリ・ベ・イ」(~1551年)
- 1550年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro de Meneses」(~1553年)
- 1550年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ザイヤーン朝スルタン「アル・ハサン・ベン・アブ・ムー」(~1556年オスマン帝国に併合)
- 1550年-01:00|ベナン| |||外からの移民によってアラゴのフォン王国が設立される
- 1550年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Hernan, duque de Estrada」(~1551年)
- 1550年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴート・コースト長官「デ・イゴ・ソリス・デ・アルベ・ルカリア」(2回目~1552年)
- 1550年 04:00|トミニカ共和国| |||この頃、エパ・ニュー島のタイノ族絶滅
- 1550年 05:00|ジャマイカ| |||6万の人口を数えたジャマイカのアラワク先住民が絶滅
- 1550年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「サンチョ・デ・クラベ・ホ」(~1553年)
- 1550年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「ファン・ハス・カステ・コロト・イ・アナヤ」(~1552年)
- 1550年 06:00|ニカラガア/パナマ| |||コントレラス兄弟はニカラガアでの権利を復活しようと、ニカラガアおよびパナマで反乱/ペルーから駆けつけたペドロ・テ・ラ・ガスカにより、反乱は鎮圧される
- 1550年1月17日-09:00|日本|愛知県名古屋市中千種区|天文18年12月11日|織田信秀、古渡城を破却し、新たに築城した末森城(名古屋市中千種区城山)に移り今川勢に対応
- 1550年1月18日-09:00|日本|大阪府|天文19年|<交替>和泉上半国守護「細川晴貞」⇒「細川元常」再任(~天文23年06月16日(15540715)死去)
- 1550年1月18日-09:00|日本|佐賀県|天文19年|<交替>肥前大村今富領主「大村純前」隠居⇒子の「大村純忠」(天正15(1587)年3月本領安堵~同年5月18日(15870623)死去)
- 1550年1月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ウイルトシャー伯「ウィリアム・ホーレット」(~15720310死去)
- 1550年1月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ベッドフォード伯「ジョン・ラッセル」(~15550314死去)
- 1550年1月22日-05:30|インド| |||<死去>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「ジャム・シード・クリー・クトゥブ・シャー」
- 1550年1月22日-05:30|インド| |||<即位>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「スプ・ハーン・クリー・クトゥブ・シャー」(~同年死去)⇒「イブラヒム・クリ・クトゥブ・シャー」(~15800605死去)
- 1550年1月27日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「大審問院」(~15510923)
- 1550年2月-01:00|スペイン/イタリア| |||アギレ指揮下のスペイン軍先陣、ヒョレ・オ川近くに進出、アンダリエンでアラウカ族と激戦。大きな損害を受けコネグ・シオンまで撤退
- 1550年2月2日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド 副卿「フランス・ブライアン卿」
- 1550年2月2日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ウィリアム・ブラバゾン卿」(3回目~9.10)
- 1550年2月3日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 連邦大蔵卿兼首席アドバイザー「ウィルトシャー伯・ウインチェスター侯ウィリアム・ホーレット」(~15720310)
- 1550年2月3日-09:00|日本|愛知県犬山市|天文19年1月17日|織田備後守が末盛城より出陣し、龍泉寺下、柏井口へ出陣した犬山・樂田衆を破る/樂田城主は織田筑後守寛貞
- 1550年2月7日-01:00|パチン| |||<就任>第221代ローマ教皇「ユリウス3世」(~15550323死去)
- 1550年2月22日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ公「フランチェスコ3世・ゴンザーガ」兼モンフェerrat侯「フランチェスコ1世」
- 1550年2月22日-01:00|イタリア| |||<即位>マントヴァ公兼モンフェerrat侯「グリエルモ・ゴンザーガ」(⇒1574年マントヴァ公兼モンフェerratト公~15870814死去)
- 1550年2月22日-01:00|イタリア| |||<即位>モンフェerrat侯「グリエルモ10世(マントヴァ公グリエルモ)」フェデリコの子、グリエルモ9世の孫(⇒1574年モンフェerratト公~15870814死去)
- 1550年2月26日-09:00|日本|大分県大分市|天文19年2月10日|<大友二階崩れの変>大友氏第20代当主・大友義鑑は、正室の子である義鎮を嫡男と決定していたが、側室の子である三男の塩市丸を後継者としたと考え、義鎮を廃嫡しようとしていた/津久見美作、田口鑑親ら大友家重臣、義鎮派の一部が、大友館の2階で就寝していた義鑑と塩市丸、そしてその生母を襲撃し塩市丸とその生母が死亡、義鑑は重傷を負う。津久見・田口の両名はその場で壮絶な最期を遂げた
- 1550年2月28日-09:00|日本|大分県|天文19年2月12日|<死去>豊後・肥後国守護「大友義鑑」、10日に家臣に襲われた(二階崩れの変)傷がもとで/49歳⇒子の「大友義鎮」が継ぐ(~天正4(1576)年正月隠居)
- 1550年3月7日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<死去>ハインリッヒ公「グイルヘルム4世」
- 1550年3月7日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>ハインリッヒ公「アルブレヒト5世」グイルヘルム4世の息子(~15791024)
- 1550年3月14日-09:00|日本|新潟県|天文19年2月26日|<死去>越後国守護「上杉定実」越後守護の上杉家断絶
- 1550年3月16日-09:00|日本|新潟県|天文19年2月28日|<任命>越後国主「長尾景虎」名実ともに越後国主の地位につく(~天正6(1578)年3月13日死去)
- 1550年3月20日 00:00|チャリ諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-知事「Hugh Paulet卿」(~15731206死去)
- 1550年3月20日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 諸島のコレヒトル/治安判事「ルイス・ピメンテル」(~1551年没)
- 1550年3月24日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス王アンリ2世、イングランド 王ヘンリ-8世と和平/フランス、フランス北部のブーローニュを40万リブルでイングランド から買い戻すことを決める
- 1550年3月31日-09:00|日本|熊本県|天文19年3月14日|<就任>肥後国主「菊池義武」隈本城主の鹿子木鎮国が菊池氏旧臣田島重実と謀って菊池家再興の旗印を挙げた(~天文23年11月20日(15541214)死去滅亡)
- 1550年4月 05:00|コロンビア| |||カルロス1世、北アンデスをヌエバ・レイン・デ・グアラナと命名。ボゴタを首都と定め、サント・ミンゴからペルー副王領の管轄に移す
- 1550年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ホロロ・ルカテ・イニ」「ヒェンリ・オ・デ・イ・マッテオ・トウラ」
- 1550年4月5日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文19年3月19日|京住本寺日辰京上行院・住本寺を合併して要

1550迄 (2430件)

法寺と号し京五条坊門綾小路堀川に建立

- 1550年4月12日-01:00|フランス| |||<死去>ギース公「クロト」
- 1550年4月12日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督「フェレンツ・ウジヤキ」(~15540313)
- 1550年4月12日-01:00|フランス| |||<即位>ギース公「フランソワ」(~15630224ユグノー戦争で暗殺される)
- 1550年4月14日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天文19年3月28日|三好長慶、細川晴元方の摂津・伊丹城の伊丹親興を遊佐長教の仲介により開城させる
- 1550年4月16日-01:00|スペイン| |||スペイン王カルロス1世がインディアスでの征服活動を当面禁止
- 1550年4月19日-09:00|日本|愛知県豊川市|天文19年4月3日|星野日向守行明、星野山行明寺開基
- 1550年4月20日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文19年4月4日|足利義晴が北白川(山城国)に將軍山城を築く
- 1550年4月29日-01:00|フランス| |||<就任>ペリ公「マルグリット」フランソワ1世の娘、サヴォワ公エマヌエル・フィリップの妃(~15740915死去)
- 1550年4月30日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ国王「タウンシュヘティ」モン族の反乱鎮圧に向かい戦死
- 1550年4月30日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ国王「ハイウン」(~15811010没)
- 1550年5月3日-09:00|日本|愛知県名古屋市中南区|天文19年4月17日|寺部城の山口俊良・山口重俊・山口良真が戸部城に攻め寄せ討死
- 1550年5月20日-09:00|日本| ||天文19年5月4日|<死去>室町幕府前將軍第12代「足利義晴」/40歳(誕生:永正8(1511)0305)
- 1550年6月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ペーゲー王「スミ・ソトウト」僭称(~8月)
- 1550年6月 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Luis de Vallejo」(~1554.4)
- 1550年6月 04:00|刊| |||サンチアゴのバルデビエアはビリャランを派遣しフラドを打ち破る
- 1550年6月4日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文19年5月19日|島津義久、花尾権現上宮社を新造落成
- 1550年6月4日-09:00|日本|熊本県上益城郡益城町|天文19年5月19日|菊地方の合志親賢、大友方の津守城と木山城を攻める
- 1550年6月5日-09:00|日本| ||天文19年5月20日|<死去>奥州探題「大崎義宣」葛西晴胤のもとに亡命する途中陸奥桃生郡辻堂で殺される⇒再任「大崎義直」(~天文24(1555)年)
- 1550年6月13日-09:00|日本|熊本県荒尾市|天文19年5月28日|菊地方の大津山重經・辺春薩摩守・和仁弾状忠・東郷衆・大野上総介・田嶋宮内少輔・吉弘親守らが、大友方の筒岳城の小代実忠を攻め、両軍に被害がでて痛み分け
- 1550年6月16日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長代行「ジョアン・アルバレス・デ・アセベド」(~15521121)
- 1550年6月28日-09:00|日本|熊本県熊本市中央区|天文19年閏5月14日|大友方の阿蘇五ヶ所衆、菊地氏の隈本城に押し寄せるも撃退された
- 1550年7月-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「アレクサンドロ・デ・インペリアーレ・コンタリニ」(~1551年)
- 1550年7月 05:00|エクトル/スペイン| |||エクトルのリタイキルで先住民の反乱、スペイン人支配者6人を殺害
- 1550年7月9日-09:00|日本|福岡県筑後市|天文19年閏5月25日以前|大友方の豊饒美濃守らは筑後の溝口城を攻略
- 1550年7月9日-09:00|日本|長野県松本市|天文19年閏5月25日|武田晴信(信玄)、信州村井に、信濃守護小笠原長時を破る/長時は平瀬城に退き、村上義清を頼る
- 1550年7月14日-09:00|日本|ポルトガル|長崎県平戸市|天文19年6月|肥前・ポルトガル船始めて平戸に入港
- 1550年7月22日 00:00|ポルトガル| |||<死去>コインブラ公「ジョルジエ」
- 1550年7月22日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文19年6月9日|足利義晴が京都奪還のため、東にある慈照寺の裏山に建てた中尾城に義晴の子の義輝も打倒長慶を誓い晴元と共に入城
- 1550年7月22日-08:00|中国/日本| ||天文19年6月9日|幕府遣明使策彦周良が明より医師吉田宗桂と共に帰国し、日本と明の勘合貿易が途絶
- 1550年7月30日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ササブトン伯「トマス・リスリー」
- 1550年7月30日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ササブトン伯「ヘンリー・リスリー」(~15811004死去)
- 1550年7月30日-09:00|日本|熊本県宇土市|天文19年6月17日|名和行興の家臣皆吉武真が叛乱して宇土城を襲撃、行興は防戦したが城を棄てて逃亡
- 1550年8月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ペーゲー王「スミ・フウ」(~15520312)
- 1550年8月 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||ポルトガルがアルジラをモロッコに戻す(~1577年)
- 1550年8月2日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天文19年6月20日|<死去>大和添下郡筒井領主「筒井順昭」⇒子の「筒井藤勝(順慶)」が継ぐ(⇒天正4(1576)年5月10日大和一国領主)
- 1550年8月5日-09:00|日本|熊本県宇土市|天文19年6月23日|肥後人吉領主「相良晴広」が自ら出陣してきたため皆吉武真は宇土城から豊福城に撤退、名和行興は宇土城を奪還
- 1550年8月7日-09:00|日本|熊本県宇城市|天文19年6月25日|皆吉武真は兵百余をつれて八代に来て肥後人吉領主「相良晴広」に投降、戦うことなく豊福城は再び相良氏のもとに収まった
- 1550年8月13日-09:00|日本|茨城県那珂市|天文19年7月|常陸・佐竹義昭、常陸戸村で江戸忠通に敗れる
- 1550年8月23日-09:00|日本|熊本県合志市|天文19年7月11日|肥後・大友義鎮、合志原で菊池義武(隈本城主)を破る。義武、相良晴弘を頼る
- 1550年8月25日-09:00|日本|広島県安芸高田市|天文19年7月13日|毛利元就が、以前から当主をないがしろにしていた家臣の井上元兼とその一族30人余りを急襲して殺害
- 1550年8月26日-09:00|日本|京都府京都市|天文19年7月14日|三好長逸・十河一存ら、入京して細川晴元軍と衝突/三好被官、細川晴元軍の鉄砲攻撃で死傷(鉄砲による戦死の記録の初見)
- 1550年8月27日-09:00|日本|長野県|天文19年7月15日|<解任>信濃国守護「小笠原長時」失領
- 1550年8月27日-09:00|日本|長野県松本市|天文19年7月15日|武田晴信(信玄)、筑摩郡村井城から府中に攻め入り

1550迄 (2430件)

- 、小笠原長時軍を「イヌの城」(埴原城とも推定されている)に破り、勝鬨をあげて村井城に戻る
- 1550年8月28日-09:00|日本|長野県松本市|天文19年7月16日|小笠原長時派の林城・深志城・岡田城・桐原城・山家城が相次いで自落/小笠原長時、林城(松本市)を脱出、村上義清を頼る/島立城・浅間城が武田に降伏する
- 1550年9月5日 00:00|イギリス| ||イングランドで、サー・ウィリアム・セルが国务大臣に就任
- 1550年9月6日-09:00|日本|福岡県大牟田市|天文19年7月25日以前|大友方の小代実忠は筑後上下衆と共に三池城の三池親員を攻略
- 1550年9月8日-01:00|チェコ/スペイン| ||マデイアがスペインに占領される(~1553年)
- 1550年9月10日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<再任>アイルランド 副卿「アンソニー・セント・レジ卿」(4回目~15510523)
- 1550年9月11日-09:00|日本|愛知県知多市|天文19年8月|<尾張錯乱>今川義元が智多郡に進出
- 1550年9月11日-09:00|日本|静岡県焼津市|天文19年8月|西宮神社(焼津市大覚寺上)再建
- 1550年9月12日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天文19年8月2日|大窪山徳願寺(静岡市駿河区向敷地)開祖天叟祖寅寂
- 1550年9月20日-09:00|日本|長野県松本市|天文19年8月10日|和田城(松本市)自落
- 1550年9月21日-08:00|中国/モンゴル| ||明・嘉靖29年8月11日|モンゴルのアルタン・ハーンが騎馬軍団を率いて朝貢貿易再開を要求し北京を包囲
- 1550年9月27日-09:00|日本|長野県小県郡|天文19年8月17日|武田方の先鋒である長坂虎房が諏訪から和田峠を越えて和田城を陥落させる
- 1550年10月-08:00|インド/ポルトガル| ||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Bernardim de Sousa」(2期目~1552年)
- 1550年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「ジ・オ・アントニオ・レオナルド・ツリ」(クリストファロ・デ・マリノ・ジャンギ)
- 1550年10月2日-09:00|日本|熊本県熊本市|天文19年8月22日|戸次鑑連を総大将とする大友軍は肥後国各地で菊池勢を撃破、隈本城は陥落/義武は八代の相良氏をたより逃亡
- 1550年10月8日-09:00|日本|広島県|天文19年8月28日|陶隆房、大内氏に謀反
- 1550年10月10日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文19年9月|今川治部大輔義元を大檀那に、相本八幡社(豊橋市石巻本町)造営
- 1550年10月10日-09:00|日本|大阪府|天文19年9月|<交替>河内国守護「畠山政国」隠居⇒「畠山高政」(~永禄3(1560)年11月13日)
- 1550年10月10日-09:00|日本|和歌山県|天文19年9月|<死去>紀伊国守護「畠山政国」隠居⇒「畠山高政」(~天文21(1552)年)
- 1550年10月18日-09:00|日本|長野県上田市|天文19年9月9日|<砥石城の戦い(信濃国)>武田軍は総攻撃開始/武田の足軽部隊が砥石の崖を登るが、村上軍は石や熱湯を上から落とし、これを撃退/20日間に亘って攻め続けるが、砥石城は陥落せず
- 1550年10月22日-09:00|日本| ||天文19年9月13日|<死去>尊鎮入道親王(47歳)後柏原天皇の皇子、第163世天台座主
- 1550年10月24日-01:00|フランス| ||<死去>オルアン公「ル3世」1歳
- 1550年10月24日-01:00|フランス| ||<即位>オルアン公「シャルル3世」フランス王シャルル9世(~15601205)
- 1550年10月24日-09:00|日本|広島県|天文19年9月15日|陶隆房、大内義隆襲撃を謀るが露見して、周防国富田に退く
- 1550年10月26日-01:00|イタリア| ||<死去>カラリア公(両シリア王の推定相続人の称号)「フェルディナント」
- 1550年10月29日-09:00|日本|長野県長野市|天文19年9月20日|村上義清は高梨政頼と和睦し、挟撃を避けるためにも、高梨政頼とともに寺尾城を攻め、寺尾氏一族を討ち滅ぼす
- 1550年10月31日-09:00|日本|長野県長野市|天文19年9月22日|村上義清・高梨政頼が和睦、連合して寺尾城に攻撃開始
- 1550年11月-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督「フアン・テ・ノロニャ」(~15540916)
- 1550年11月1日-09:00|日本|長野県長野市|天文19年9月23日|<砥石城の戦い(信濃国)>村上義清が敵対関係にあった「高梨政頼」と和睦を結び、武田方の「寺尾城」を攻る
- 1550年11月5日-09:00|日本|広島県広島市|天文19年9月27日|毛利元就、熊谷信直・天野隆重に命じ、安北郡深川に吉川興経父子を殺させる
- 1550年11月6日-01:00|ドイツ| ||<死去>グェルテンベルグ公「ウルリヒ」
- 1550年11月6日-01:00|ドイツ| ||<即位>グェルテンベルグ公「クリストフ」(~15681228死去)
- 1550年11月6日-09:00|日本|長野県長野市|天文19年9月28日|村上義清・高梨政頼連合軍、寺尾城から撤退
- 1550年11月9日-09:00|日本|長野県上田市|天文19年10月1日|<砥石崩れ>武田晴信は北信濃の戦国大名・村上義清の出城である信濃国小県郡砥石城を攻めるが攻めきれず撤退、殿軍に多大な被害が生じた大敗/武田方は横田高松をはじめ郡内衆の小沢式部・渡辺伊豆守らおよそ1000人もの将兵を失った
- 1550年11月25日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「ルイ・デ・ベラスコ・イ・ルイス・デ・アラルコン」(~15640731没)
- 1550年11月25日 07:00|メキシコ| ||グアナフアト、パチカでも銀鉱発見
- 1550年11月25日 07:00|メキシコ/ペルー| ||ルイス・デ・ベラスコ、新副王として着任、アントゥサはペルー副王に転出
- 1550年11月29日-09:00|日本|長野県松本市|天文19年10月21日|小笠原長時、村上義清の援助で筑摩郡に侵攻、平瀬城に入る
- 1550年12月3日-09:00|日本|京都府京都市下京区|天文19年10月25日|三好長慶軍、細川晴元・六角連合軍と京都五条河原に於いて交戦
- 1550年12月8日-09:00|日本|群馬県藤岡市|天文19年11月|北条氏康、山内上杉憲政の平井城を責めるが落とせず

1550迄 (2430件)

- 1550年12月20日-09:00|日本|長野県佐久市|天文19年11月13日|村上義清、野沢に侵攻して放火活動を行い、桜井山城(稲荷山城)を攻略
- 1550年12月24日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文19年11月17日|今川義元、安久美神戸神明社(豊橋市八町通)の社殿造営
- 1550年12月26日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文19年11月19日|<中尾城の戦い(山城国)>三好長慶は中尾城麓の聖護院・北白川・鹿ヶ谷・田中などを放火して威圧
- 1550年12月27日-09:00|日本|滋賀県大津市|天文19年11月20日|甚介長頼が三好長慶の先鋒大将として近江へ攻め入り、大津に放火
- 1550年12月28日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文19年11月21日|<中尾城の戦い(山城国)>足利義輝は撤退を決断、中尾城を焼いて坂本、次いで坂本から北の堅田へ逃れた
- 1550年12月29日-05:30|スリランカ| ||<死去>コッテ王国国王「ブーヴァンカハ 77世」ポルトガル兵に射殺される
- 1550年12月30日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文19年11月23日|<中尾城の戦い(山城国)>中尾城に三好軍が入り破却された